

平成２８年度草加市子ども教育連携推進事業 児童生徒向けアンケート調査結果報告書

**平成２９年３月
草加市**

目次

第1部 調査概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 配布・回収状況	3
4 主な調査事項	3
5 結果の概要と分析	4
(1) 「自己肯定感」「自己有用感」について	4
(2) 「命の大切さ」について	5
(3) 「家庭学習」について	5
(4) 社会性について	6
(5) 「自己肯定感」「自己有用感」とその他の質問項目の関係について	7
6 調査のまとめ	9
7 調査結果の利用にあたって	9
第2部 調査結果	11
(1) 学年別自己肯定感・自己有用感	13
(2) 自己肯定感・自己有用感	44
(3) 自己肯定感との相関	45
(4) 自己有用感との相関	46
(5) 平均値別自己肯定感	47
(6) 平均値別自己有用感	61
(7) 学校生活について	75
(8) 学校における活動経験について	79
(9) 中学校の先生が参加する授業で感じたことについて	82
第3部 資料（調査票）	83
＜小学3年生調査票＞	85
＜小学4年生調査票＞	86
＜小学5年生調査票＞	87
＜小学6年生調査票＞	88
＜中学1年生調査票＞	89
＜中学2年生調査票＞	90
＜中学3年生調査票＞	91

第 1 部

調査概要

1 調査の目的

次の2点について、市内小・中学校における実態を把握し、その実態を踏まえ、子ども教育の連携推進に関わる施策について検討を行う際の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

- ①子ども教育連携によって育みたい「自己肯定感」「自己有用感」の実態、並びに、「自己肯定感」「自己有用感」を育む要因及び育まれたことによる成果を明らかにします。

自己肯定感→「自分は大切な存在だ」と思える心のこと。

自己有用感→「自分が他人に必要とされている」と思える心のこと。

- ②児童生徒が学校生活に対して抱く期待や不安、交流・連携に対する感想、乗り入れ授業に対する感想を調べ、これまでの交流・連携が児童生徒にどのように受け止められているのかを明らかにします。

2 調査の方法

【対象者】市内の小学校3年生から中学3年生までの全児童生徒

【調査方法】市立小・中学校に直接配布して実施後、回収

【調査期間】平成28年6月20日～6月30日

3 配布・回収状況

対象者		配付数(件)	回収数(件)	回収率(%)
小学校	3年生	4,300	2,097	98.0
	4年生		2,115	
	5年生	2,200	2,116	96.2
	6年生	2,200	2,152	97.8
小学校計		8,700	8,480	97.5
中学校	1年生	6,400	2,015	94.5
	2年生		1,939	
	3年生		2,091	
中学校計		6,400	6,045	94.5
全体合計		15,100	14,525	96.2

4 主な調査事項

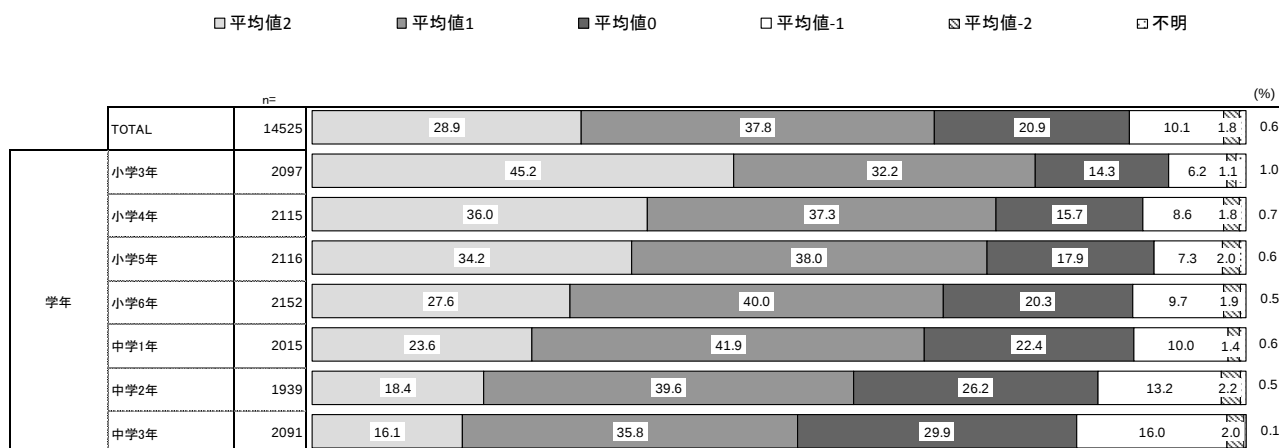
- ① (1)～(4) 自己肯定感について
- ① (5)・(6) 自己有用感について
- ① (7)・(8) 第一次基本方針・行動計画から継続している課題について
- ① (9)・(10) 学習の状況について
- ① (11)～(13) 自ら学ぶ力について
- ① (14)～(19) 豊かな心について
- ① (20)～(27) たくましく生きる力について
- ① (28)・(29) 自己肯定感をはぐくむと考えられるその他の要因について
- ① (30)～(33) 中学生及び中学校の先生との交流・連携について（小学校6年生のみ）
- ② 学校生活に対する期待や不安について
- ③ 異年齢の子どもとの交流について
- ④ 乗り入れ授業について（小学校6年生のみ）

5 結果の概要と分析

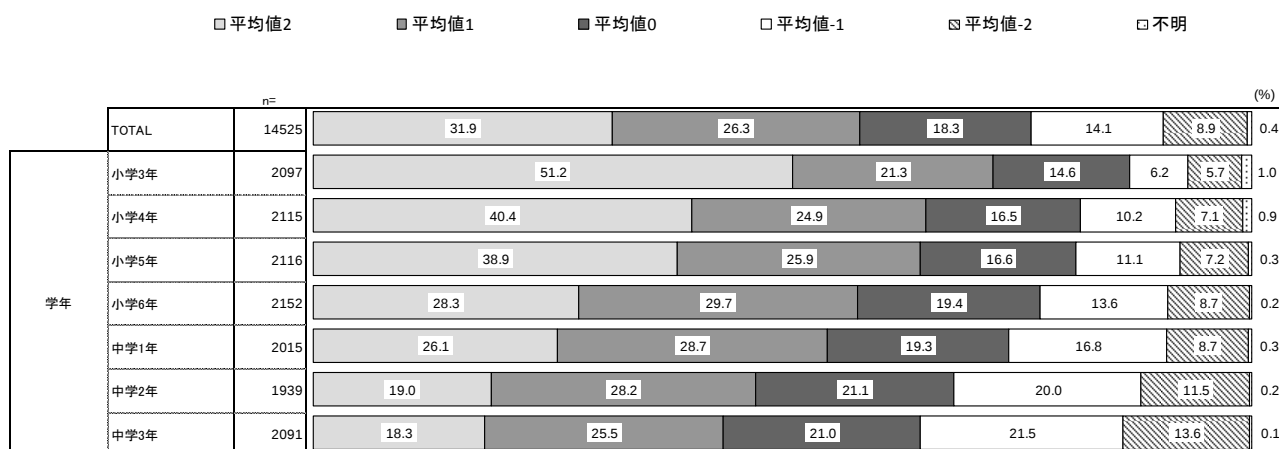
(1) 「自己肯定感」「自己有用感」について

「自己肯定感」に関する設問 (1) (1)～(4)) と、「自己有用感」に関する設問 (1) (5),(6)) の回答について、「当てはまる」を2点、「どちらかといえば当てはまる」を1点、「どちらかといえば当てはまらない」を-1点、「当てはまらない」を-2点として、平均値を算出しました。「平均値2」が最も「自己肯定感」「自己有用感」が高く、「平均値-2」が最も「自己肯定感」「自己有用感」が低いことを表します。

〔自己肯定感〕



〔自己有用感〕

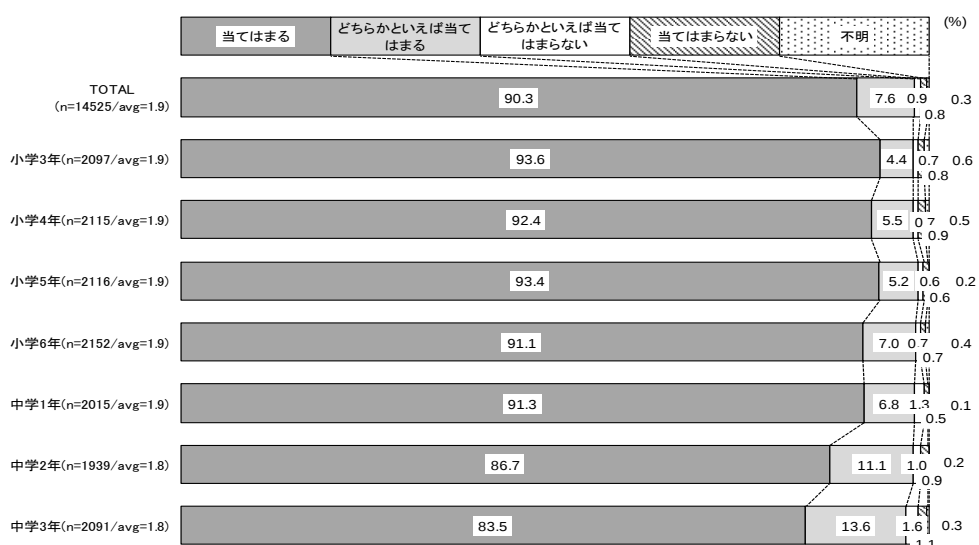


【分析】

- ・学年間の減少幅に注目すると、小3→小4、小5→小6、中1→中2は大きく、小6→中1がやや大きくなっています。これらの学年間では、子どもの変化に注意しながら指導を行う必要があります。
- ・児童生徒の実態からは、学年が進むにつれて謙虚さを身に付けたり、自分の力を適切に判断できる力が身に付いている様子もうかがえます。したがって、肯定的な回答の割合が低下していても、その原因がすべて「自己肯定感」「自己有用感」の低下ではない可能性があります。

(2)「命の大切さ」について

Q1 自分自身に当てはまること 自分や相手の命は大切だと思う。

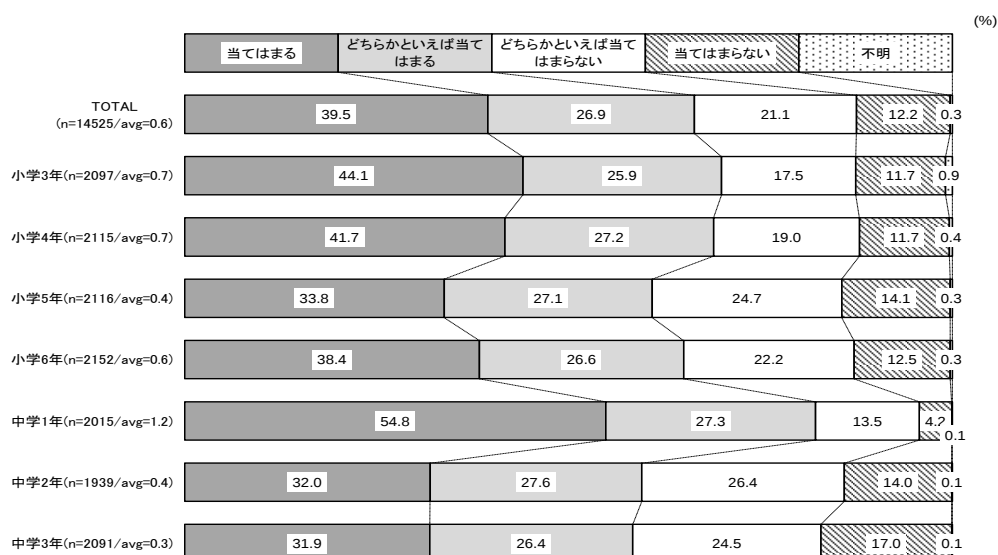


【分析】

- ・他の設問と比較して、「当てはまる」の割合が極めて高く、命の大切さに関する指導が効果を上げていると推測できます。
- ・一方で、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と答えた子どもが、各学年で1.2～2.7%います。否定的な回答をした子どもには、個別的に対応する必要があります。

(3)「家庭学習」について

Q1 自分自身に当てはまること 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。

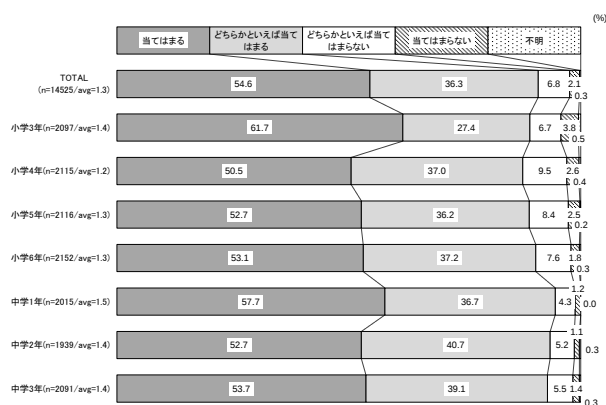


【分析】

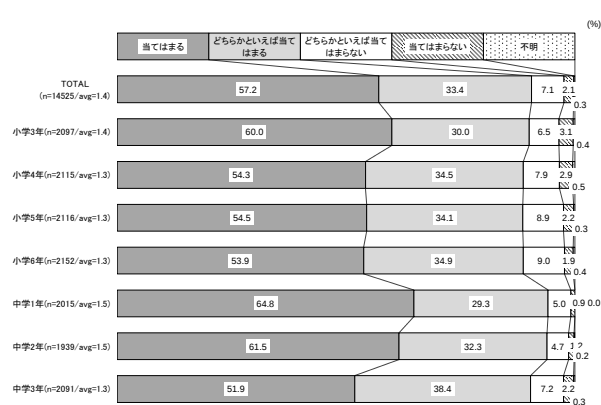
- ・中学1年で大きく改善しており、小中学校で行っている、「中学校進学に際する家庭学習の重要性についての指導」が効果を上げていると推測できます。
- ・一方で、中学1年から中学2年にかけて肯定的な回答の割合が大きく減少しており、どのように家庭学習を習慣づけるのか、指導を充実させていく必要があります。

(4) 社会性について

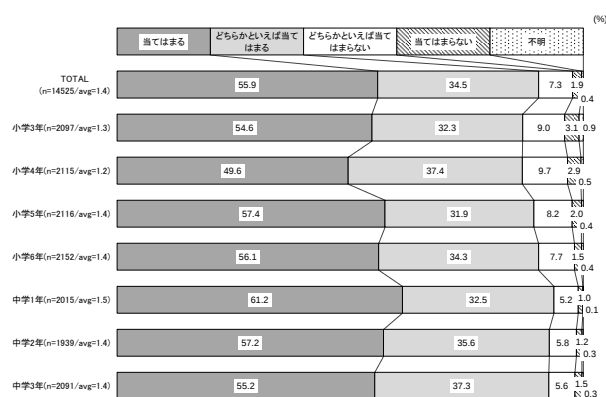
【我慢することができる】



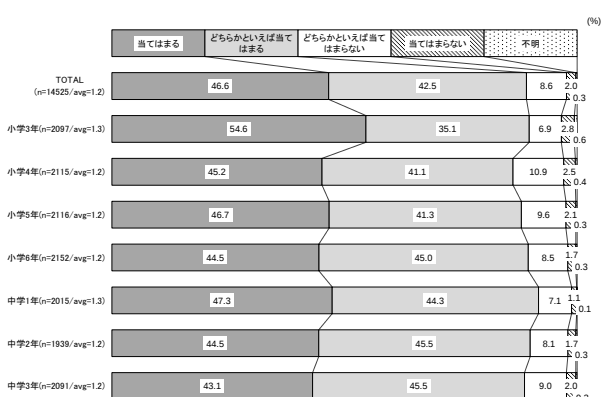
【あいさつや返事をしっかりしている】



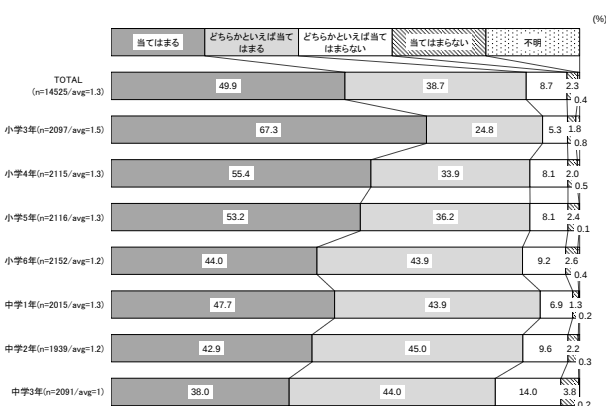
【相手や場所に合せて、ていねいな言葉をつかう】



【きまりを守ることができる】



【一生懸命、掃除をしている】



【分析】

- ①の設問は、全体的に小6→中1で肯定的な回答が減少する傾向があります。対して、上で示した社会性に関する設問は、全体的な傾向と異なり、中学1年で肯定的な回答が増加しています。これは、中学校入学に際して、期待感をもって学校生活を送っていることや、中学校の生活指導や部活動等を通して、子どもたちの社会性が伸びていることによるものと推測できます。

(5) 「自己肯定感」「自己有用感」とその他の質問項目の関係について

「自己肯定感」「自己有用感」とその他の質問項目について、「自己肯定感（自己有用感）が高いほど、肯定的な回答の割合が高くなるかどうか」を、相関分析やクロス集計の方法で分析しました。

相関分析

設問Aの回答が+になるほど、設問Bの回答が+になること（正の相関）や、逆に設問Bの回答が-になること（負の相関）を1～-1の値で示したものです。値の意味は次の通りとなります。

相関値の絶対値	意味
0.2～0.4	低い相関がある
0.4～0.7	相関がある
0.7～1	高い相関がある

※相関がある場合でも、因果関係は明らかにならない点に注意が必要です。

【自己肯定感との相関】

* 相関係数0.400以上にグレーの網掛け

設問項目	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	市内計
指標 自己肯定感	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
Q1(7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	0.387	0.369	0.355	0.327	0.229	0.246	0.249	0.333
Q1(8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	0.424	0.399	0.410	0.367	0.278	0.312	0.319	0.386
Q1(9) 授業の内容は、だいたい分かる。	0.399	0.372	0.321	0.316	0.312	0.314	0.319	0.367
Q1(10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	0.401	0.319	0.322	0.294	0.217	0.159	0.241	0.285
Q1(11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	0.463	0.483	0.460	0.381	0.335	0.379	0.392	0.438
Q1(12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	0.404	0.396	0.340	0.316	0.272	0.320	0.286	0.343
Q1(13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	0.475	0.485	0.475	0.426	0.433	0.448	0.467	0.466
Q1(14) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	0.374	0.388	0.382	0.364	0.281	0.373	0.299	0.345
Q1(15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	0.381	0.395	0.333	0.286	0.223	0.300	0.241	0.301
Q1(16) 自分や相手の命は大切だと思う。	0.250	0.248	0.288	0.272	0.259	0.285	0.271	0.278
Q1(17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。	0.347	0.385	0.396	0.379	0.297	0.345	0.365	0.349
Q1(18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。	0.408	0.364	0.348	0.352	0.216	0.266	0.292	0.306
Q1(19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	0.379	0.392	0.371	0.340	0.294	0.320	0.257	0.336
Q1(20) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。	0.317	0.334	0.310	0.296	0.240	0.263	0.245	0.291
Q1(21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。	0.380	0.383	0.312	0.316	0.260	0.275	0.252	0.311
Q1(22) 学校では、一生懸命、掃除をしています。	0.380	0.362	0.313	0.298	0.229	0.257	0.237	0.319
Q1(23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	0.391	0.366	0.330	0.323	0.278	0.288	0.284	0.324
Q1(24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	0.421	0.428	0.437	0.443	0.408	0.417	0.436	0.441
Q1(25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	0.486	0.537	0.525	0.488	0.485	0.506	0.534	0.522
Q1(26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をします。	0.375	0.366	0.345	0.341	0.323	0.323	0.325	0.351
Q1(27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすすたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。	0.242	0.234	0.248	0.251	0.228	0.192	0.230	0.271
Q1(28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。	0.274	0.321	0.270	0.283	0.292	0.270	0.270	0.311
Q1(29) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。	0.356	0.336	0.298	0.290	0.270	0.314	0.297	0.334
Q1(30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。				0.335				
Q1(31) 中学生に親しみを感じる。				0.356				
Q1(32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。				0.325				
Q1(33) 中学校の先生に親しみを感じる。				0.327				

【自己有用感との相関】

* 相関係数0.400以上にグレーの網掛け

設問項目	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	市内計
指標 自己有用感	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
Q1(7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	0.340	0.324	0.340	0.297	0.253	0.241	0.309	0.328
Q1(8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	0.421	0.361	0.384	0.347	0.303	0.295	0.344	0.380
Q1(9) 授業の内容は、だいたい分かる。	0.369	0.348	0.343	0.315	0.306	0.292	0.346	0.366
Q1(10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	0.375	0.291	0.334	0.307	0.229	0.181	0.267	0.286
Q1(11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	0.435	0.473	0.452	0.410	0.356	0.348	0.420	0.439
Q1(12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	0.364	0.375	0.355	0.328	0.321	0.316	0.294	0.345
Q1(13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	0.434	0.485	0.456	0.392	0.421	0.411	0.443	0.442
Q1(14) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	0.373	0.382	0.393	0.361	0.278	0.318	0.285	0.332
Q1(15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	0.362	0.396	0.323	0.300	0.274	0.262	0.247	0.297
Q1(16) 自分や相手の命は大切だと思う。	0.210	0.236	0.228	0.235	0.250	0.243	0.259	0.251
Q1(17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。	0.304	0.351	0.371	0.354	0.311	0.271	0.337	0.315
Q1(18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。	0.388	0.353	0.363	0.366	0.244	0.234	0.271	0.297
Q1(19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	0.347	0.379	0.351	0.338	0.318	0.293	0.290	0.328
Q1(20) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。	0.264	0.309	0.277	0.280	0.267	0.226	0.234	0.269
Q1(21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。	0.360	0.378	0.339	0.320	0.284	0.242	0.265	0.310
Q1(22) 学校では、一生懸命、掃除をしています。	0.357	0.388	0.330	0.302	0.279	0.245	0.255	0.331
Q1(23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	0.353	0.344	0.347	0.308	0.307	0.276	0.296	0.317
Q1(24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	0.401	0.409	0.420	0.398	0.389	0.331	0.396	0.407
Q1(25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	0.412	0.507	0.498	0.493	0.459	0.420	0.496	0.485
Q1(26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。	0.349	0.349	0.337	0.336	0.310	0.294	0.299	0.333
Q1(27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。	0.224	0.218	0.252	0.223	0.223	0.155	0.224	0.263
Q1(28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。	0.249	0.316	0.287	0.263	0.253	0.240	0.264	0.299
Q1(29) になりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。	0.343	0.313	0.296	0.284	0.259	0.264	0.277	0.319
Q1(30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。				0.324				
Q1(31) 中学生に親しみをを感じる。				0.335				
Q1(32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。				0.297				
Q1(33) 中学校の先生に親しみをを感じる。				0.305				

【分析】

- ・全ての学年で、自己肯定感と相関があったのは、「自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている」「めあてや目標をもって運動に取り組んでいる」「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている」の3項目です。
- ・全ての学年で、自己有用感と相関があったのは、「学んだことを、普段の生活で生かそうとしている」「自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている」「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている」の3項目です。
- ・すべての項目について、「自己肯定感」「自己有用感」が高い子どもほど、概ね肯定的な回答をしています。したがって、自己肯定感及び自己有用感を育成することで、子どもの力を総合的に伸ばすことができる可能性があると考えられます。
- ・クロス集計の結果（p. 41～68）を見ると、「自己肯定感」「自己有用感」の平均値－2の子どもは、平均値－1までの子どもと比較すると、突出して「当てはまらない」の回答率が高くなっています。平均値－2の子どもに対しては、注意深く見守り、個別に支援していく必要があると考えられます。

6 調査のまとめ

- (1) 草加市の子ども教育連携の取組によって目指す「自己肯定感」「自己有用感」の育成は、子どもの力を総合的に伸ばすことができる可能性があることが分かりました。
- (2) 幼児期のうちから、「自分は大切な存在だと思える心（自己肯定感）」や「自分が他人に必要とされていると思える心（自己有用感）」の育成を意識して保育・教育を行うことが大切だと考えられます。
- (3) 「自分は大切な存在だと思える心（自己肯定感）」の育成に際しては、「自分の気持ちや考えを相手に伝える経験をさせる」「めあてや目標をもたせて運動に取り組ませる」「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組めるように支援する」ことが、有効である可能性があります。
- (4) 「自分が他人に必要とされていると思える心（自己有用感）」の育成に際しては、「学んだことを、普段の生活で生かせるよう指導したり、助言したりする」「自分の気持ちや考えを相手に伝える経験をさせる」「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組めるように支援する」ことが、有効である可能性があります。
- (5) その他、教員・保育士による温かな声掛け・励まし・支援や、お互いに助け合えるクラス・学級づくりなど、「自己肯定感」「自己有用感」を育成するためには、様々な実践があると考えられます。各園・各学校の実態に応じて、実践を深めていくことが大切だと考えられます。

7 調査結果の利用にあたって

- (1) 集計結果は、原則、回答率（％）を小数点第2位を四捨五入して示しています。そのため、各選択肢の回答率をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。
- (2) 回答者数に対する回答率（％）を示しているため、複数回答の設問では、各選択肢の回答率（％）をすべて合計すると 100.0%を超えることがあります。
- (3) 選択肢の文が長い場合、図表中では、要約していることがあります。
- (4) 回答者数が少ない設問では、各選択肢の回答率（％）は、大きく偏る可能性があることにご留意ください。
- (5) 図表中の n は、標本数（件数）です。avg は、「当てはまる」を2点、「どちらかといえば当てはまる」を1点、「どちらかといえば当てはまらない」を-1点、「当てはまらない」を-2点として算出した平均値です。

第 2 部

調査結果

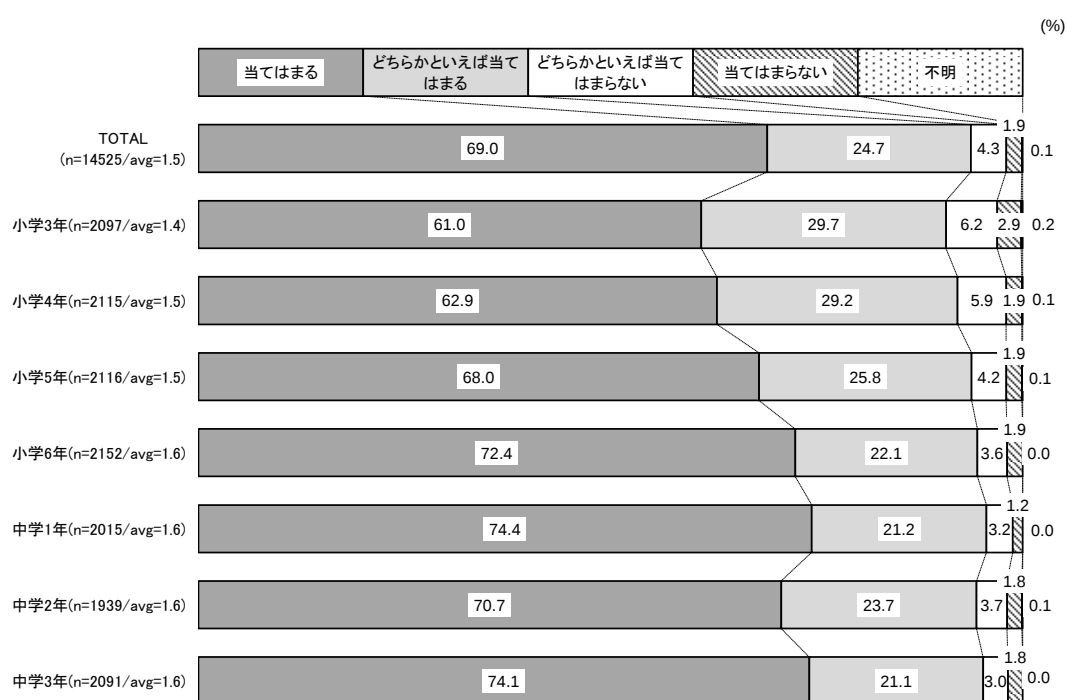
(1) 学年別自己肯定感・自己有用感

- 1 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

1 (1) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。

「今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 93.7%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 6.2%となっています。

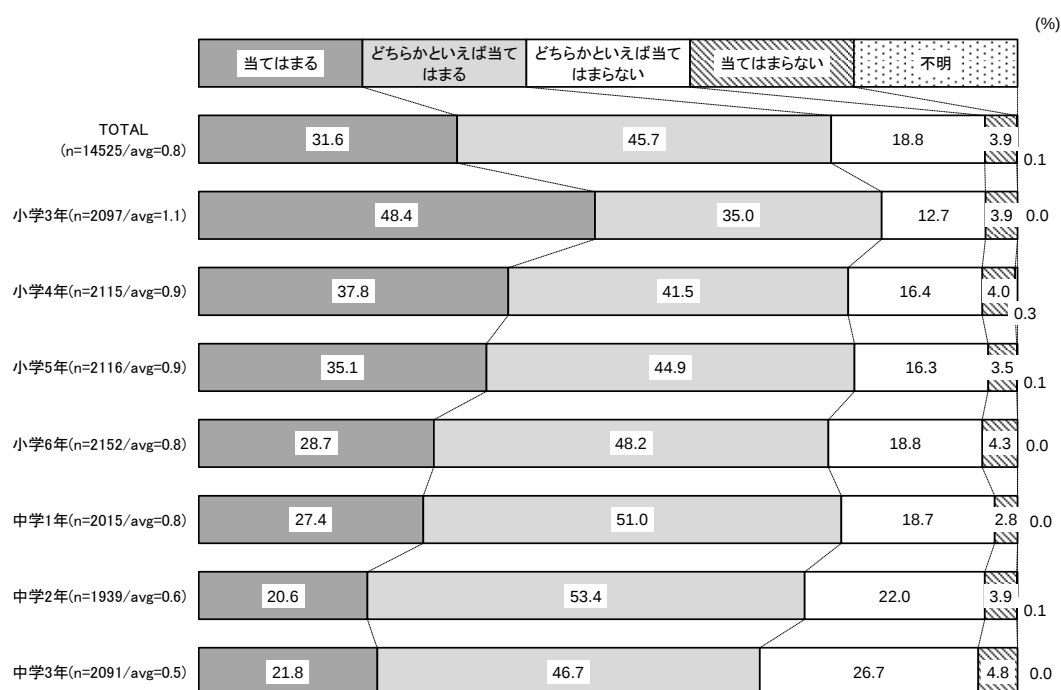
学年別にみると、学年が進むにつれて、肯定的な回答の割合は、中学2年で一旦落ち込むものの、増加傾向となっています。



1 (2) 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している。

「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 77.3%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 22.7%となっています。

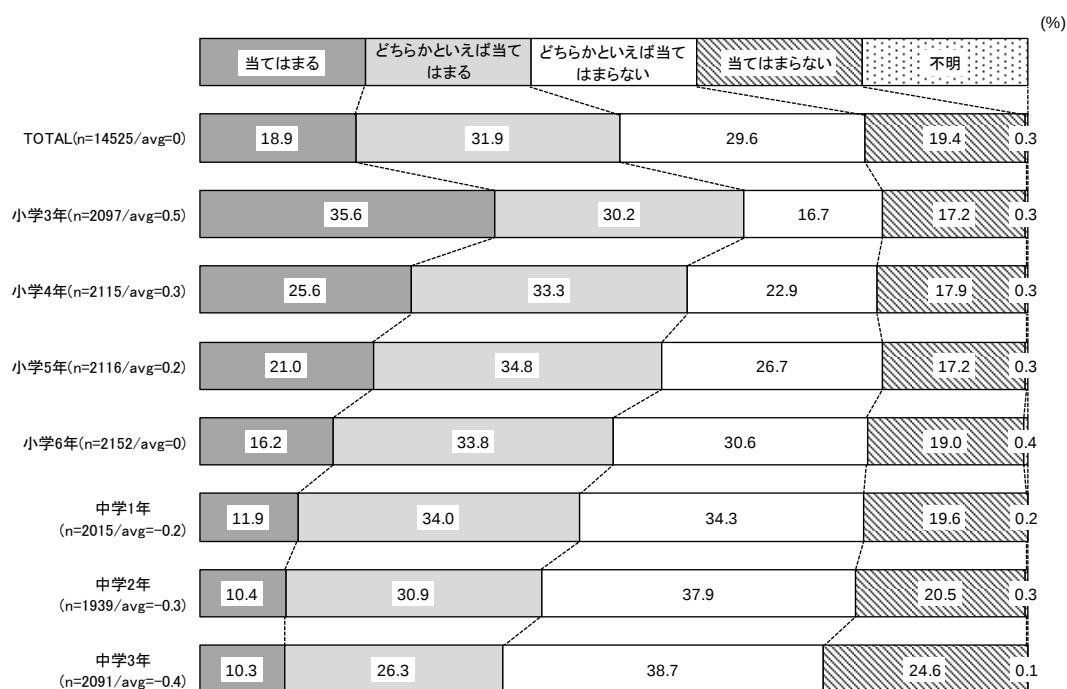
学年別にみると、「当てはまる」の回答が、学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の 83.4%で TOTAL よりも 6.1 ポイント高く、最も低いのが中学3年の 68.5%で TOTAL よりも 8.8 ポイント低くなっています。



1 (3) 自分のことを好きだと思う。

「自分のことを好きだと思う」については、TOTALでは、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は50.8%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は49.0%となっています。

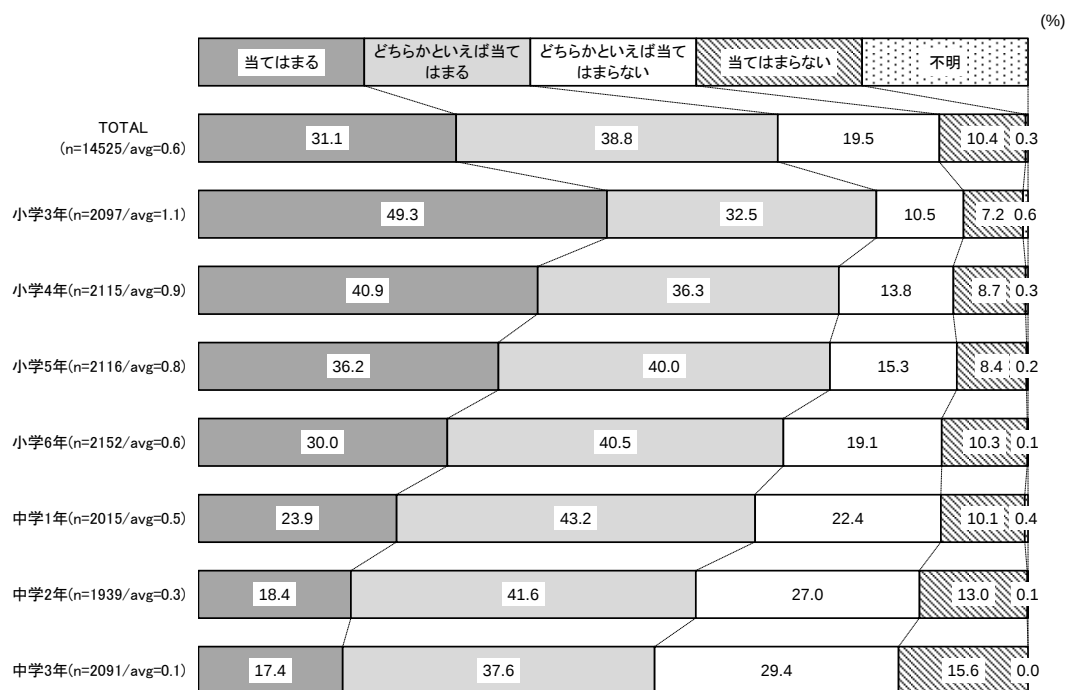
学年別にみると、「当てはまる」の回答が、学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の65.8%でTOTALよりも15.0ポイント高く、最も低いのが中学3年の36.6%でTOTALよりも14.2ポイント低くなっています。



1 (4) 自分には、よいところがあると思う。

「自分には、よいところがあると思う」については、TOTALでは、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 69.9%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 29.9%となっています。

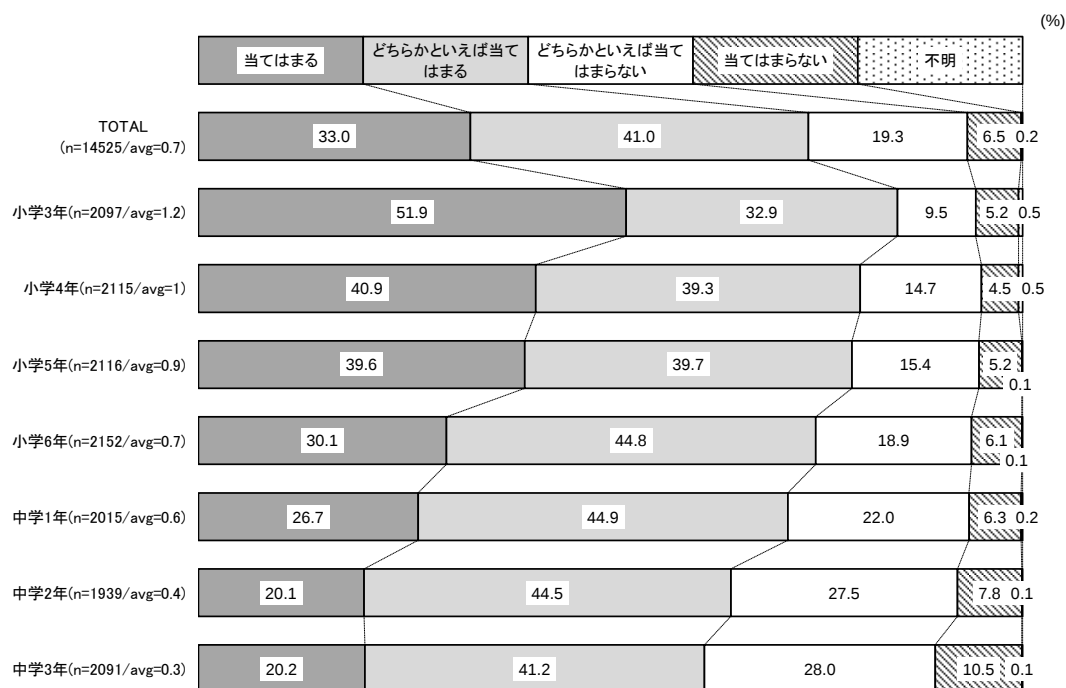
学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。最も高いのが小学3年の 81.8%で TOTAL よりも 11.9 ポイント高く、最も低いのが中学3年の 55.0%で TOTAL よりも 14.9 ポイント低くなっています。



1 (5) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。

「自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 74.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 25.8%となっています。

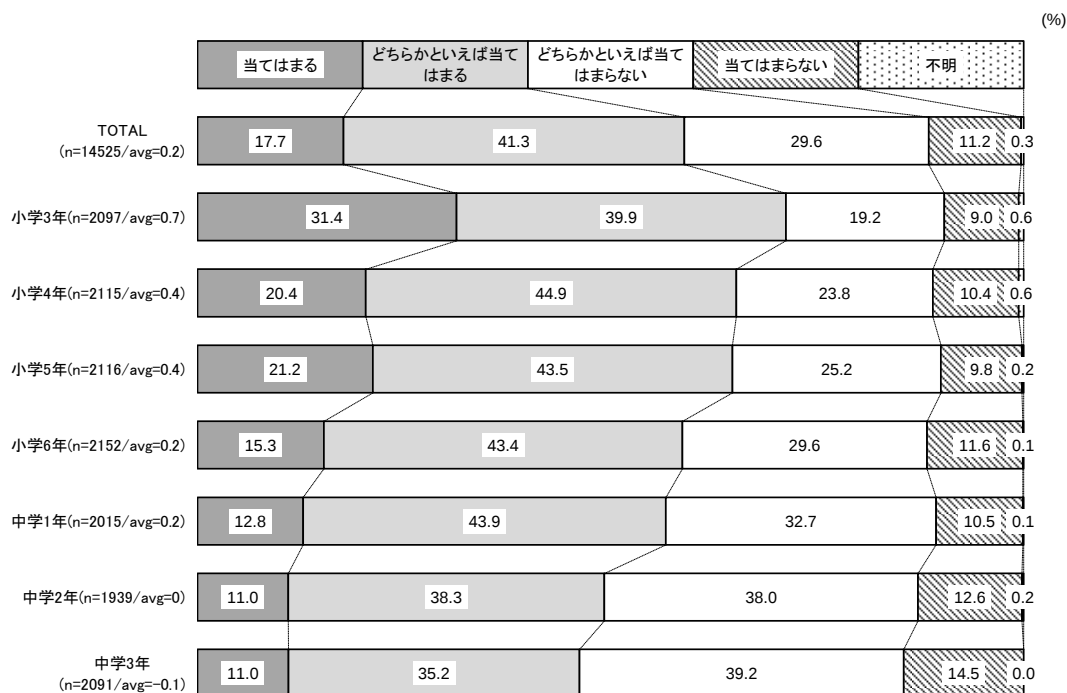
学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。最も高いのが小学3年の 84.8%で TOTAL よりも 10.8 ポイント高く、最も低いのが中学3年の 61.4%で TOTAL よりも 12.6 ポイント低くなっています。



1 (6) 自分は、人の役に立っていると思う。

「自分は、人の役に立っていると思う」については、TOTALでは、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 59.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 40.8%となっています。

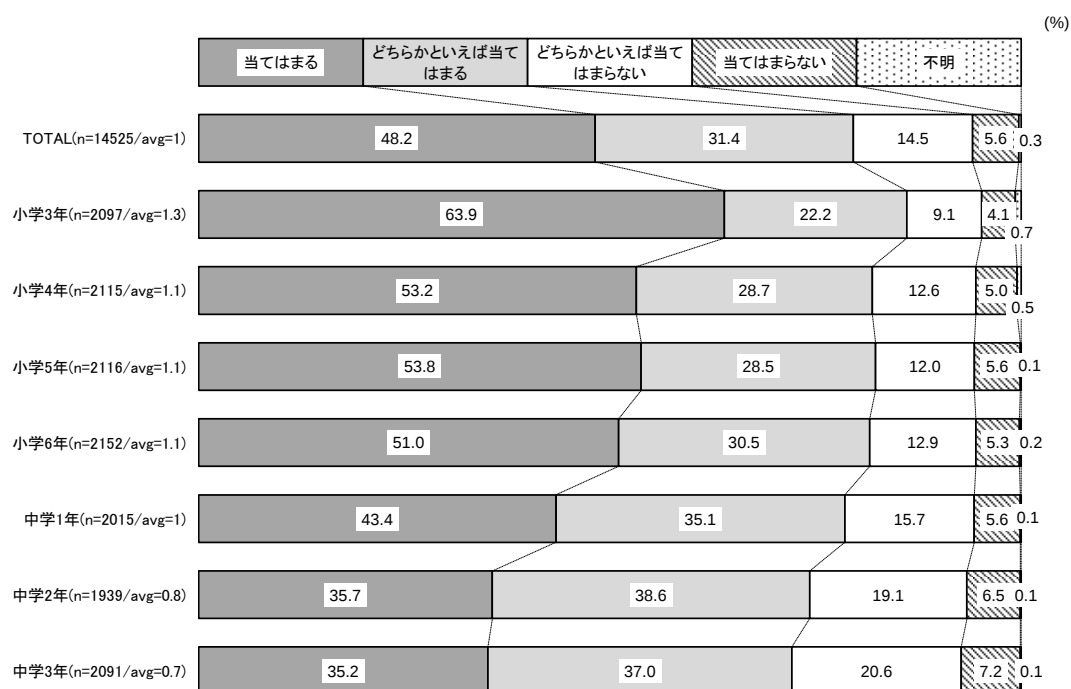
学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。中学2年と中学3年では、否定的な回答（中学2年：50.6%、中学3年：53.7%）の方が、肯定的な回答（中学2年：49.3%、中学3年：46.2%）よりも割合が高くなっています。



1 (7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。

「勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 79.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 20.1%となっています。

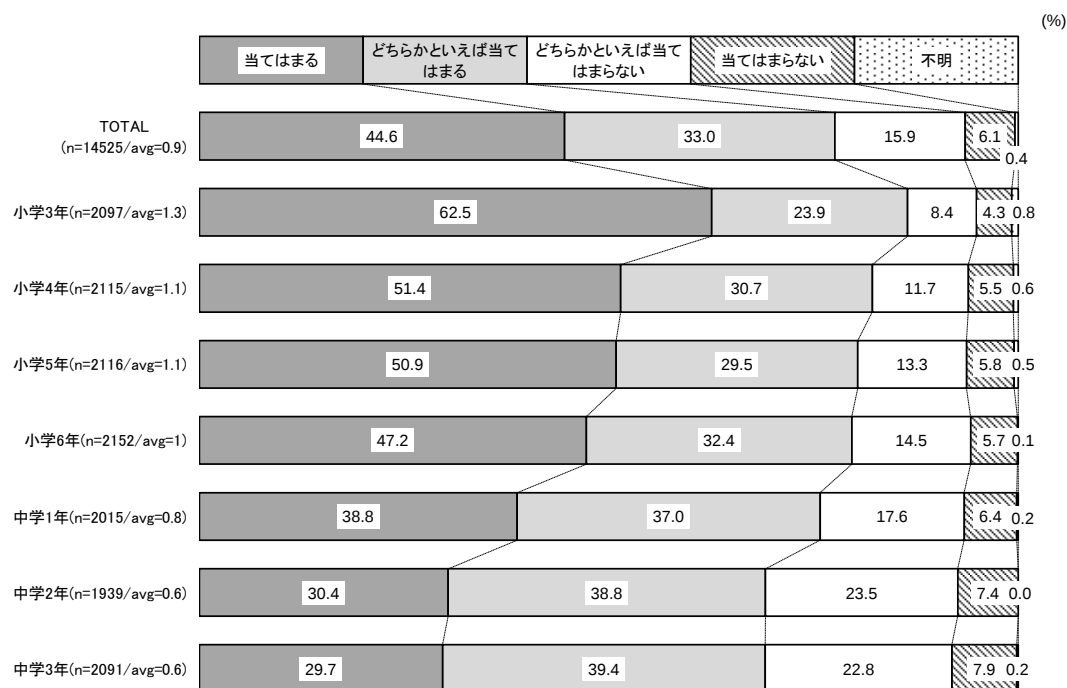
学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の 86.1%で TOTAL よりも 6.5 ポイント高く、最も低いのが中学3年の 72.2%で TOTAL よりも 7.4 ポイント低くなっています。



1 (8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。

「勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 77.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 22.0%となっています。

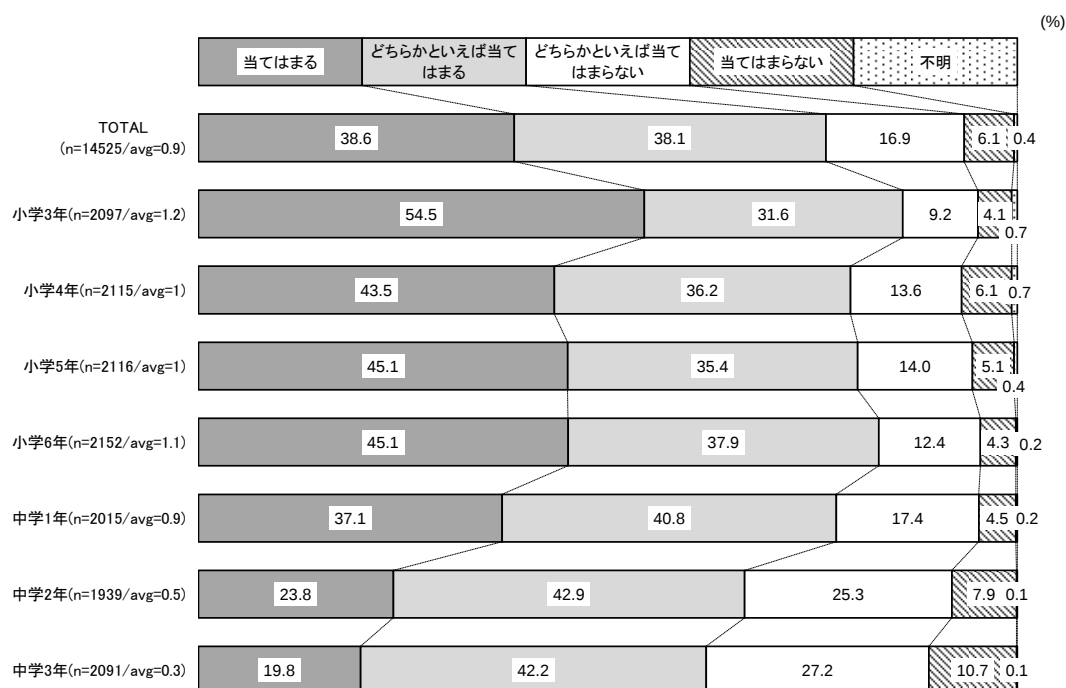
学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の 86.4%で TOTAL よりも 8.8 ポイント高く、最も低いのが中学3年の 69.1%で TOTAL よりも 8.5 ポイント低くなっています。



1 (9) 授業の内容は、だいたい分かる。

「授業の内容は、だいたい分かる」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 76.7%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 23.0%となっています。

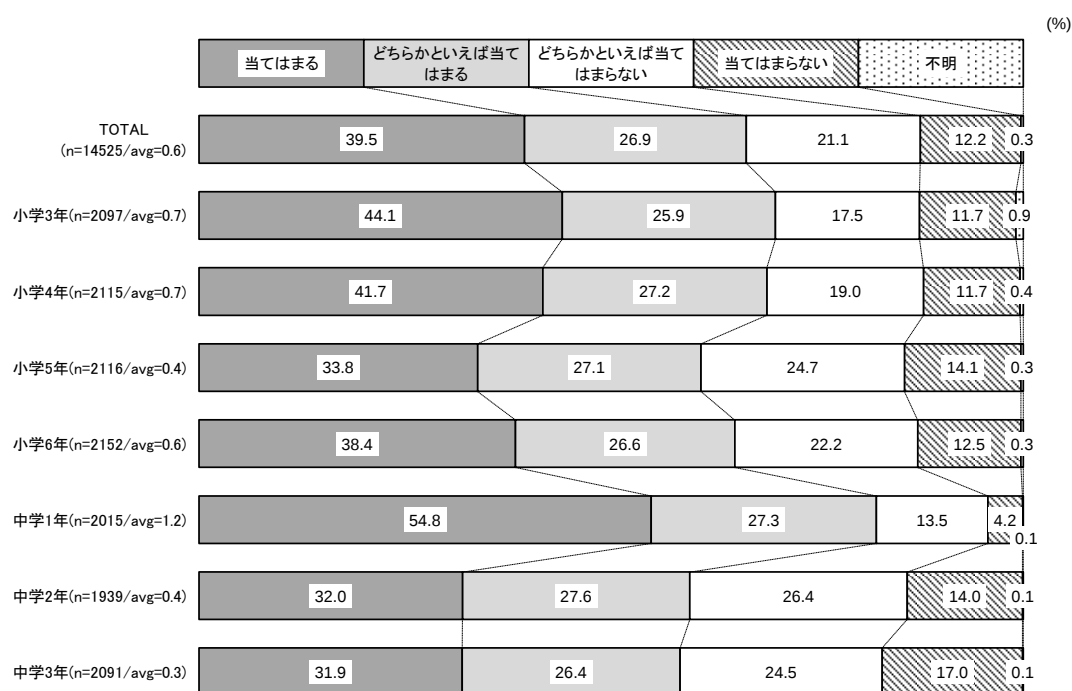
学年別にみると、肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の 86.1%ですが、小学4年になると 79.7%に下がり、小学5年（80.5%）と小学6年（83.0%）で回復傾向が見られます。



1 (10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。

「月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 66.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 33.3%となっています。

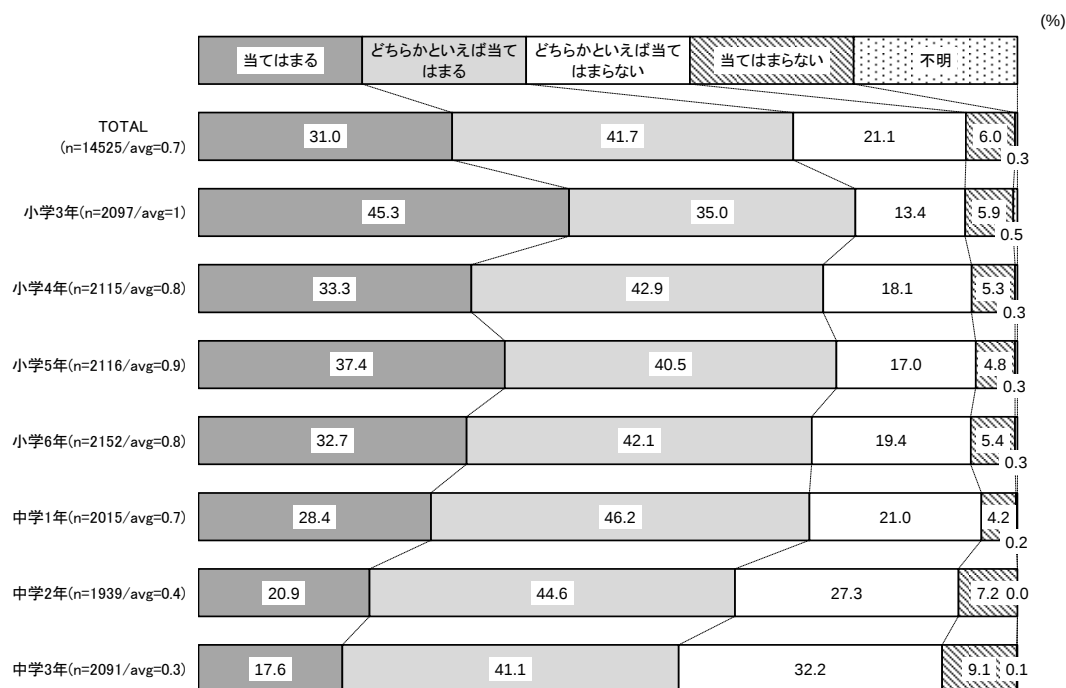
学年別にみると、肯定的な回答は、小学3年から小学5年にかけて減少したあと、中学1年にかけて増加し、82.1%と最も高くなっていますが、中学2年、中学3年は約 60%に減少します。



1 (1) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。

「学んだことを、普段の生活で生かそうとしている」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 72.7%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 27.1%となっています。

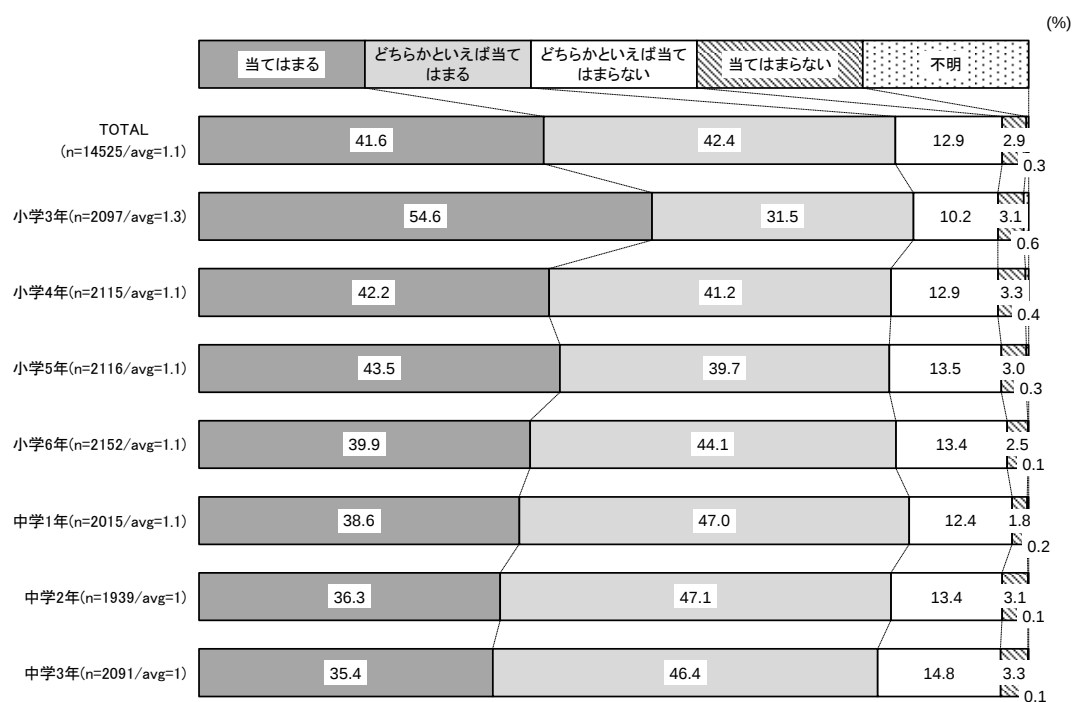
学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向がありますが、「当てはまる」と回答した割合は、小学4年（33.3%）の方が小学5年（37.4%）よりも 4.1 ポイント低くなっています。



1 (12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。

「静かに集中して人の話を聞くようにしている」については、TOTALでは、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は84.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は15.8%となっています。

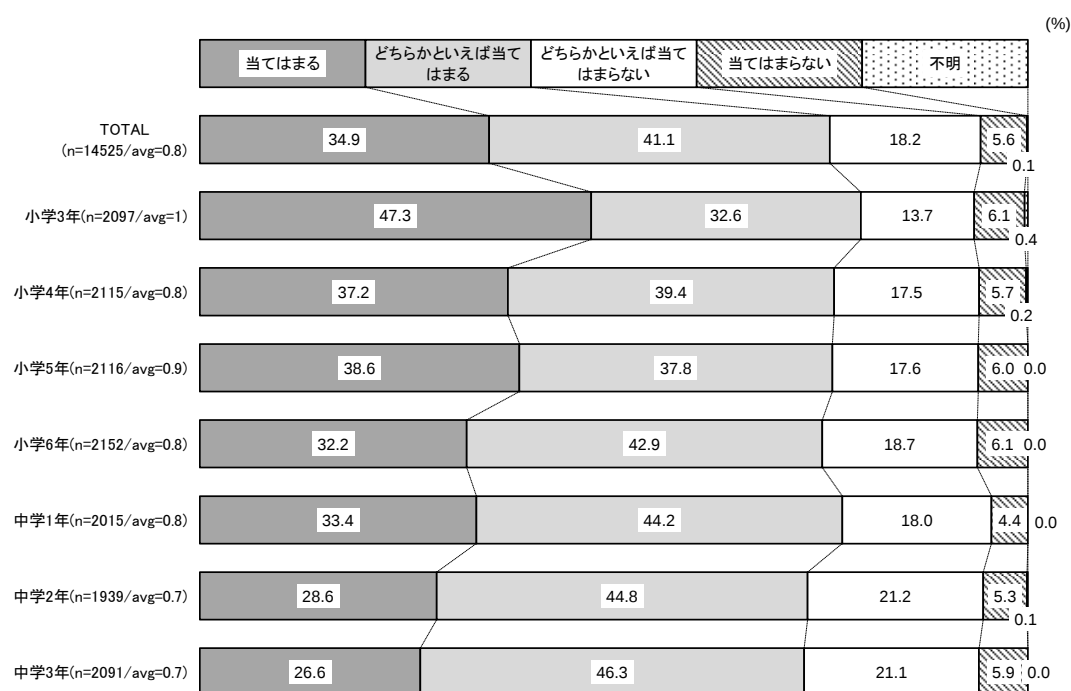
学年別にみても、同様の傾向となっています。



1 (13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。

「自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 76.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 23.8%となっています。

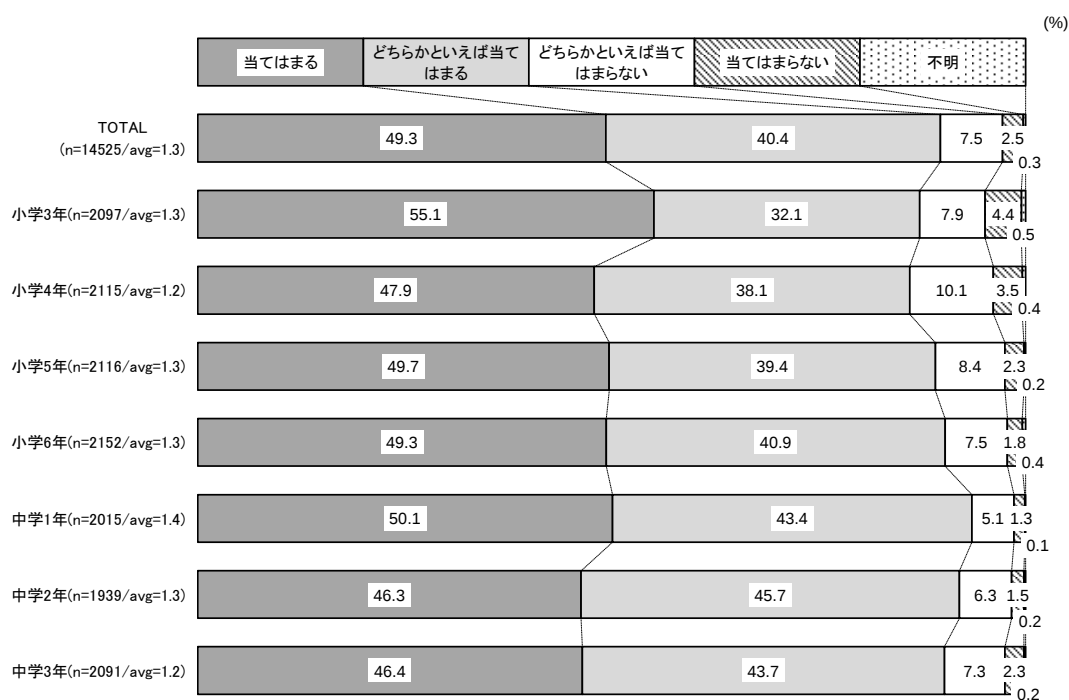
学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の 79.9%で、次いで中学1年の 77.6%となっており、最も低いのが中学3年の 72.9%となっています。



1 (14) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。

「いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 89.7%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 10.0%となっています。

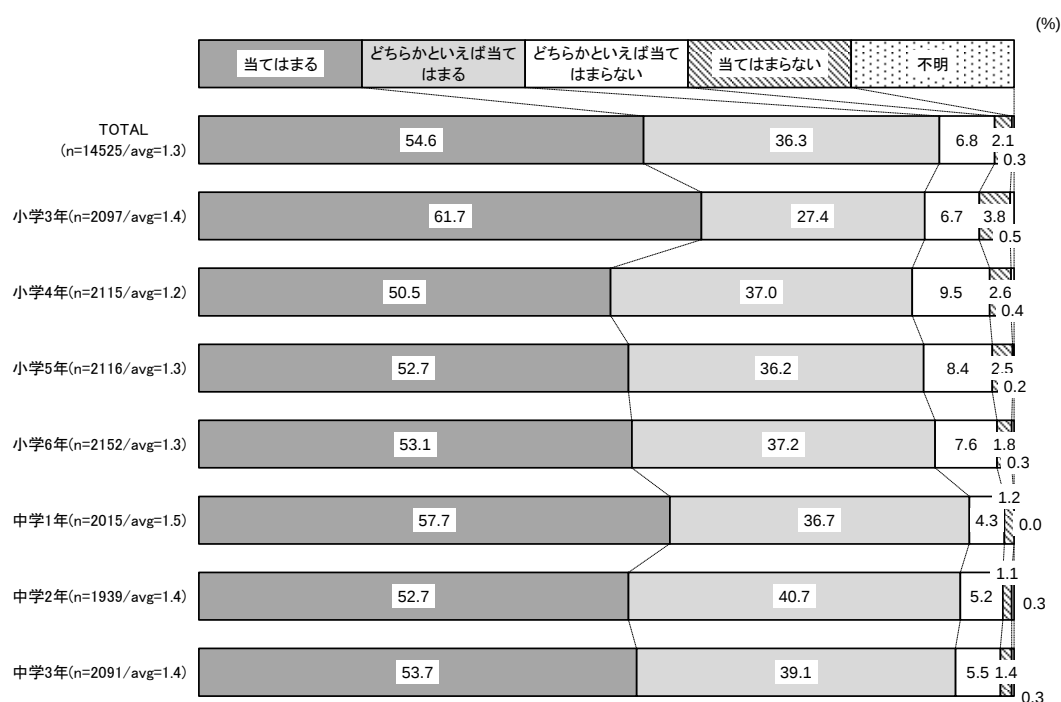
学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが中学1年の 93.5%で、最も低いのが小学4年の 86.0%となっています。



1 (15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。

「順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる」については、TOTALでは、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は90.9%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は8.9%となっています。

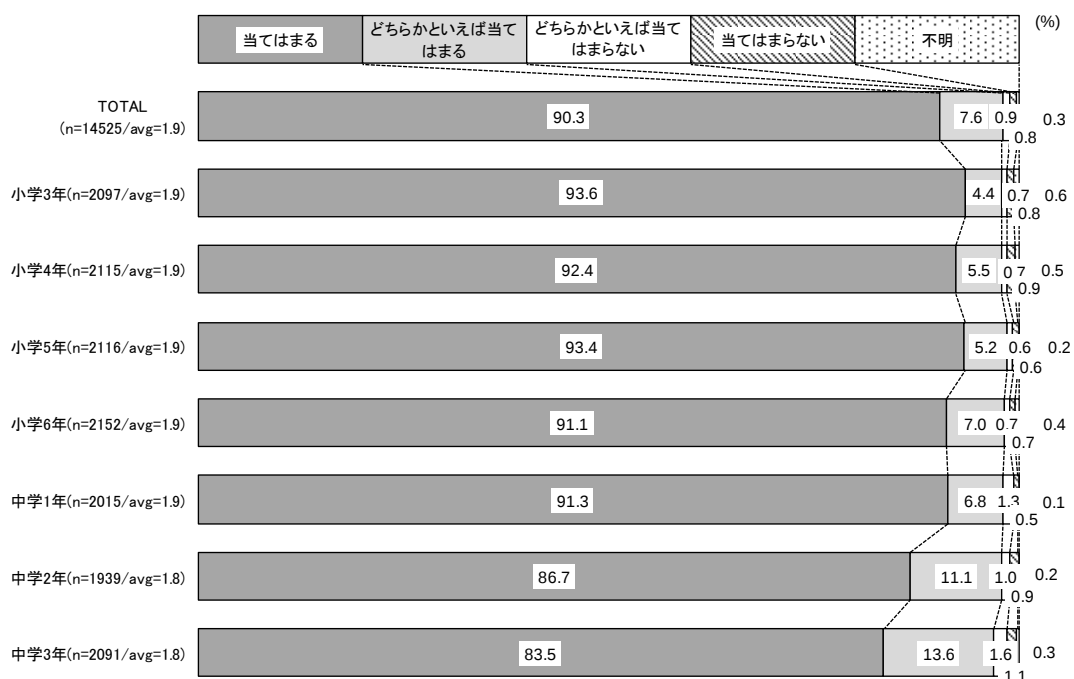
学年別にみると、肯定的な回答は、小学生（小学3年：89.1%、小学4年：87.5%、小学5年：88.9%、小学6年：90.3%）よりも中学生（中学1年：94.4%、中学2年：93.4%、中学3年：92.8%）の方が高い傾向がみられます。



1 (16) 自分や相手の命は大切だと思う。

「自分や相手の命は大切だと思う」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 97.9%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 1.7%となっています。

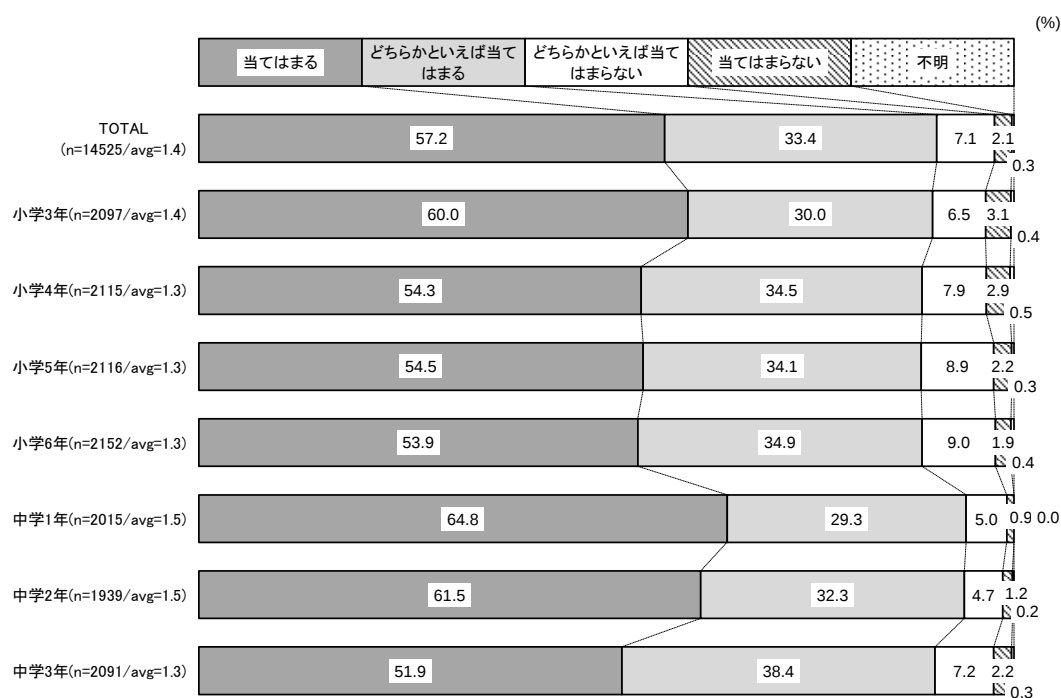
学年別にみても、同様の傾向となっています。



1 (17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。

「家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は90.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は9.2%となっています。

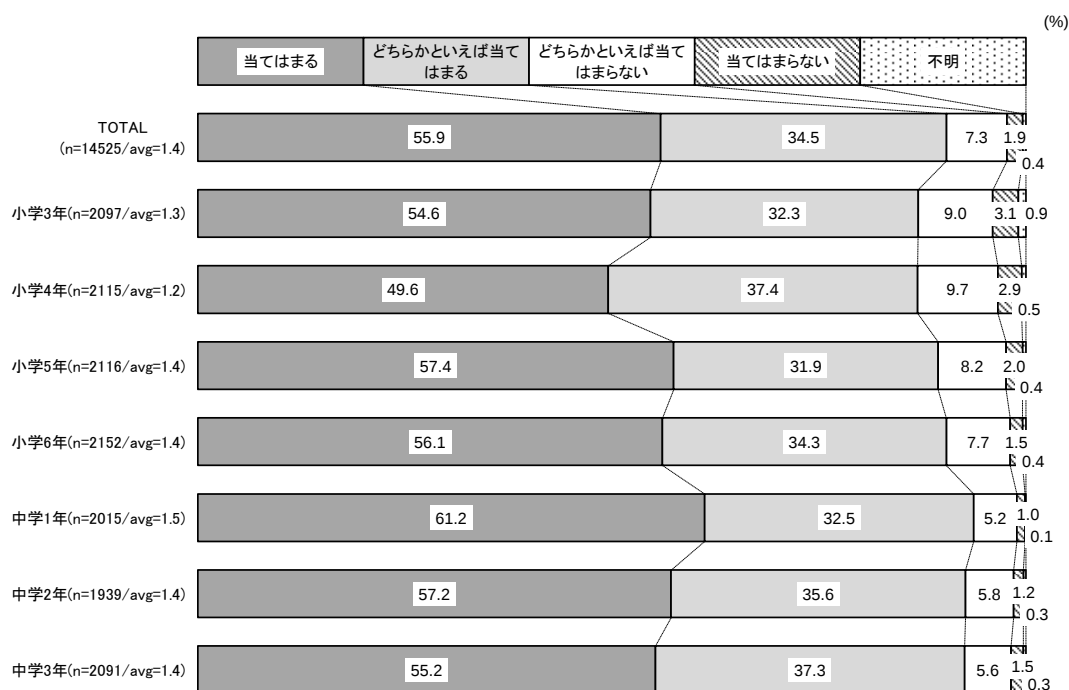
学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが中学1年の94.1%で、次いで中学2年の93.8%となっており、最も低いのが小学5年の88.6%となっています。



1 (10) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。

「相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は90.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は9.2%となっています。

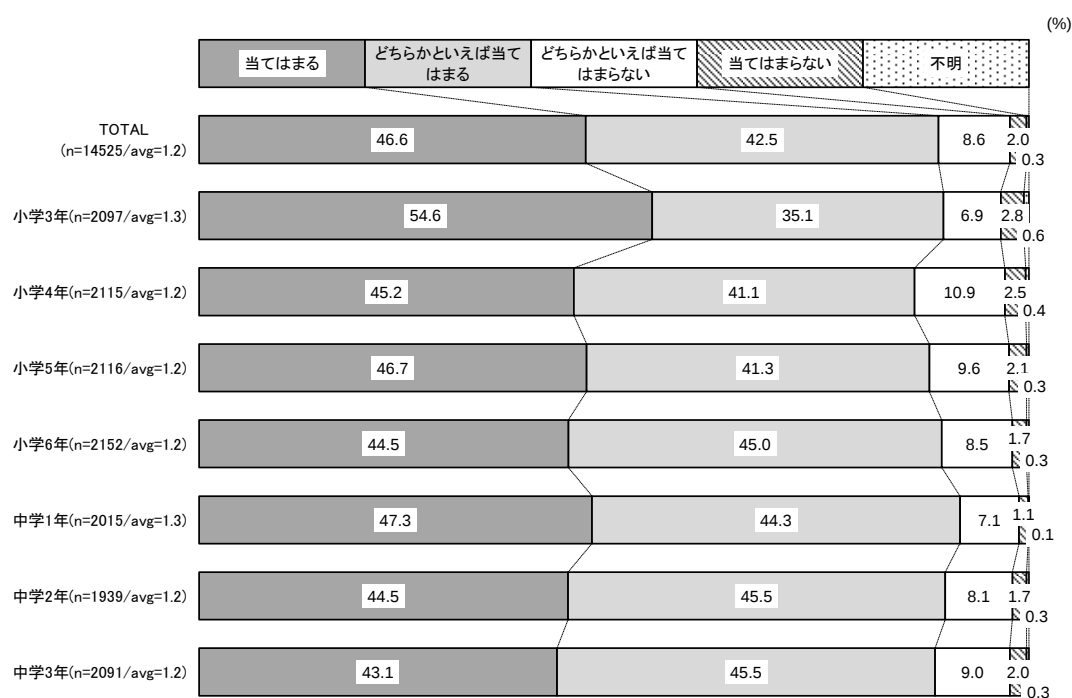
学年別にみると、肯定的な回答は、小学生（小学3年：86.9%、小学4年：87.0%、小学5年：89.3%、小学6年：90.4%）よりも中学生（中学1年 93.7%、中学2年 92.8%、中学3年 92.5%）の方が高い傾向がみられます。



1 (19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。

「学校のきまりや家の約束を守ることができる」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 89.1%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 10.6%となっています。

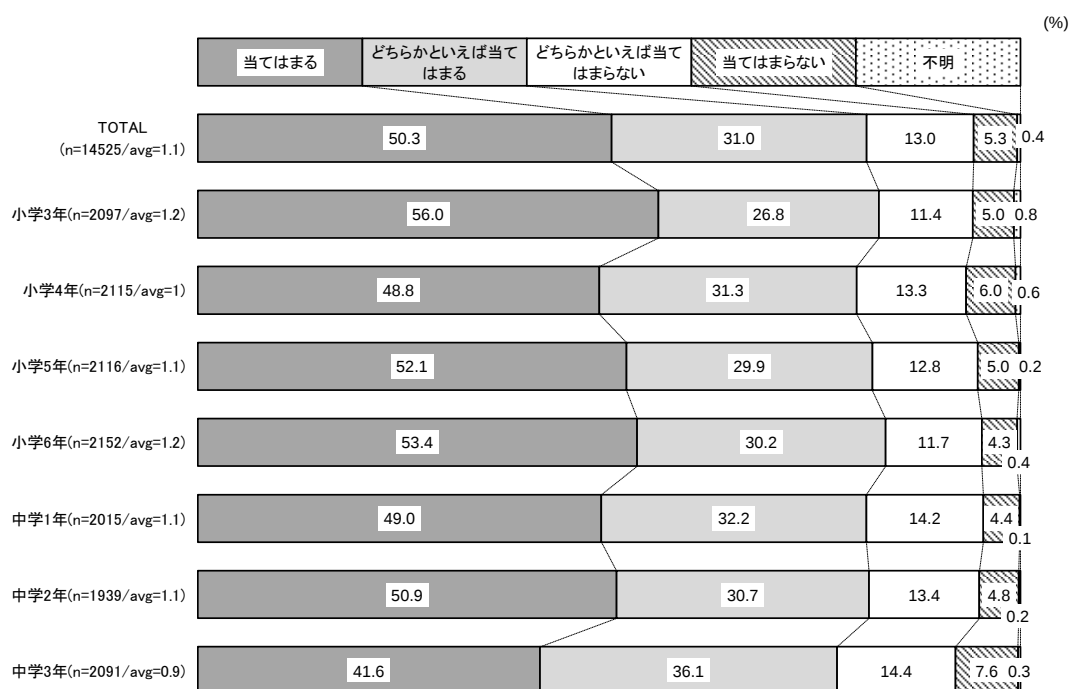
学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが中学1年の 91.6%で、最も低いのが小学4年の 86.3%となっています。



1 (20) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。

「ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 81.3%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 18.3%となっています。

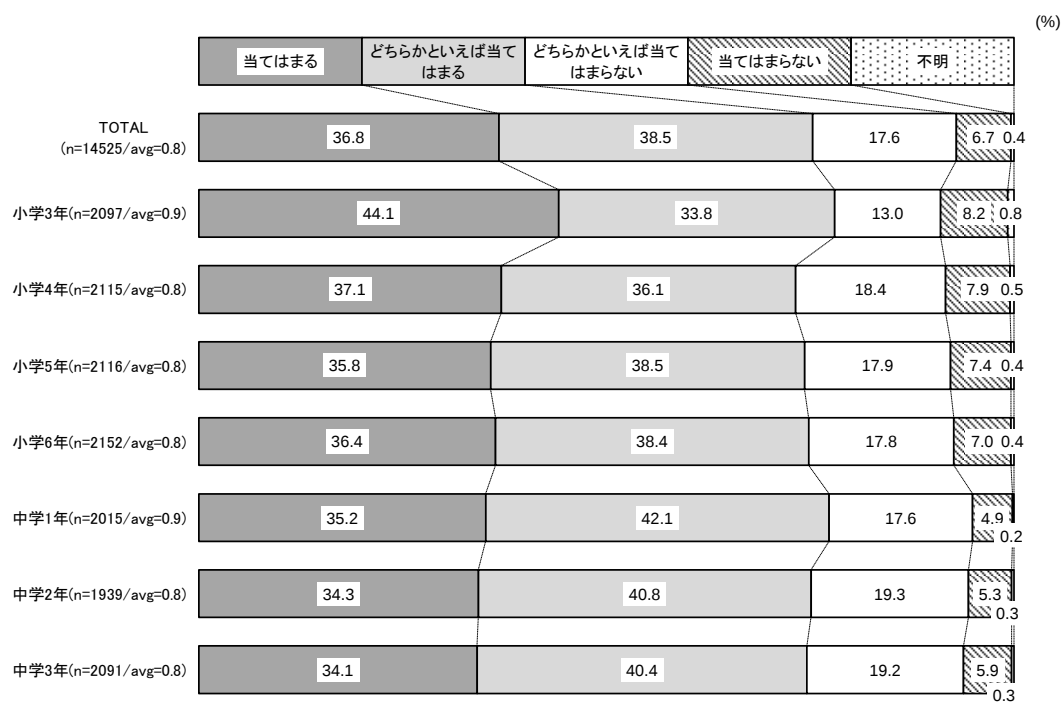
学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学6年の 83.6%で、最も低いのが中学3年の 77.7%となっています。



1 (21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。

「家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 75.3%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 24.3%となっています。

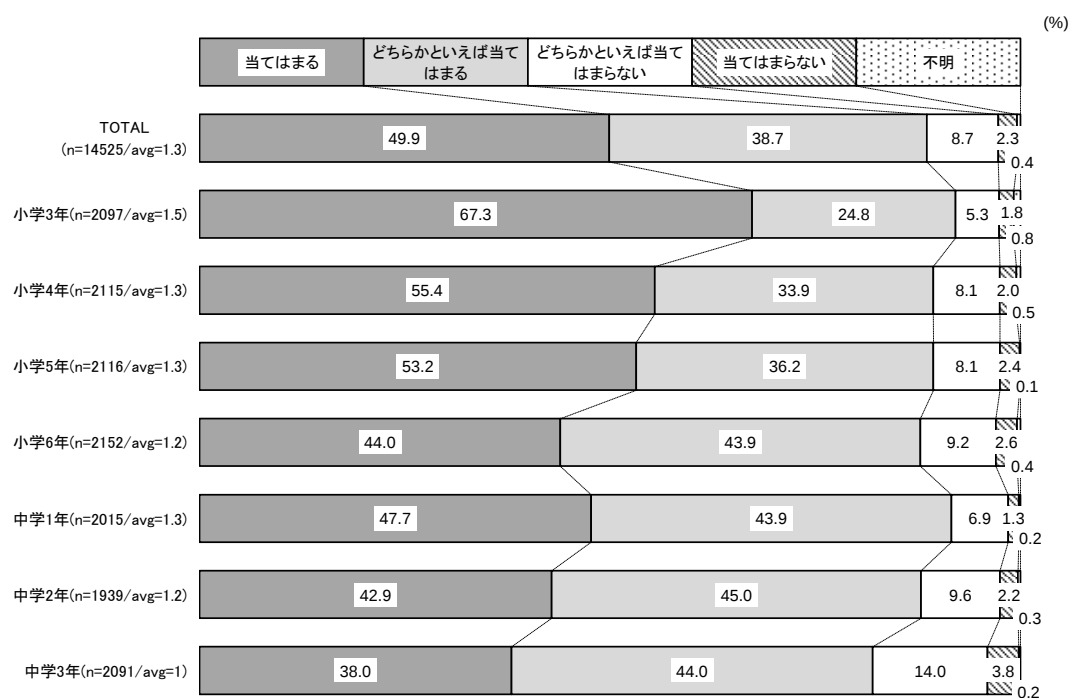
学年別にみても、同様の傾向となっています。



1 (22) 学校では、一生懸命、掃除をしている。

「学校では、一生懸命、掃除をしている」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 88.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 11.0%となっています。

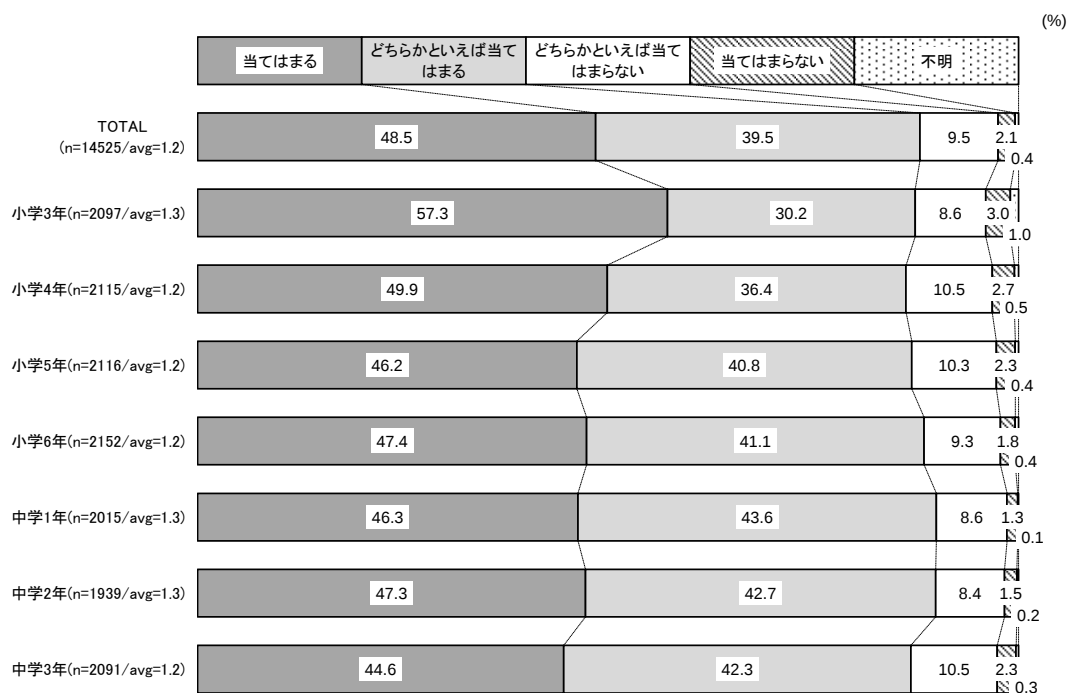
学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の 92.1%で、次いで中学1年の 91.6%となっており、最も低いのが中学3年の 82.0%となっています。



1 (23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。

「家や学校で、決められた時間を守ることができる」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 88.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 11.6%となっています。

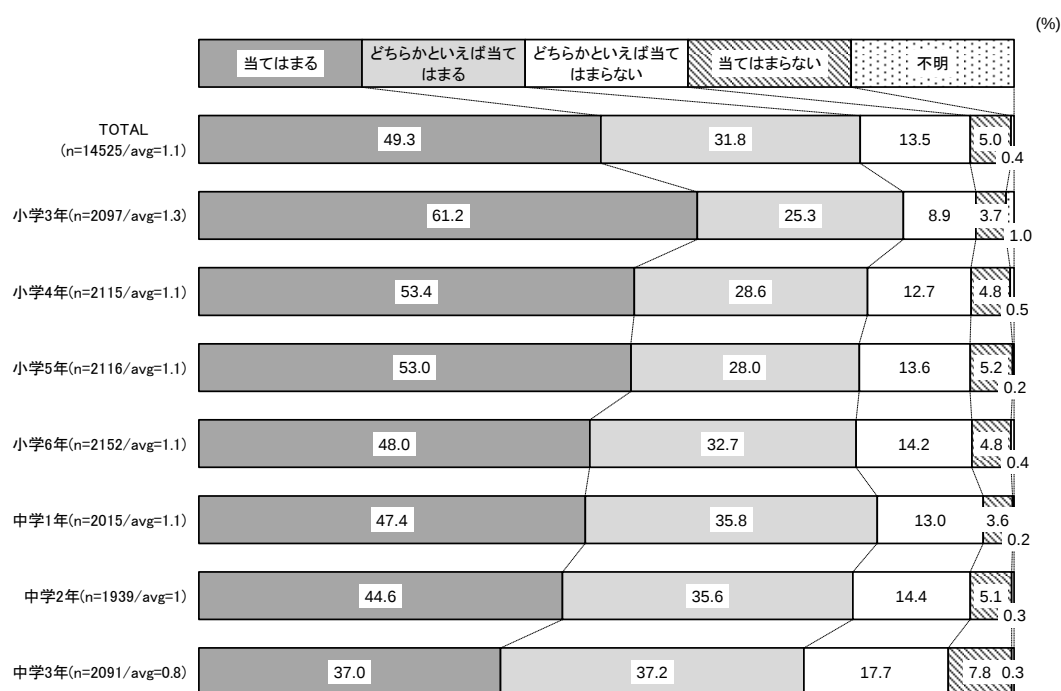
学年別にみても、同様の傾向となっています。



1 (24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。

「めあてや目標をもって運動に取り組んでいる」については、TOTALでは、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は81.1%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は18.5%となっています。

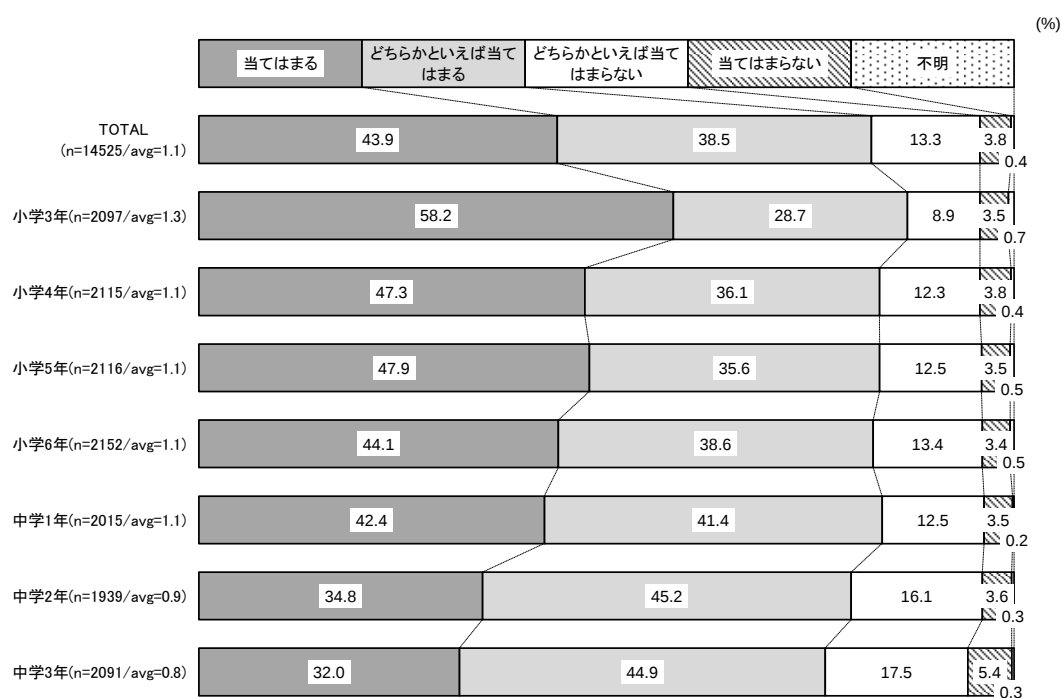
学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の86.5%で、次いで中学1年の83.2%となっており、最も低いのが中学3年の74.2%となっています。



1 (25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。

「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 82.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 17.1%となっています。

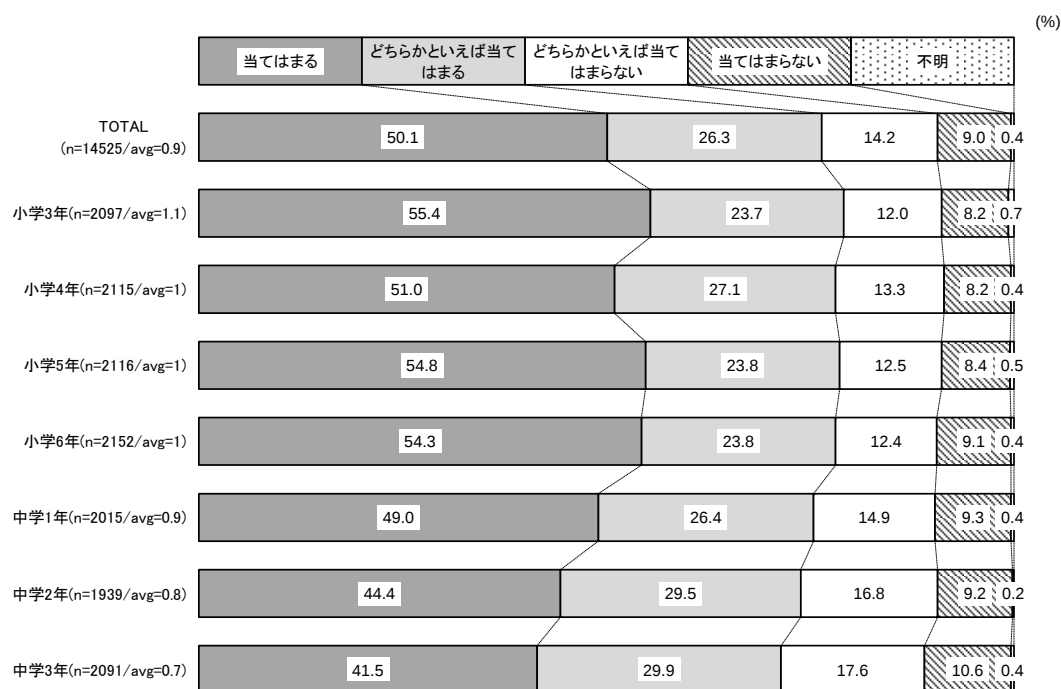
学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の 86.9%で、最も低いのが中学3年の 76.9%となっています。



1 (26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。

「きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 76.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 23.2%となっています。

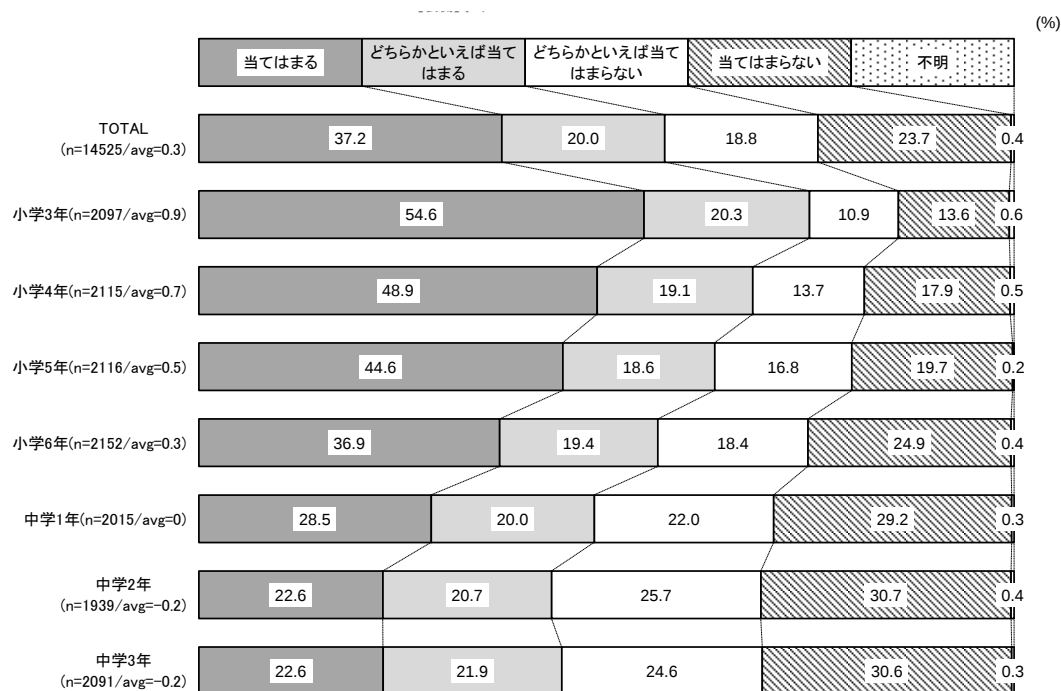
学年別にみても、同様の傾向となっています。



1 (27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。

「月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 57.2%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 42.5%となっています。

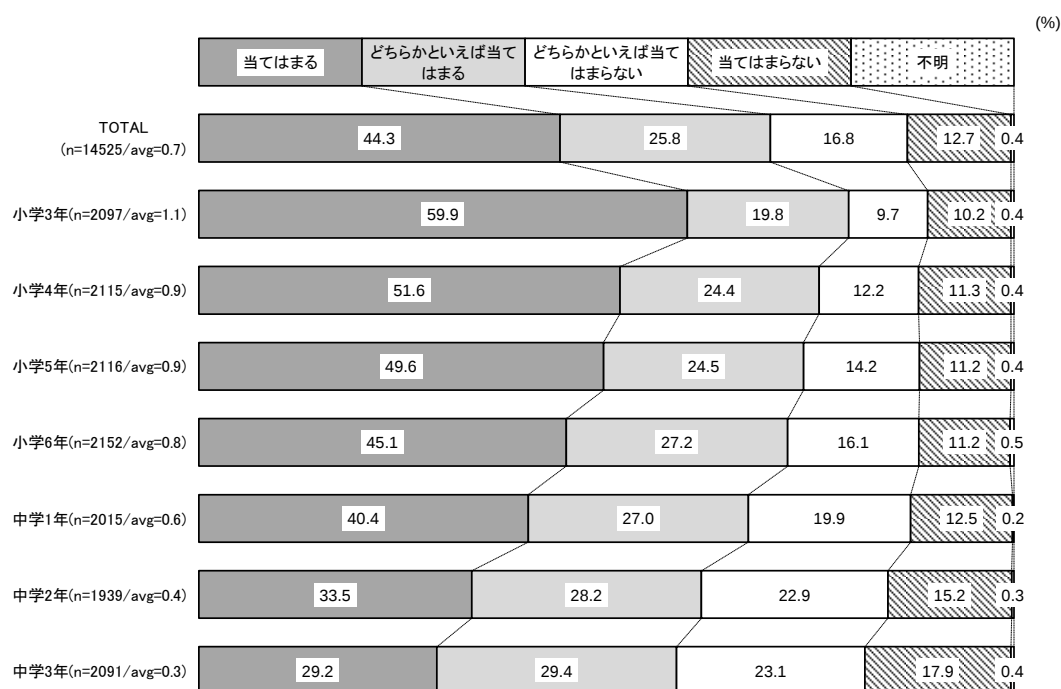
学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の 74.9%で、最も低いのが中学2年の 43.3%となっています。



1 (28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。

「よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 70.1%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 29.5%となっています。

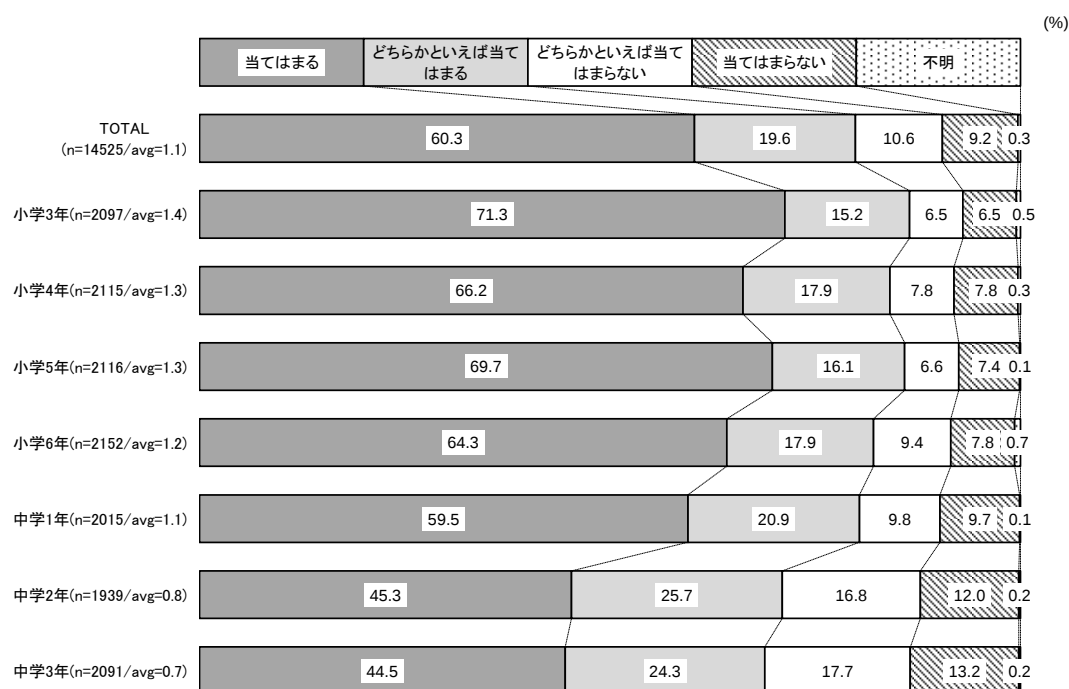
学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の 79.7%で、最も低いのが中学3年の 58.6%となっています。



1 (29) になりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。

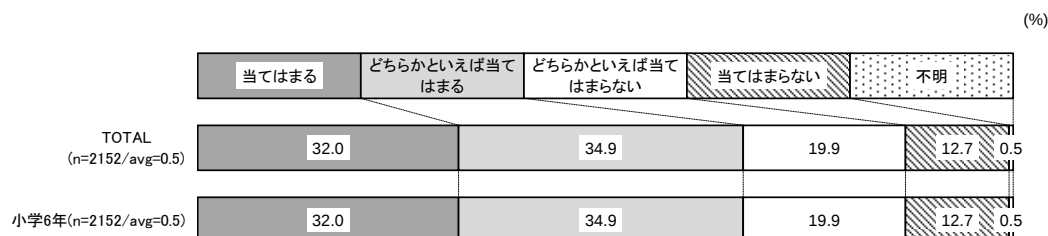
「になりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする」については、TOTAL では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 79.9%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 19.8%となっています。

学年別にみると、肯定的な回答は小学3年から中学1年までは 80.0%以上の割合となっていますが、中学2年（71.0%）と中学3年（68.8%）は約7割にとどまっています。



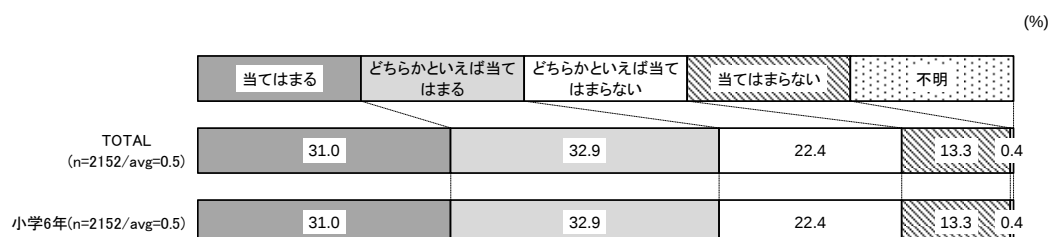
1 (30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。(小学6年のみ)

小学6年の「いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい」については、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 66.9%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 32.6%となっています。



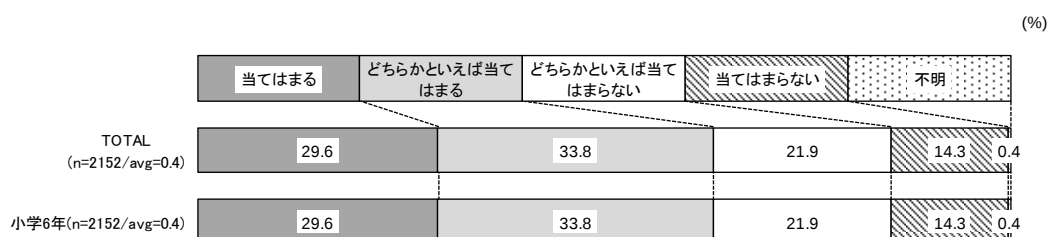
1 (31) 中学生に親しみを感ずる。(小学6年のみ)

小学6年の「中学生に親しみを感ずる」については、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 63.9%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 35.7%となっています。



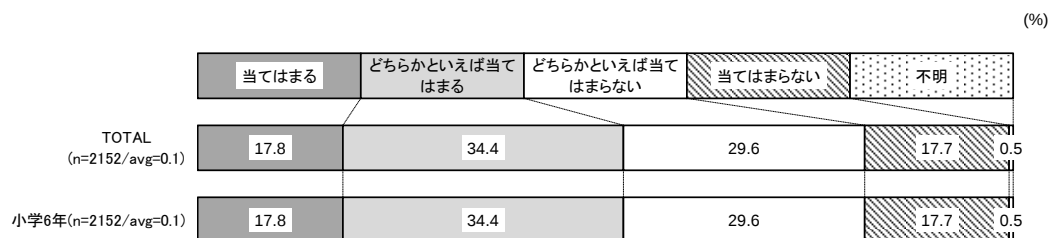
1 (32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。(小学6年のみ)

小学6年の「中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ」については、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 63.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 36.2%となっています。



1 (33) 中学校の先生に親しみを感じる。(小学6年のみ)

小学6年の「中学校の先生に親しみを感じる」については、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 52.2%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 47.3%となっています。

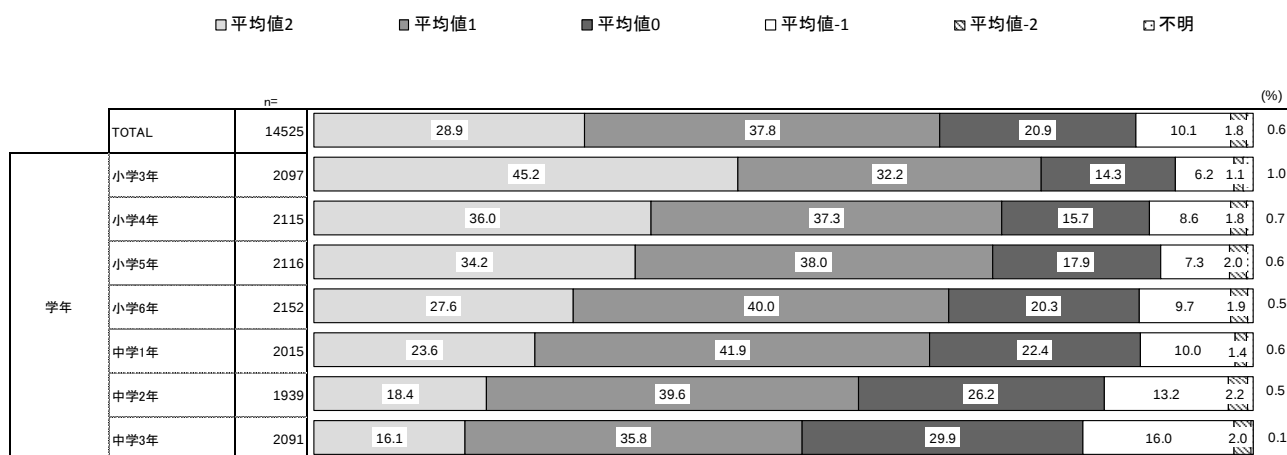


（２）自己肯定感・自己有用感

自己肯定感に関する内容（「今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」「自分のことを好きだと思う」「自分には、よいところがあると思う」）について、「当てはまる」を２点、「どちらかといえば当てはまる」を１点、「どちらかといえば当てはまらない」を－１点、「当てはまらない」を－２点として平均値を算出したところ、TOTALでは、２点が２８.９％、１点が３７.８％、０点が２０.９％、－１点が１０.１％、－２点が１.８％となっています。

学年別にみると、学年が上がるにつれて、自己肯定感が低くなる傾向にあります。

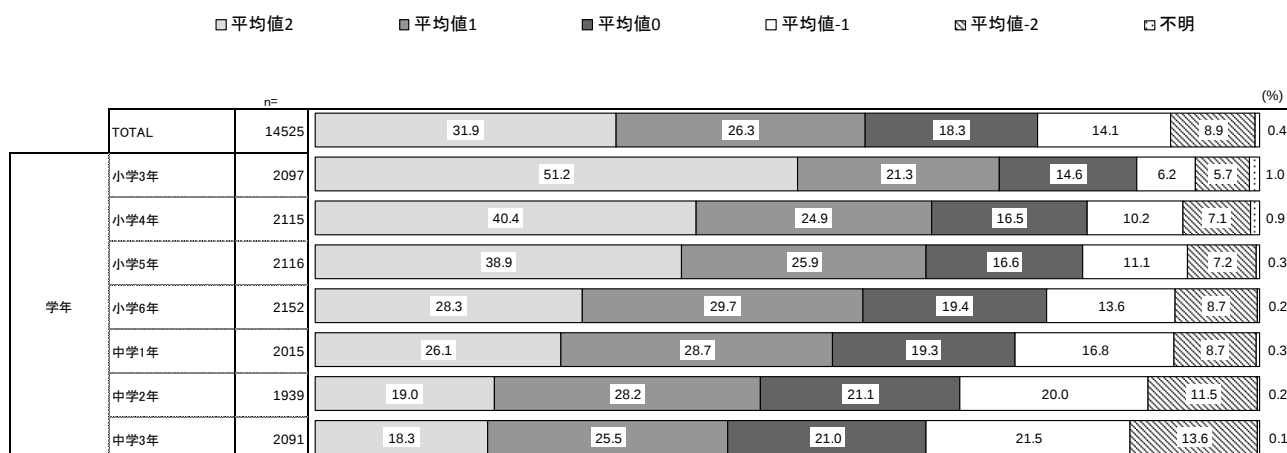
〔自己肯定感〕



自己有用感に関する内容（「自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている」「自分は、人の役に立っていると思う」）について、「当てはまる」を２点、「どちらかといえば当てはまる」を１点、「どちらかといえば当てはまらない」を－１点、「当てはまらない」を－２点として平均値を算出したところ、TOTALでは、２点が３１.９％、１点が２６.３％、０点が１８.３％、－１点が１４.１％、－２点が８.９％となっています。

学年別にみると、学年が上がるにつれて、自己有用感が低くなる傾向にあります。

〔自己有用感〕



(3) 自己肯定感との相関

自己肯定感に関する内容との相関を学年別に算出しました。

全ての学年を通じて、「自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている」「めあてや目標をもって運動に取り組んでいる」「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている」で相関が 0.4 以上と高くなっている。

学年別にみると、小学3年から小学5年で「学んだことを、普段の生活で生かそうとしている」で相関が 0.46 以上と高くなっている。

* 相関係数0.400以上にグレーの網掛け

設問項目	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	市内計
指標 自己肯定感	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
Q1(7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	0.387	0.369	0.355	0.327	0.229	0.246	0.249	0.333
Q1(8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	0.424	0.399	0.410	0.367	0.278	0.312	0.319	0.386
Q1(9) 授業の内容は、だいたい分かる。	0.399	0.372	0.321	0.316	0.312	0.314	0.319	0.367
Q1(10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	0.401	0.319	0.322	0.294	0.217	0.159	0.241	0.285
Q1(11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	0.463	0.483	0.460	0.381	0.335	0.379	0.392	0.438
Q1(12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	0.404	0.396	0.340	0.316	0.272	0.320	0.286	0.343
Q1(13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	0.475	0.485	0.475	0.426	0.433	0.448	0.467	0.466
Q1(14) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	0.374	0.388	0.382	0.364	0.281	0.373	0.299	0.345
Q1(15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	0.381	0.395	0.333	0.286	0.223	0.300	0.241	0.301
Q1(16) 自分や相手の命は大切だと思う。	0.250	0.248	0.288	0.272	0.259	0.285	0.271	0.278
Q1(17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。	0.347	0.385	0.396	0.379	0.297	0.345	0.365	0.349
Q1(18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。	0.408	0.364	0.348	0.352	0.216	0.266	0.292	0.306
Q1(19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	0.379	0.392	0.371	0.340	0.294	0.320	0.257	0.336
Q1(20) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。	0.317	0.334	0.310	0.296	0.240	0.263	0.245	0.291
Q1(21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができている。	0.380	0.383	0.312	0.316	0.260	0.275	0.252	0.311
Q1(22) 学校では、一生懸命、掃除をしている。	0.380	0.362	0.313	0.298	0.229	0.257	0.237	0.319
Q1(23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	0.391	0.366	0.330	0.323	0.278	0.288	0.284	0.324
Q1(24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	0.421	0.428	0.437	0.443	0.408	0.417	0.436	0.441
Q1(25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	0.486	0.537	0.525	0.488	0.485	0.506	0.534	0.522
Q1(26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。	0.375	0.366	0.345	0.341	0.323	0.323	0.325	0.351
Q1(27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。	0.242	0.234	0.248	0.251	0.228	0.192	0.230	0.271
Q1(28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。	0.274	0.321	0.270	0.283	0.292	0.270	0.270	0.311
Q1(29) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。	0.356	0.336	0.298	0.290	0.270	0.314	0.297	0.334
Q1(30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。				0.335				
Q1(31) 中学生に親しみをを感じる。				0.356				
Q1(32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。				0.325				
Q1(33) 中学校の先生に親しみをを感じる。				0.327				

(4) 自己有用感との相関

自己有用感に関する内容との相関を学年別に算出しました。

全ての学年を通じて、「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている」で相関が 0.4 以上と高くなっている。小学 6 年以外では、「自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている」で相関が 0.4 以上と高くなっている。また中学 1・2 年以外では、「学んだことを、普段の生活で生かそうとしている」で相関が 0.4 以上と高くなっている。

学年別にみると、小学 3 年から小学 5 年で「めあてや目標をもって運動に取り組んでいる」で相関が 0.4 以上と高くなっている。

* 相関係数0.400以上にグレーの網掛け

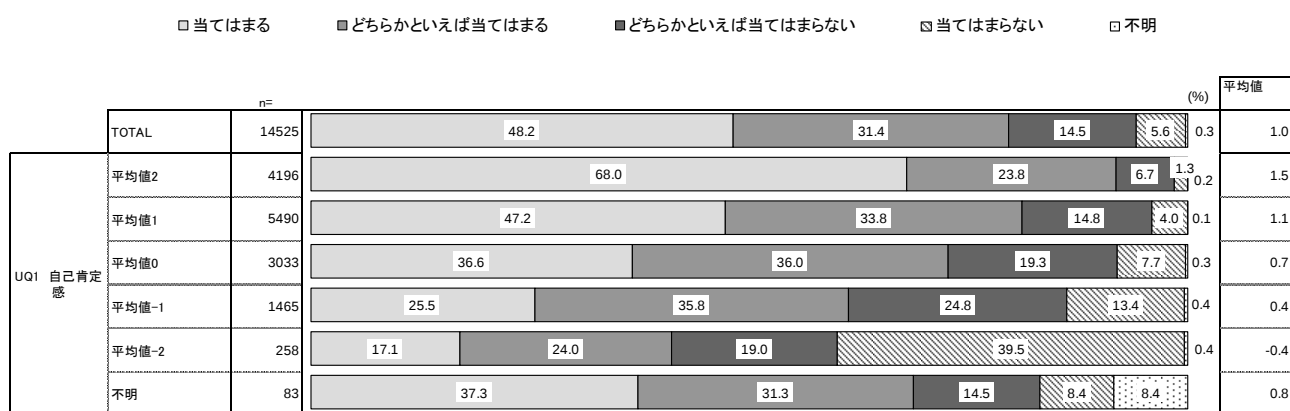
設問項目	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	市内計
指標 自己有用感	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
Q1(7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	0.340	0.324	0.340	0.297	0.253	0.241	0.309	0.328
Q1(8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	0.421	0.361	0.384	0.347	0.303	0.295	0.344	0.380
Q1(9) 授業の内容は、だいたい分かる。	0.369	0.348	0.343	0.315	0.306	0.292	0.346	0.366
Q1(10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	0.375	0.291	0.334	0.307	0.229	0.181	0.267	0.286
Q1(11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	0.435	0.473	0.452	0.410	0.356	0.348	0.420	0.439
Q1(12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	0.364	0.375	0.355	0.328	0.321	0.316	0.294	0.345
Q1(13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	0.434	0.485	0.456	0.392	0.421	0.411	0.443	0.442
Q1(14) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	0.373	0.382	0.393	0.361	0.278	0.318	0.285	0.332
Q1(15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	0.362	0.396	0.323	0.300	0.274	0.262	0.247	0.297
Q1(16) 自分や相手の命は大切だと思う。	0.210	0.236	0.228	0.235	0.250	0.243	0.259	0.251
Q1(17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。	0.304	0.351	0.371	0.354	0.311	0.271	0.337	0.315
Q1(18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。	0.388	0.353	0.363	0.366	0.244	0.234	0.271	0.297
Q1(19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	0.347	0.379	0.351	0.338	0.318	0.293	0.290	0.328
Q1(20) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。	0.264	0.309	0.277	0.280	0.267	0.226	0.234	0.269
Q1(21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。	0.360	0.378	0.339	0.320	0.284	0.242	0.265	0.310
Q1(22) 学校では、一生懸命、掃除をしています。	0.357	0.388	0.330	0.302	0.279	0.245	0.255	0.331
Q1(23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	0.353	0.344	0.347	0.308	0.307	0.276	0.296	0.317
Q1(24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	0.401	0.409	0.420	0.398	0.389	0.331	0.396	0.407
Q1(25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	0.412	0.507	0.498	0.493	0.459	0.420	0.496	0.485
Q1(26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をします。	0.349	0.349	0.337	0.336	0.310	0.294	0.299	0.333
Q1(27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。	0.224	0.218	0.252	0.223	0.223	0.155	0.224	0.263
Q1(28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。	0.249	0.316	0.287	0.263	0.253	0.240	0.264	0.299
Q1(29) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。	0.343	0.313	0.296	0.284	0.259	0.264	0.277	0.319
Q1(30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。				0.324				
Q1(31) 中学生に親しみをを感じる。				0.335				
Q1(32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。				0.297				
Q1(33) 中学校の先生に親しみをを感じる。				0.305				

(5) 平均値別自己肯定感

自己肯定感に関する内容について、「当てはまる」を2点、「どちらかといえば当てはまる」を1点、「どちらかといえば当てはまらない」を-1点、「当てはまらない」を-2点として平均値を算出しました。

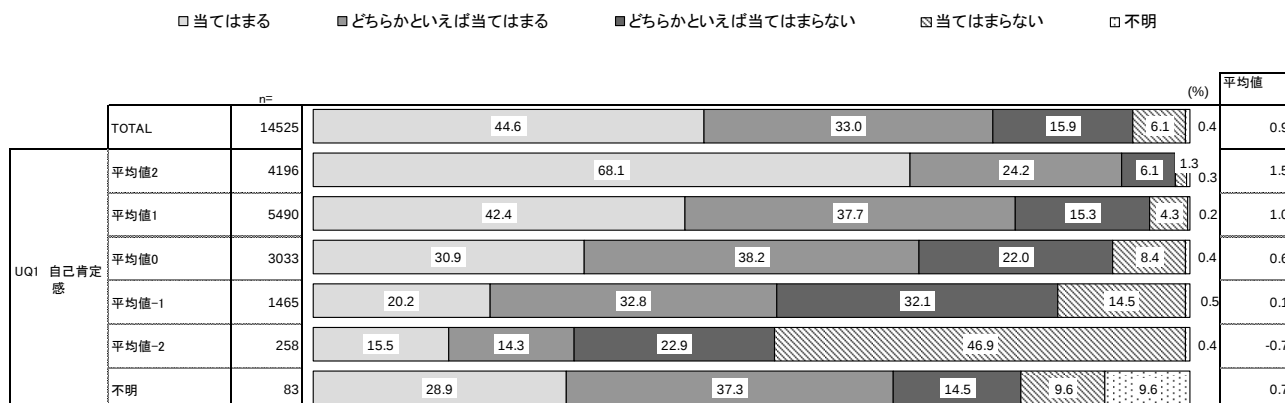
1 (7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。

「勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は91.8%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は8.0%となり、平均値は1.5となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は41.1%、否定的な回答は58.5%となり、平均値は-0.4となります。



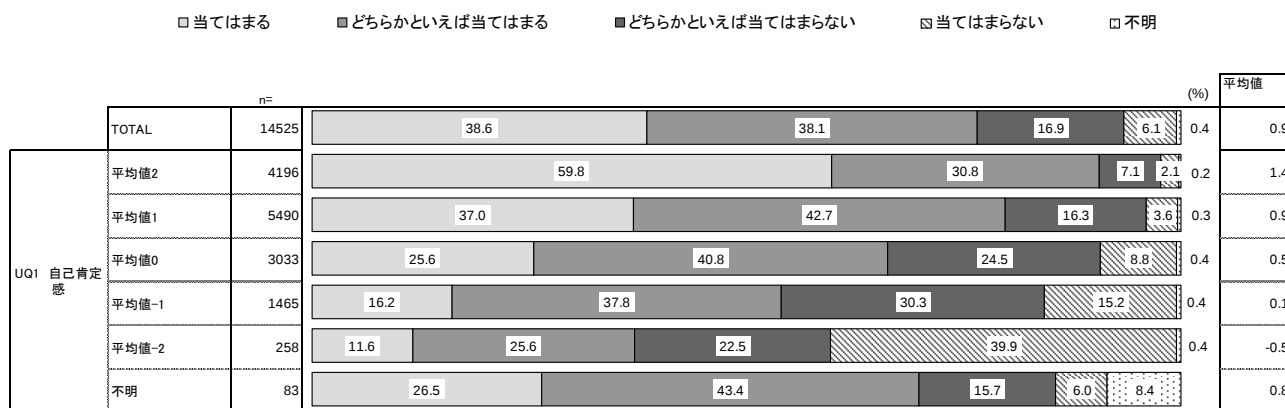
1 (8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。

「勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は92.3%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は7.4%となり、平均値は1.5となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は29.8%、否定的な回答は69.8%となり、平均値は-0.7となります。



1 (9) 授業の内容は、だいたい分かる。

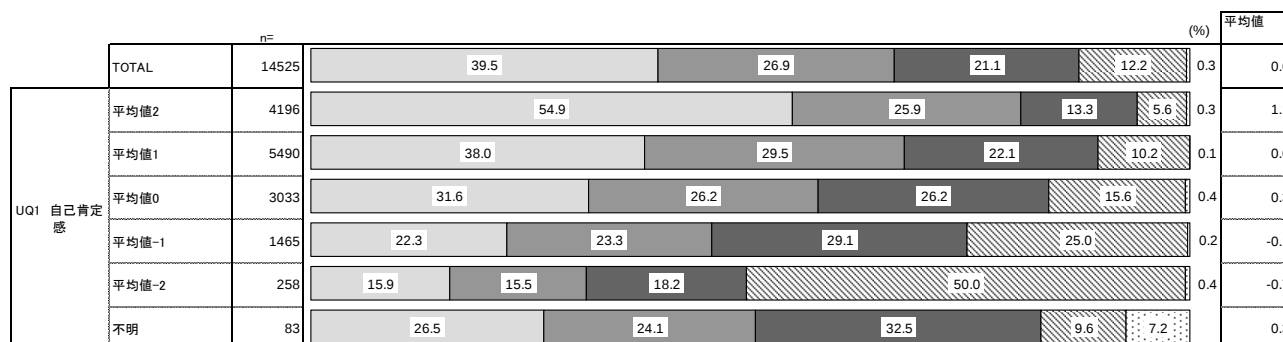
「授業の内容は、だいたい分かる」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は90.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は9.2%となり、平均値は1.4となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は37.2%、否定的な回答は62.4%となり、平均値は-0.5となります。



1 (10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。

「月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は80.8%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は18.9%となり、平均値は1.1となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は31.4%、否定的な回答は68.2%となり、平均値は-0.7となります。

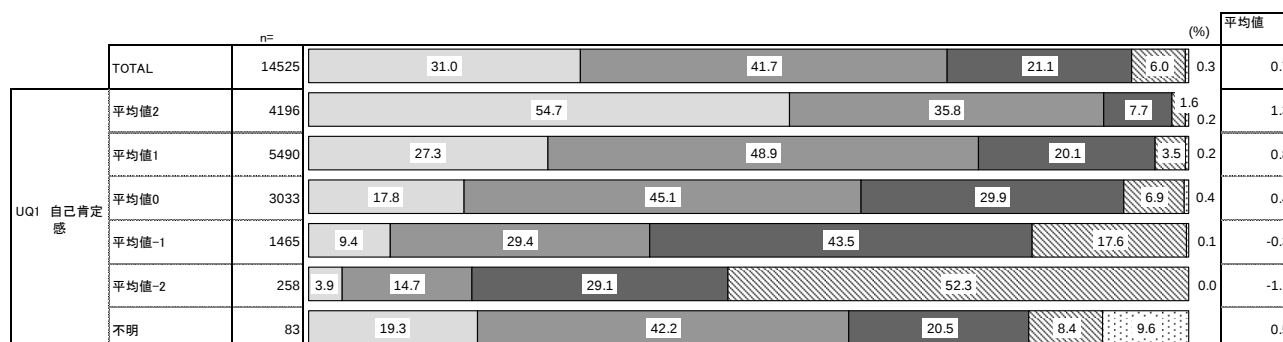
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。

「学んだことを、普段の生活で生かそうとしている」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は90.5%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は9.3%となり、平均値は1.3となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は18.6%、否定的な回答は81.4%となり、平均値は-1.1となります。

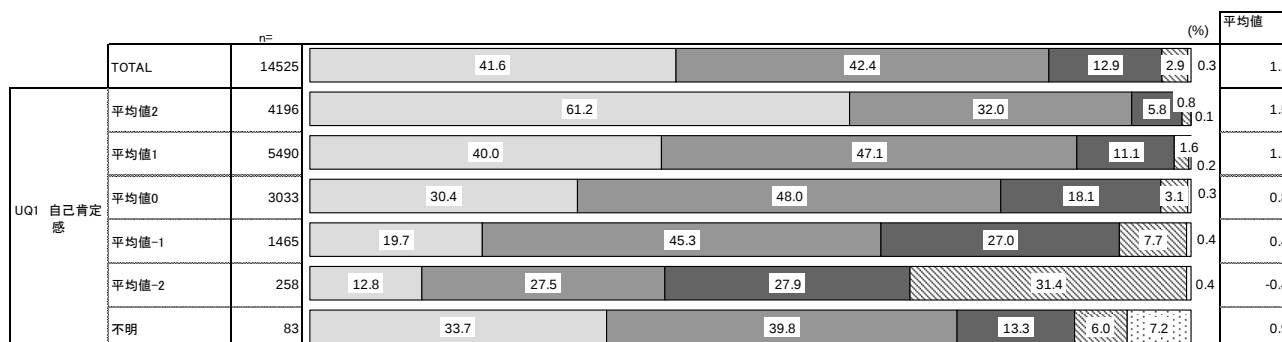
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。

「静かに集中して人の話を聞くようにしている」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は93.2%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は6.6%となり、平均値は1.5となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は40.3%、否定的な回答は59.3%となり、平均値は－0.4となります。

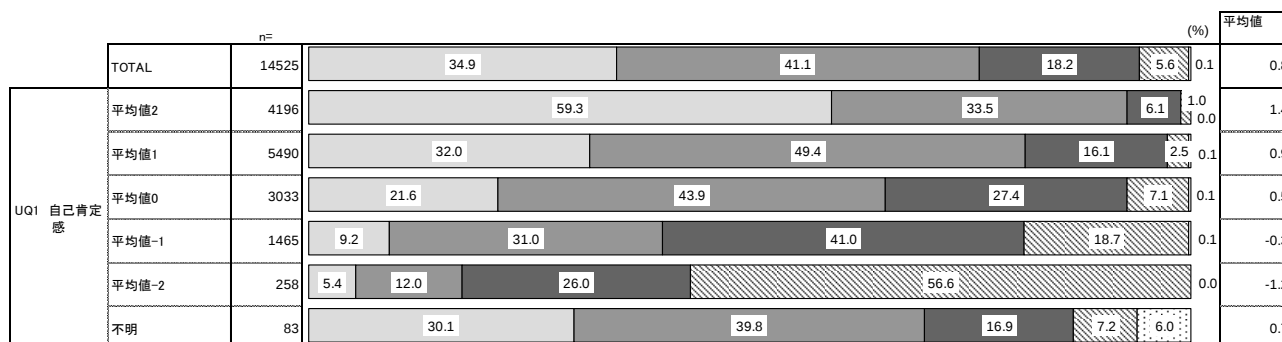
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。

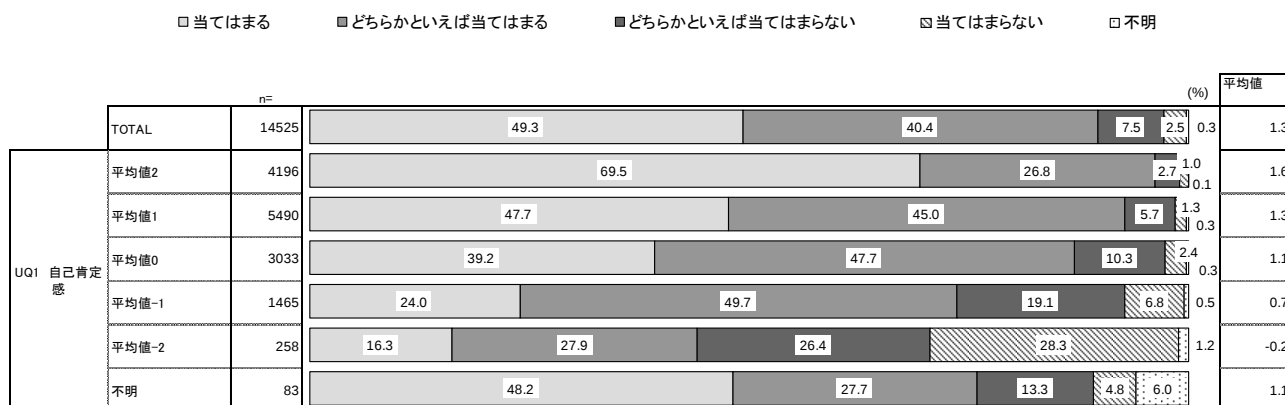
「自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は92.8%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は7.1%となり、平均値は1.4となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は17.4%、否定的な回答は82.6%となり、平均値は－1.2となります。

□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



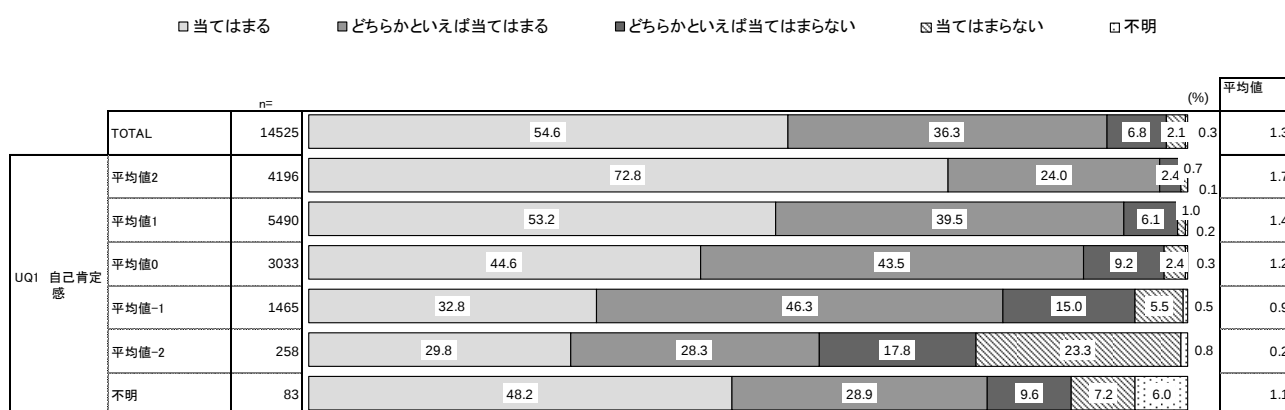
1 (14) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。

「いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は96.3%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は3.7%となり、平均値は1.6となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は44.2%、否定的な回答は54.7%となり、平均値は－0.2となります。



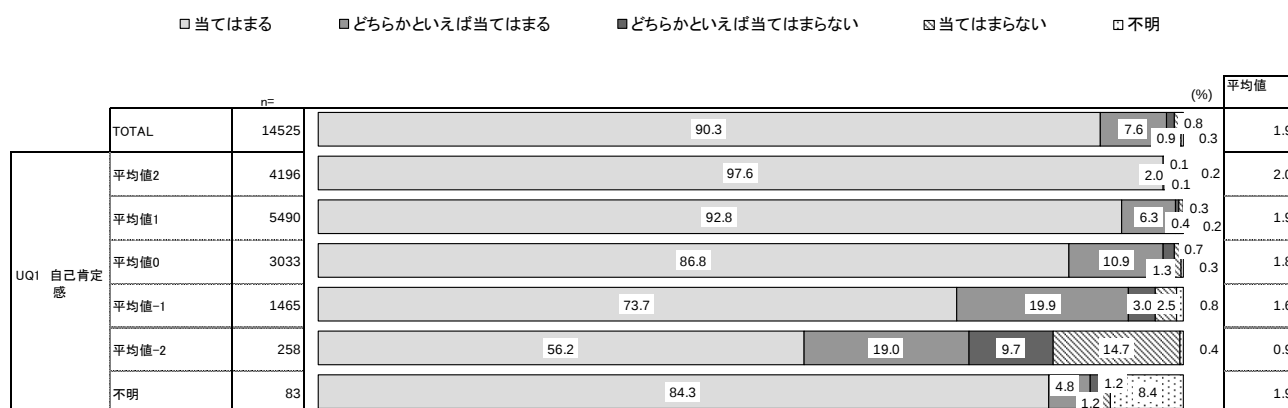
1 (15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。

「順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は96.8%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は3.1%となり、平均値は1.7となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は58.1%、否定的な回答は41.1%となり、平均値は0.2となります。



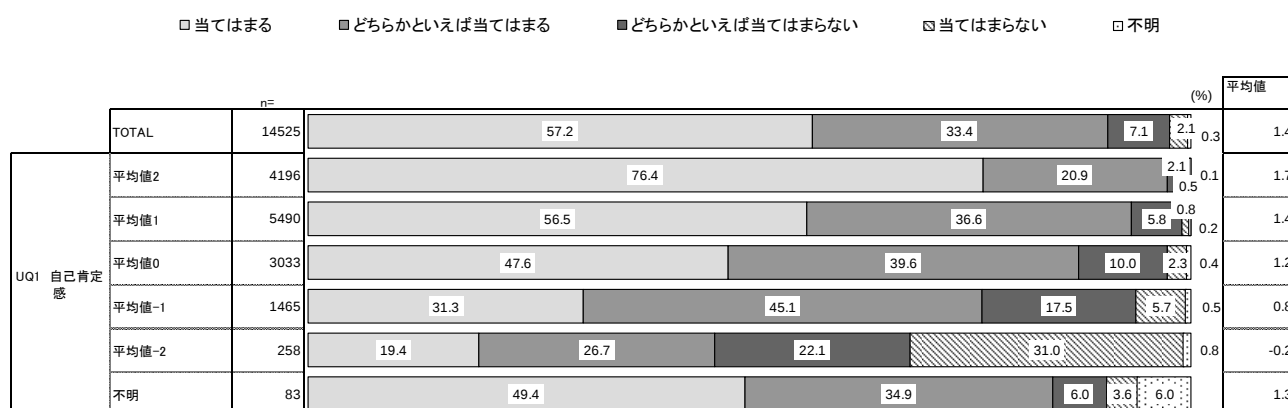
1 (16) 自分や相手の命は大切だと思う。

「自分や相手の命は大切だと思う」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は99.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は0.2%となり、平均値は2.0となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は75.2%、否定的な回答は24.4%となり、平均値は0.9となります。



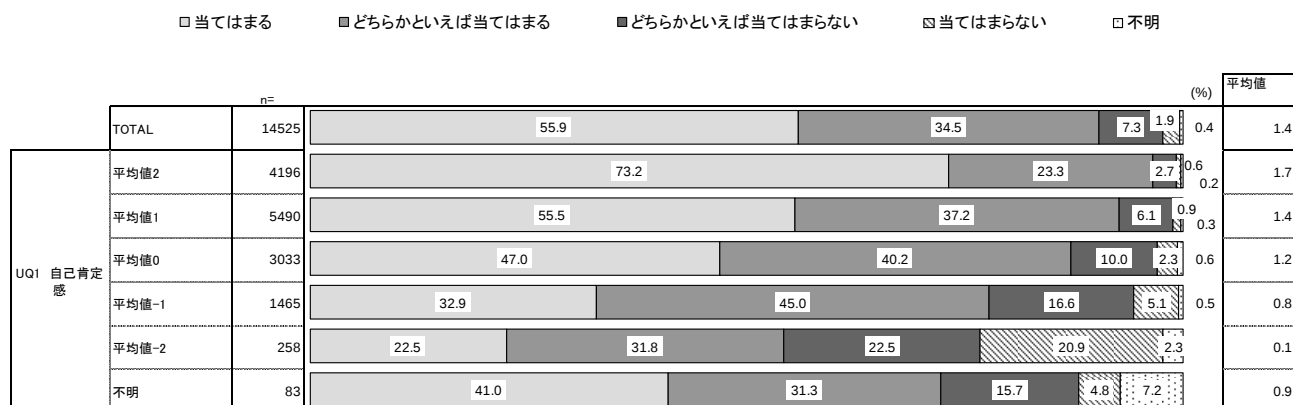
1 (17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。

「家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は97.3%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は2.6%となり、平均値は1.7となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は46.1%、否定的な回答は53.1%となり、平均値は－0.2となります。



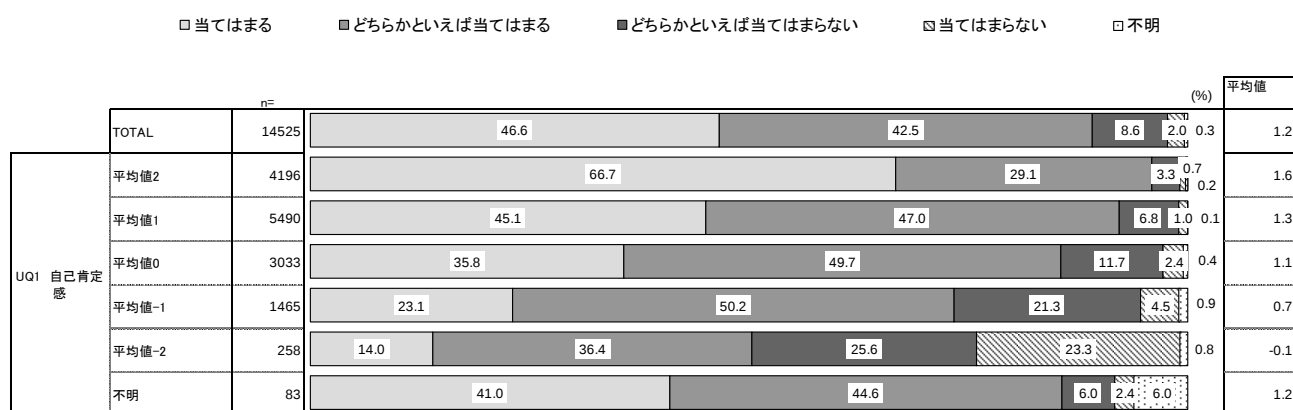
1 (18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。

「相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は96.5%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は3.3%となり、平均値は1.7となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は54.3%、否定的な回答は43.4%となり、平均値は0.1となります。



1 (19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。

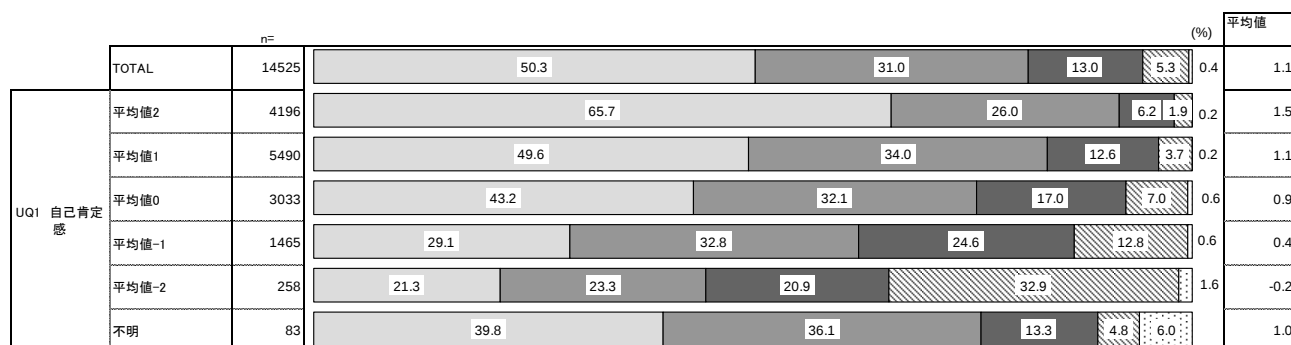
「学校のきまりや家の約束を守ることができる」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は95.8%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は4.0%となり、平均値は1.6となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は50.4%、否定的な回答は48.9%となり、平均値は－0.1となります。



1 (20) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ご飯を食べている。

「ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は91.7%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は8.1%となり、平均値は1.5となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は44.6%、否定的な回答は53.8%となり、平均値は-0.2となります。

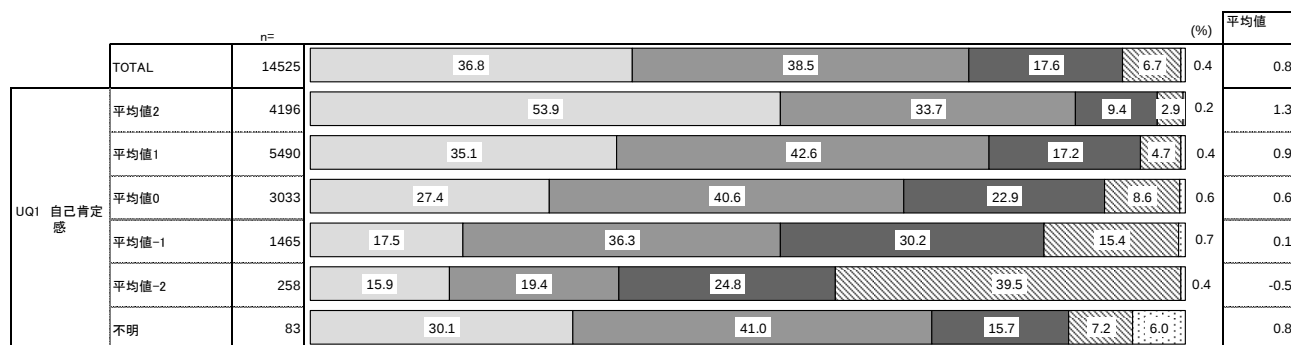
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。

「家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は87.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は12.3%となり、平均値は1.3となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は35.3%、否定的な回答は64.3%となり、平均値は-0.5となります。

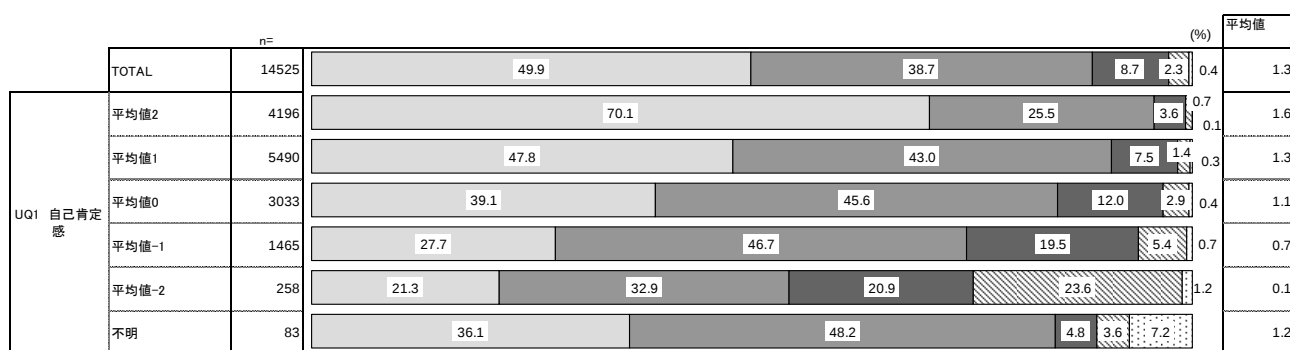
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (22) 学校では、一生懸命、掃除をしている。

「学校では、一生懸命、掃除をしている」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は 95.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 4.3%となり、平均値は 1.6 となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は 54.2%、否定的な回答は 44.5%となり、平均値は 0.1 となります。

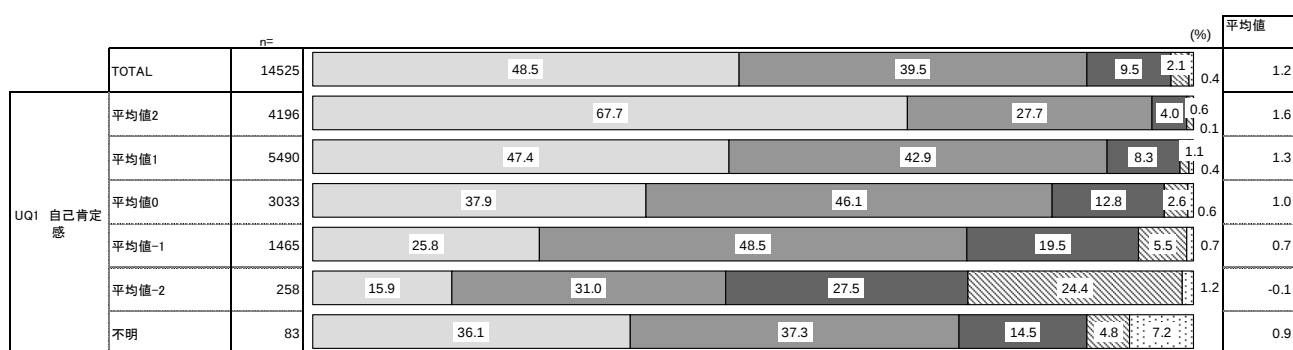
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。

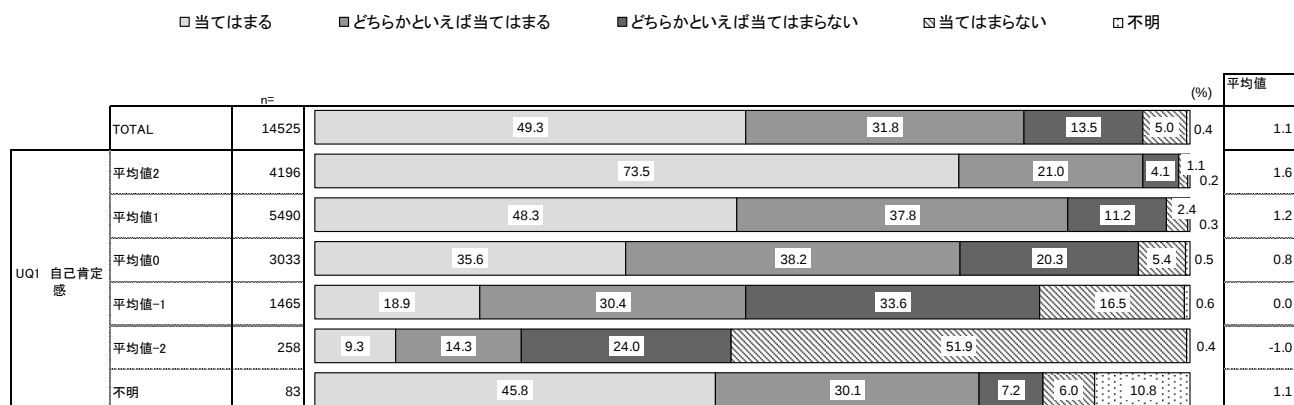
「家や学校で、決められた時間を守ることができる」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は 95.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 4.6%となり、平均値は 1.6 となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は 46.9%、否定的な回答は 51.9%となり、平均値は－0.1 となります。

□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



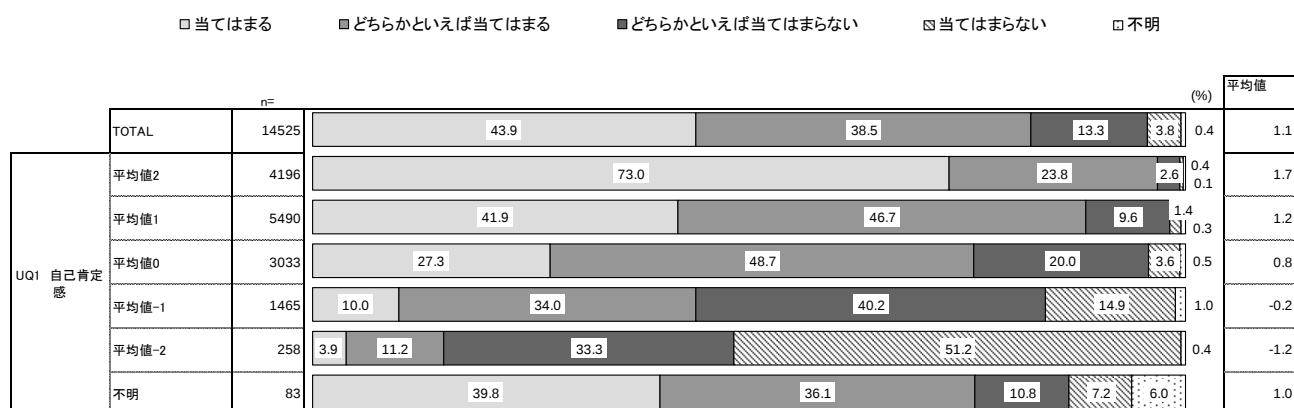
1 (24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。

「めあてや目標をもって運動に取り組んでいる」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は94.5%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は5.2%となり、平均値は1.6となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は23.6%、否定的な回答は75.9%となり、平均値は-1.0となります。



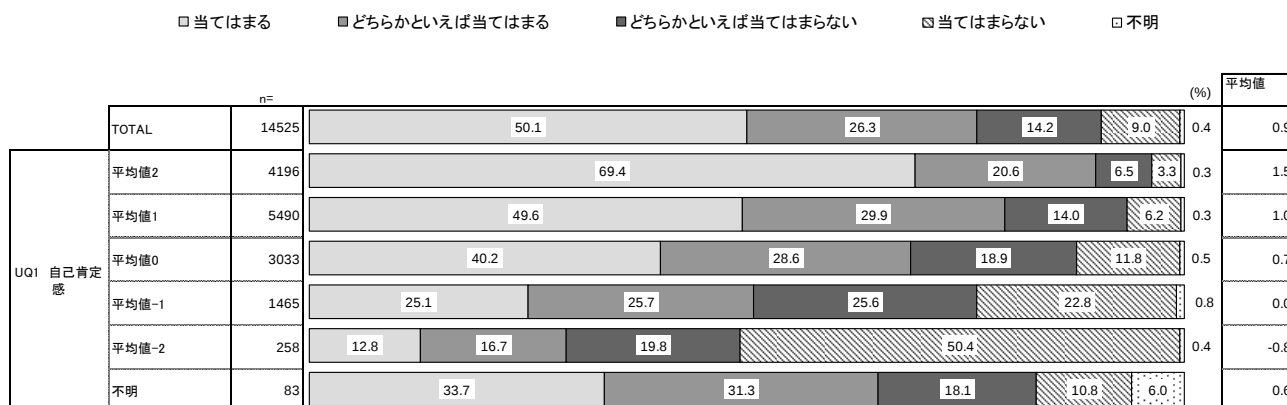
1 (25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。

「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている」については、平均値別にみると、自己肯定感の平均値が0以上では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は96.8%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は3.0%となり、平均値は1.7となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は15.1%、否定的な回答は84.5%となり、平均値は-1.2となります。



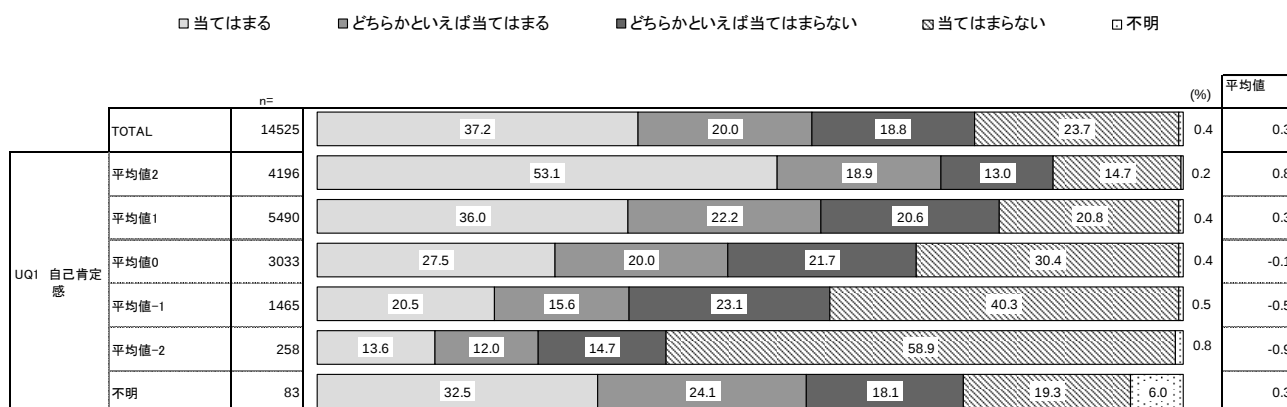
1 (26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。

「きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は90.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は9.8%となり、平均値は1.5となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は29.5%、否定的な回答は70.2%となり、平均値は－0.8となります。



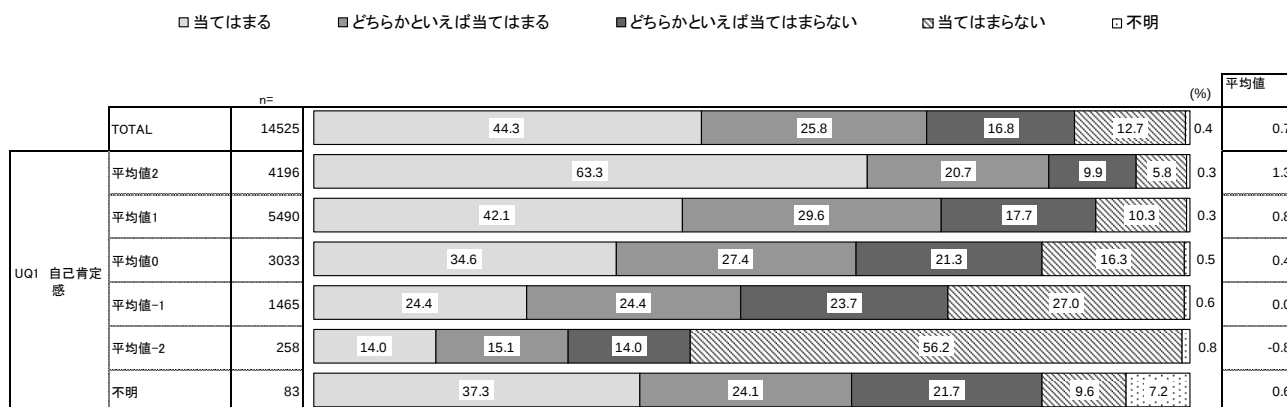
1 (27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。

「月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は72.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は27.7%となり、平均値は0.8となります。自己肯定感の平均値－2の場合、肯定的な回答は25.6%、否定的な回答は73.6%となり、平均値は－0.9となります。



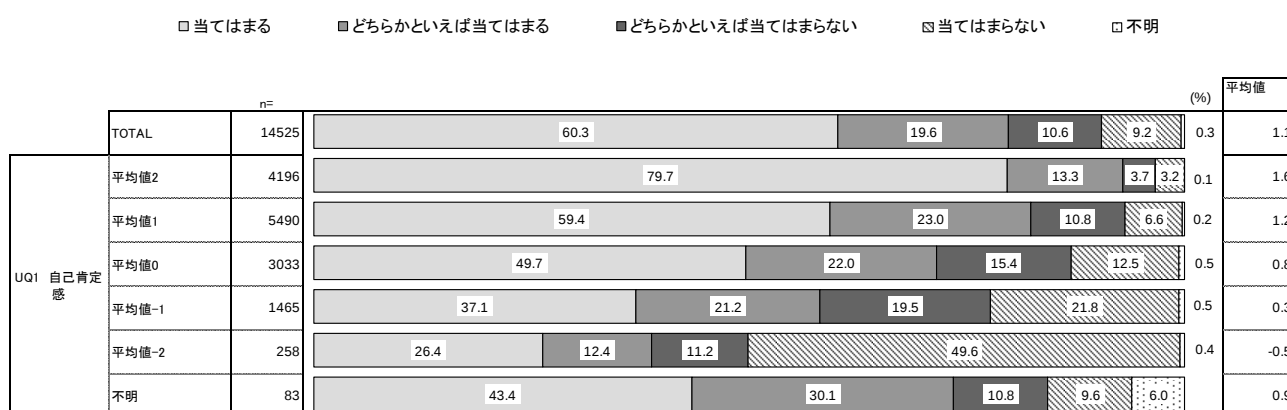
1 (28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。

「よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は84.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は15.7%となり、平均値は1.3となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は29.1%、否定的な回答は70.2%となり、平均値は-0.8となります。



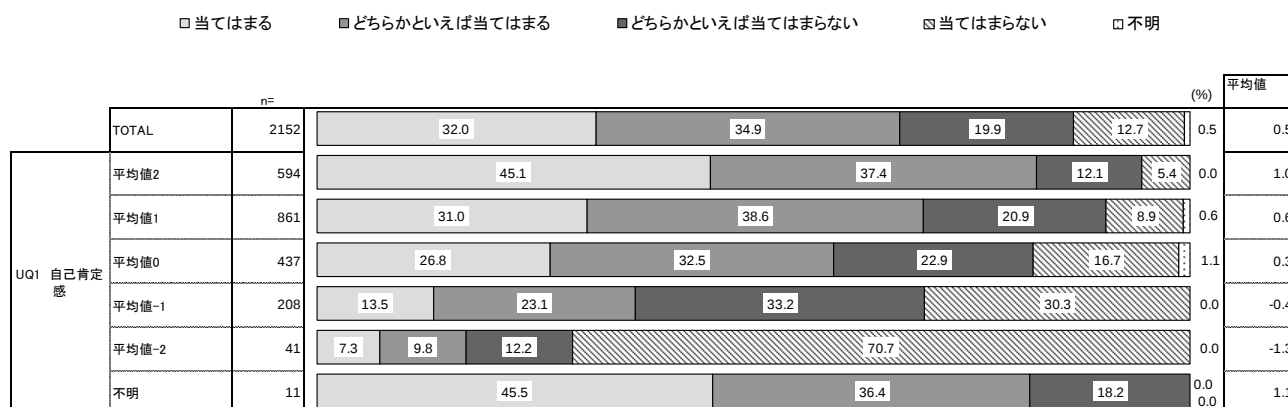
1 (29) になりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。

「になりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする」については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は93.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は6.9%となり、平均値は1.6となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は38.8%、否定的な回答は60.8%となり、平均値は-0.5となります。



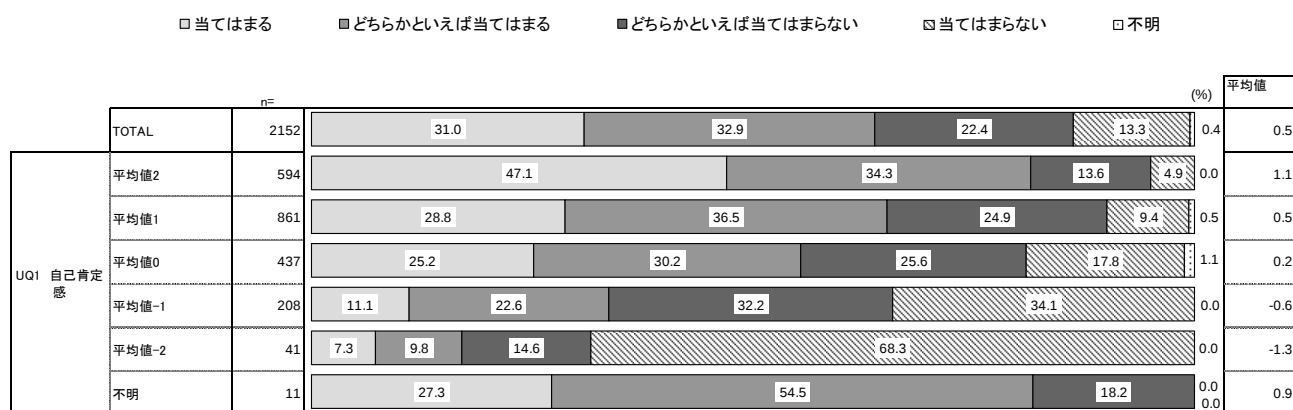
1 (30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。(小学6年のみ)

「いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい」(小学6年のみ)については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答(「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計)の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は82.5%、否定的な回答(「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計)は17.5%となり、平均値は1.0となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は17.1%、否定的な回答は82.9%となり、平均値は-1.3となります。



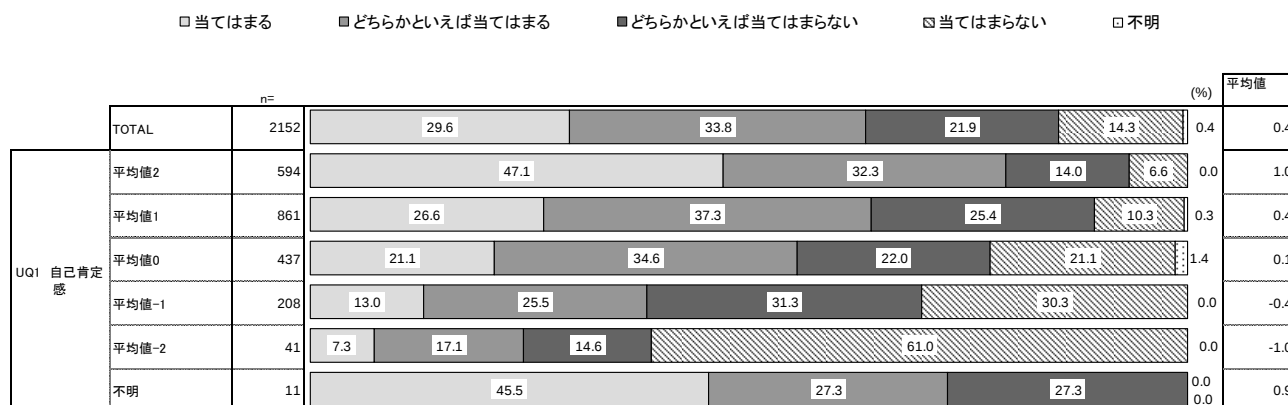
1 (31) 中学生に親しみを感ずる。(小学6年のみ)

「中学生に親しみを感ずる」(小学6年のみ)については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答(「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計)の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は81.4%、否定的な回答(「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計)は18.5%となり、平均値は1.1となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は17.1%、否定的な回答は82.9%となり、平均値は-1.3となります。



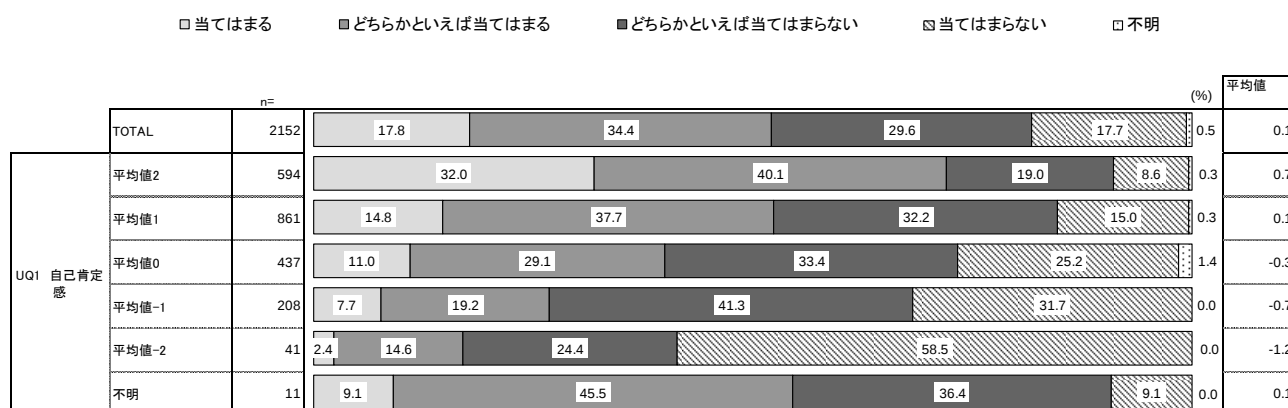
1 (32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。(小学6年のみ)

「中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ」(小学6年のみ)については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答(「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計)の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は79.4%、否定的な回答(「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計)は20.6%となり、平均値は1.0となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は24.4%、否定的な回答は75.6%となり、平均値は-1.0となります。



1 (33) 中学校の先生に親しみを感ずる。(小学6年のみ)

「中学校の先生に親しみを感ずる」(小学6年のみ)については、平均値別にみると、自己肯定感が高いほど、肯定的な回答(「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計)の割合が高くなっています。自己肯定感の平均値2の場合、肯定的な回答は72.1%、否定的な回答(「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計)は27.6%となり、平均値は0.7となります。自己肯定感の平均値-2の場合、肯定的な回答は17.0%、否定的な回答は82.9%となり、平均値は-1.2となります。



(6) 平均値別自己有用感

自己有用感に関する内容について、「当てはまる」を2点、「どちらかといえば当てはまる」を1点、「どちらかといえば当てはまらない」を-1点、「当てはまらない」を-2点として平均値を算出しました。

1 (7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。

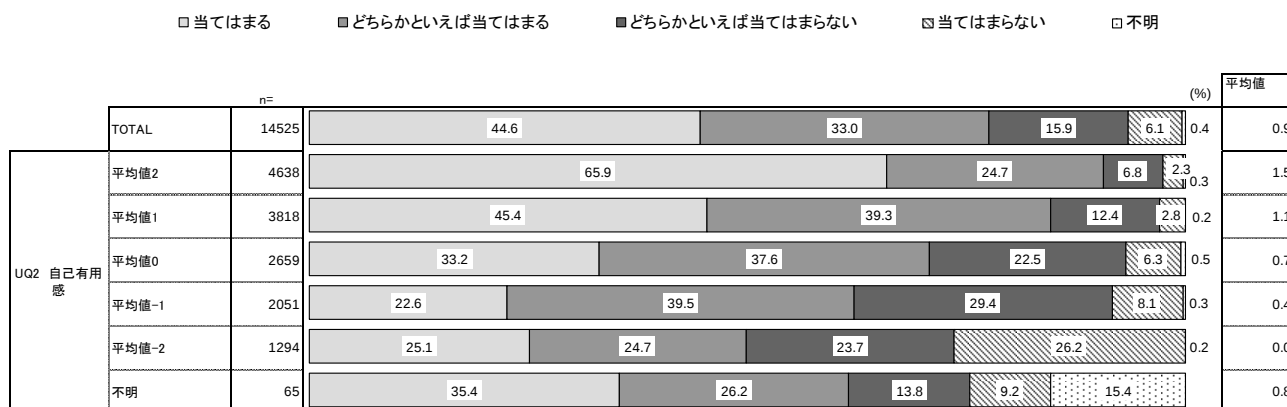
「勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は90.1%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は9.8%となり、平均値は1.4となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は57.8%、否定的な回答は41.9%となり、平均値は0.2となります。

□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明

n=								(%)	平均值
	TOTAL	14525	48.2 31.4 14.5 5.6					0.3	1.0
UQ2 自己有用感	平均值2	4638	66.5 23.6 7.6 2.2					0.2	1.4
	平均值1	3818	50.9 33.9 12.6 2.5					0.1	1.2
	平均值0	2659	37.7 36.2 19.3 6.5					0.2	0.8
	平均值-1	2051	27.4 41.0 23.6 7.8					0.2	0.6
	平均值-2	1294	30.1 27.7 20.3 21.6					0.4	0.2
	不明	65	36.9 20.0 21.5 6.2 15.4						0.7

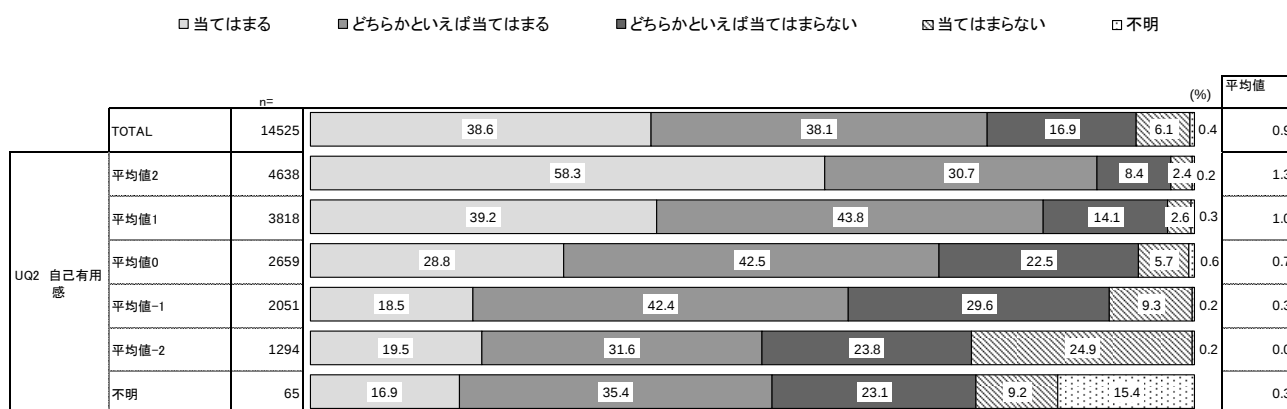
1 (8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。

「勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は90.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は9.1%となり、平均値は1.5となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は49.8%、否定的な回答は49.9%となり、平均値は0.0となります。



1 (9) 授業の内容は、だいたい分かる。

「授業の内容は、だいたい分かる」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は89.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は10.8%となり、平均値は1.3となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は51.1%、否定的な回答は48.7%となり、平均値は0.0となります。



1 (10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。

「月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は79.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は20.3%となり、平均値は1.1となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は43.3%、否定的な回答は56.6%となり、平均値は-0.2となります。

□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明

		n=	(%)					平均値
	TOTAL	14525	39.5	26.9	21.1	12.2	0.3	0.6
UQ2 自己有用感	平均値2	4638	54.0	25.4	14.0	6.3	0.3	1.1
	平均値1	3818	39.8	31.6	20.8	7.7	0.1	0.7
	平均値0	2659	31.6	27.1	26.9	14.1	0.4	0.4
	平均値-1	2051	26.6	26.3	29.1	17.6	0.4	0.2
	平均値-2	1294	24.5	18.8	23.1	33.5	0.2	-0.2
	不明	65	21.5	24.6	20.0	24.6	9.2	0.0

1 (11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。

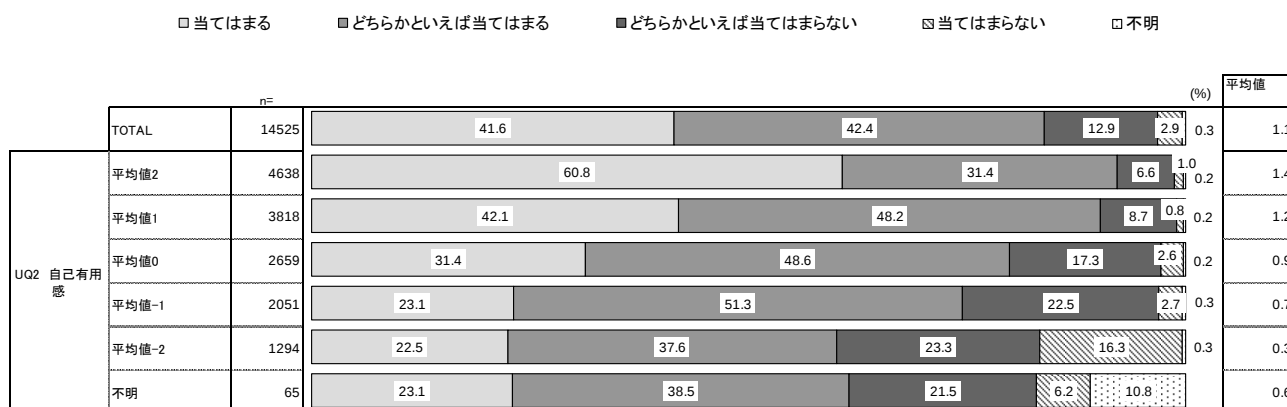
「学んだことを、普段の生活で生かそうとしている」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は89.1%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は10.7%となり、平均値は1.3となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は36.4%、否定的な回答は63.3%となり、平均値は-0.4となります。

□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明

		n=	(%)					平均値
	TOTAL	14525	31.0	41.7	21.1	6.0	0.3	0.7
UQ2 自己有用感	平均値2	4638	53.6	35.5	8.8	1.9	0.2	1.3
	平均値1	3818	28.4	52.6	16.4	2.2	0.4	0.9
	平均値0	2659	19.3	45.4	28.9	6.2	0.1	0.4
	平均値-1	2051	12.1	41.3	38.9	7.6	0.1	0.1
	平均値-2	1294	11.2	25.2	34.9	28.4	0.2	-0.4
	不明	65	24.6	32.3	21.5	9.2	12.3	0.5

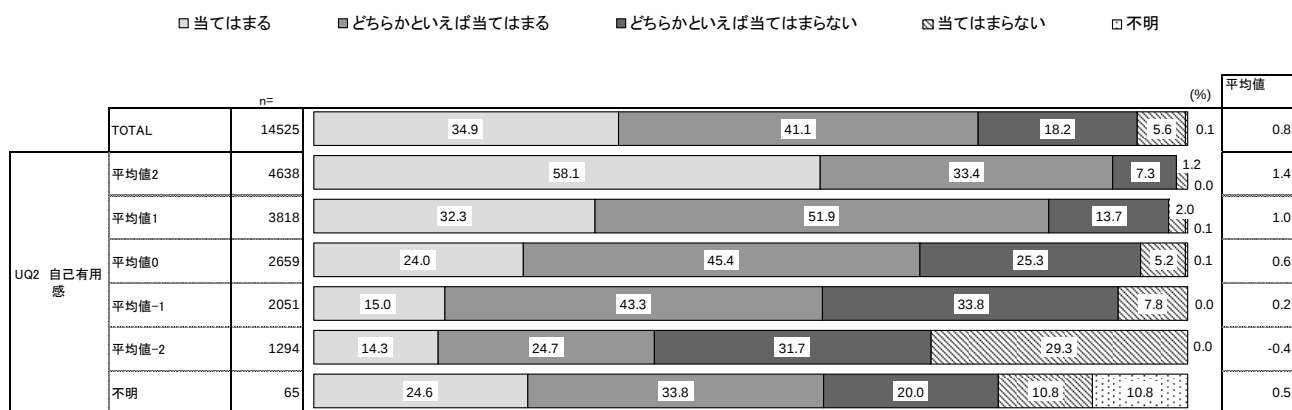
1 (12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。

「静かに集中して人の話を聞くようにしている」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は 92.2%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 7.6%となり、平均値は 1.4 となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は 60.1%、否定的な回答は 39.6%となり、平均値は 0.3 となります。



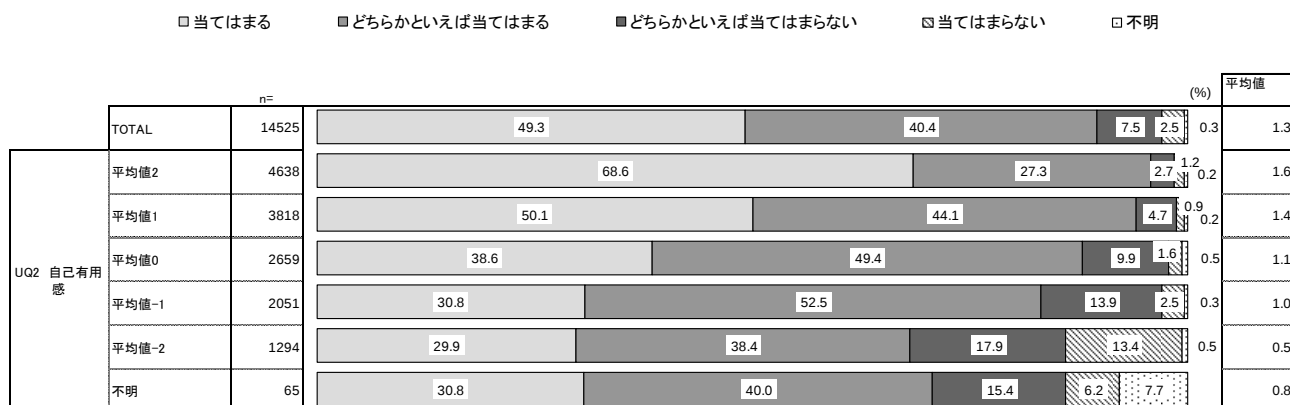
1 (13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。

「自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は 91.5%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 8.5%となり、平均値は 1.4 となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は 39.0%、否定的な回答は 61.0%となり、平均値は－0.4 となります。



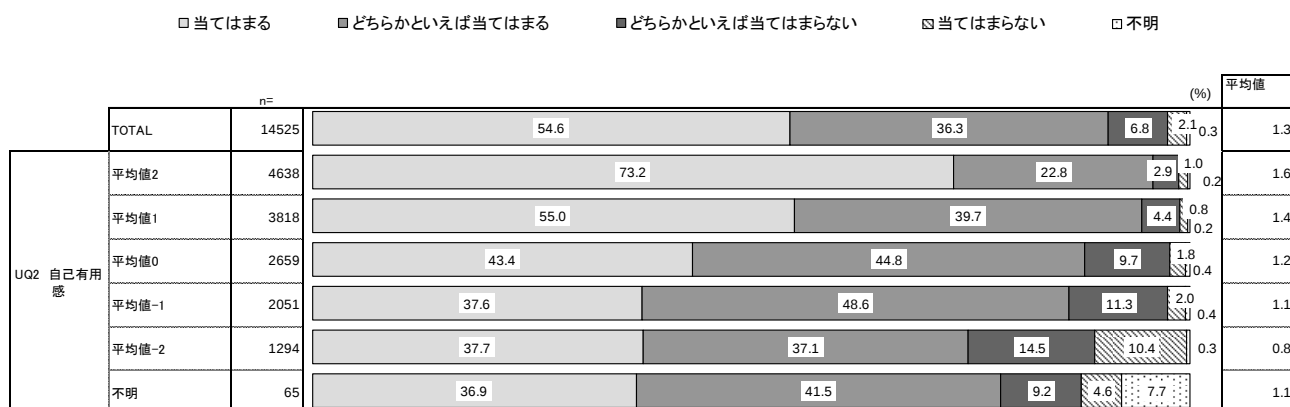
1 (14) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。

「いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は95.9%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は3.9%となり、平均値は1.6となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は68.3%、否定的な回答は31.3%となり、平均値は0.5となります。



1 (15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。

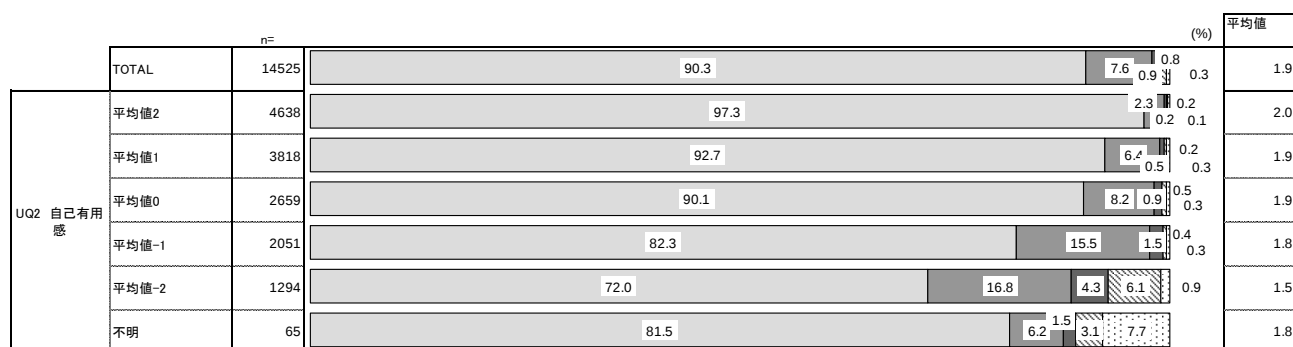
「順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は96.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は3.9%となり、平均値は1.6となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は74.8%、否定的な回答は24.9%となり、平均値は0.8となります。



1 (16) 自分や相手の命は大切だと思う。

「自分や相手の命は大切だと思う」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は99.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は0.4%となり、平均値は2.0となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は88.8%、否定的な回答は10.4%となり、平均値は1.5となります。

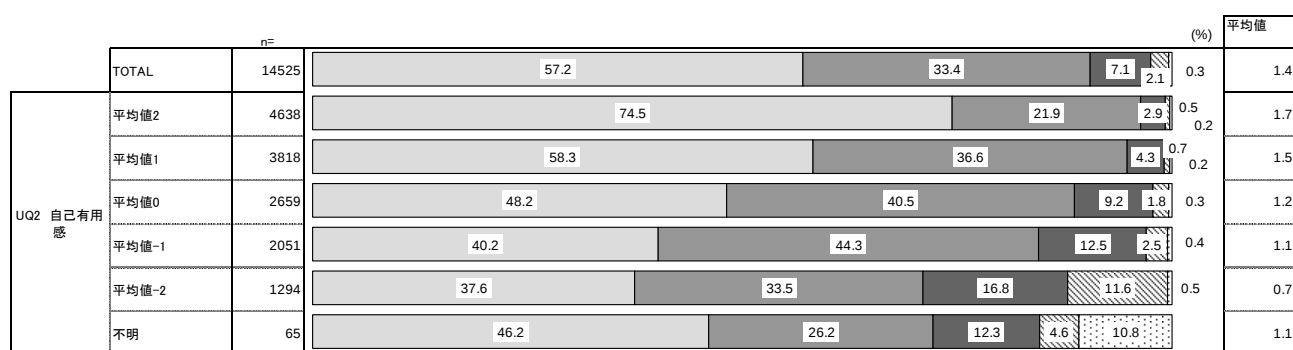
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。

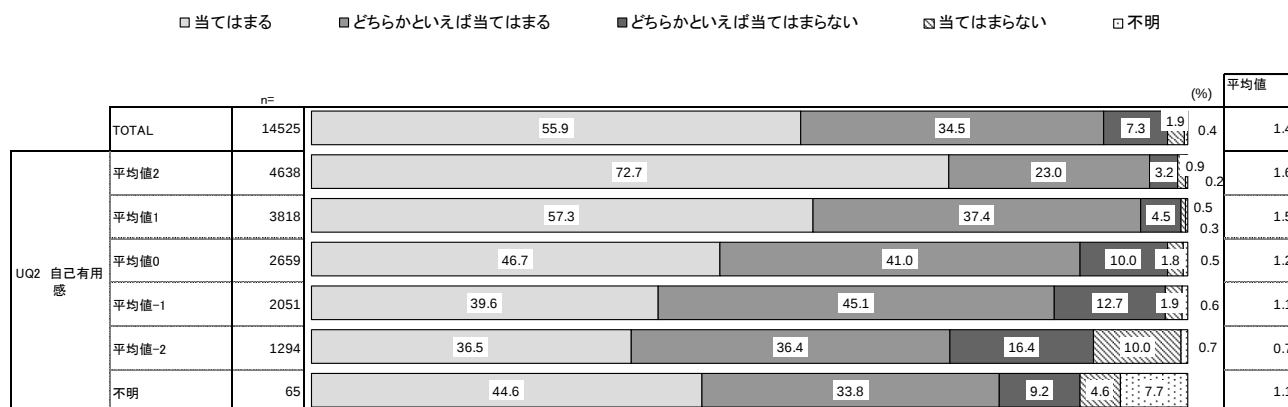
「家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は96.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は3.4%となり、平均値は1.7となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は71.1%、否定的な回答は28.4%となり、平均値は0.7となります。

□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



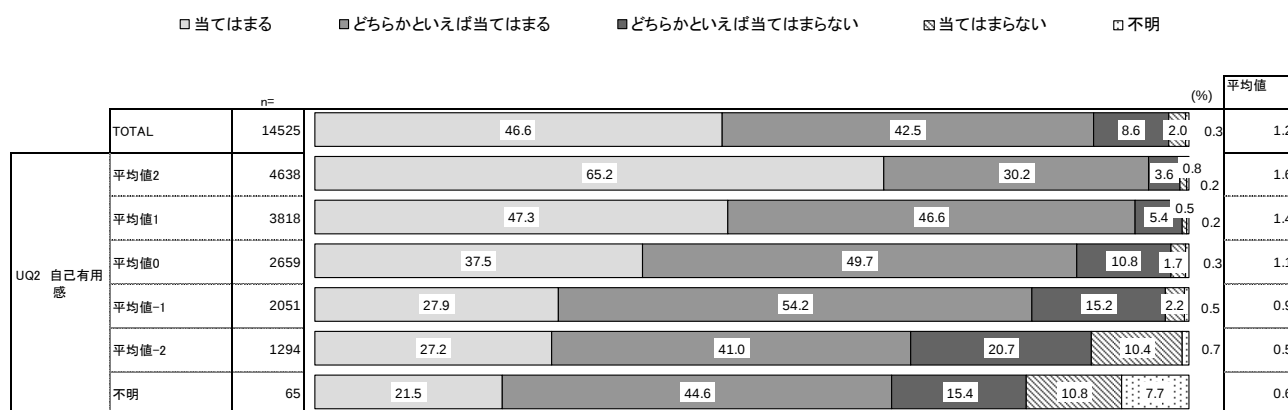
1 (18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。

「相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は **95.7%**、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は **4.1%** となり、平均値は **1.6** となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は **72.9%**、否定的な回答は **26.4%** となり、平均値は **0.7** となります。



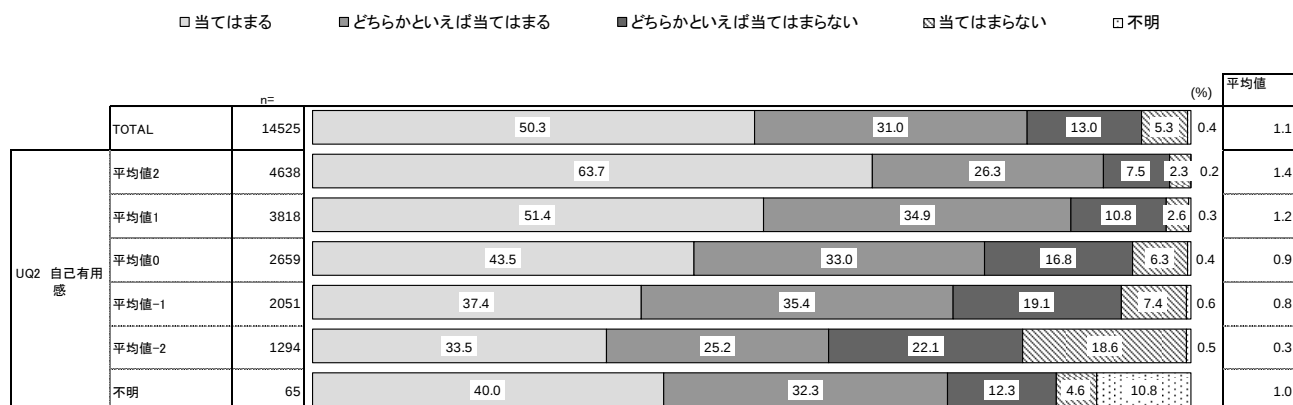
1 (19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。

「学校のきまりや家の約束を守ることができる」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は **95.4%**、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は **4.4%** となり、平均値は **1.6** となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は **68.2%**、否定的な回答は **31.1%** となり、平均値は **0.5** となります。



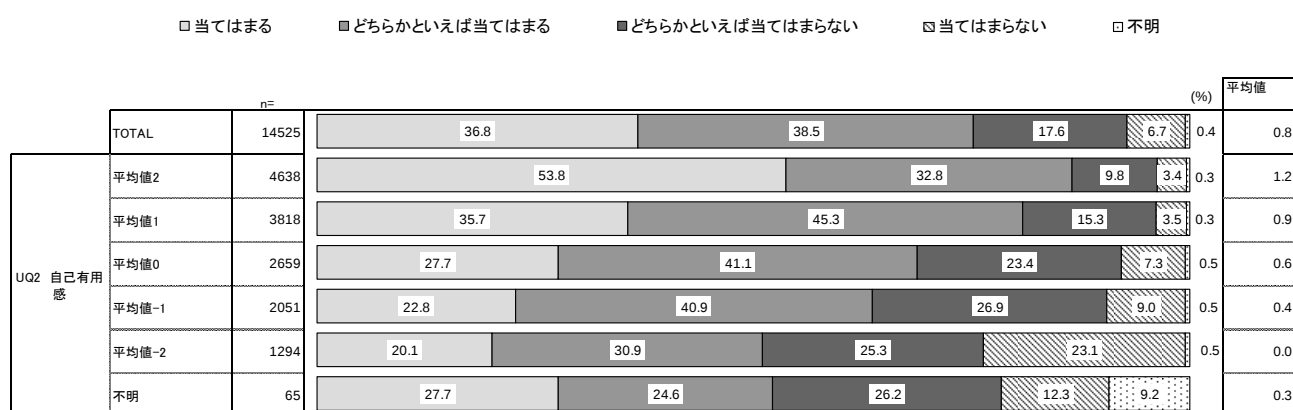
1 (20) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ご飯を食べている。

「ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は90.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は9.8%となり、平均値は1.4となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は58.7%、否定的な回答は40.7%となり、平均値は0.3となります。



1 (21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。

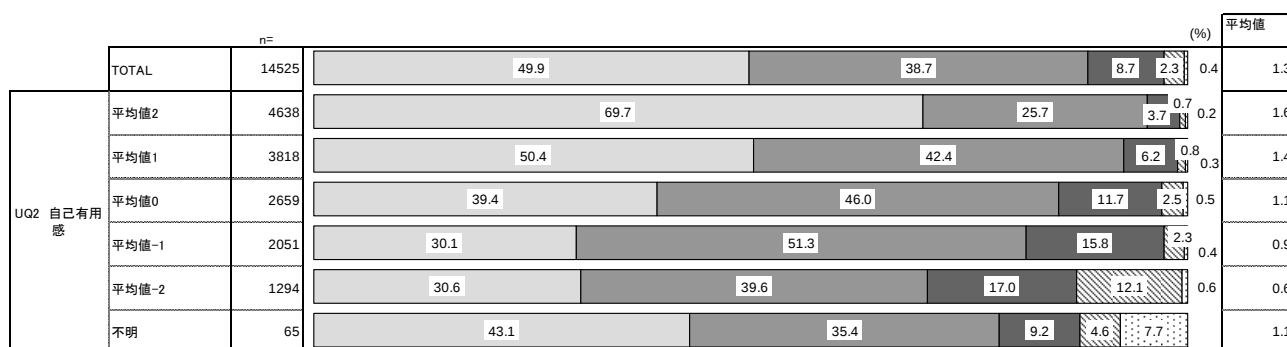
「家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は86.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は13.2%となり、平均値は1.2となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は51.0%、否定的な回答は48.4%となり、平均値は0.0となります。



1 (22) 学校では、一生懸命、掃除をしている。

「学校では、一生懸命、掃除をしている」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は95.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は4.4%となり、平均値は1.6となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は70.2%、否定的な回答は29.1%となり、平均値は0.6となります。

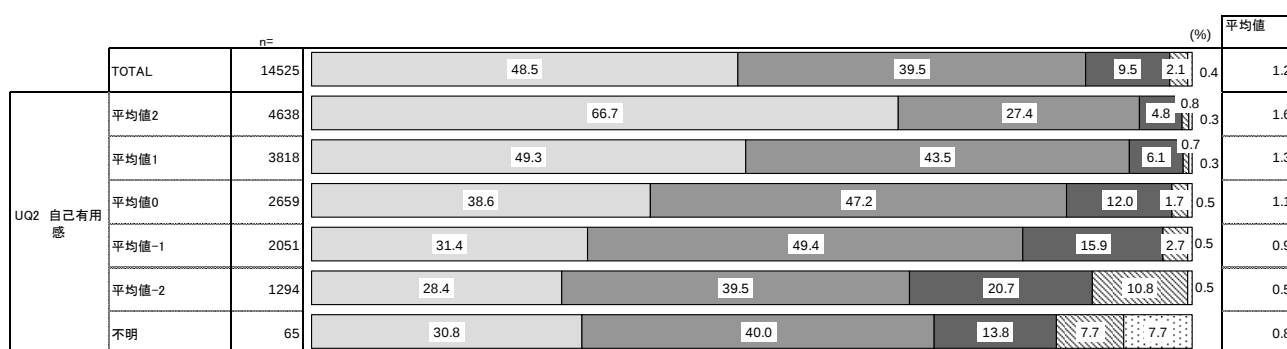
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。

「家や学校で、決められた時間を守ることができる」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は94.1%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は5.6%となり、平均値は1.6となります。自己有用感の平均値－2の場合、肯定的な回答は67.9%、否定的な回答は31.5%となり、平均値は0.5となります。

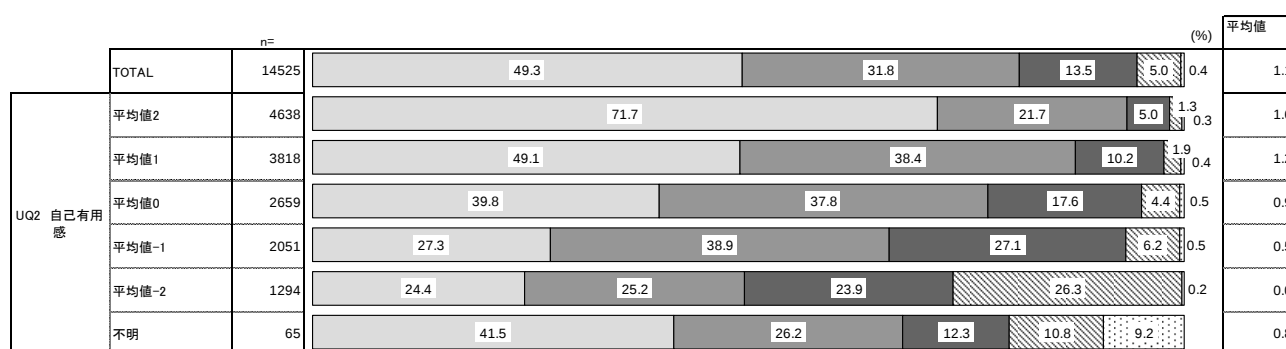
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。

「めあてや目標をもって運動に取り組んでいる」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は93.4%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は6.3%となり、平均値は1.6となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は49.6%、否定的な回答は50.2%となり、平均値は0.0となります。

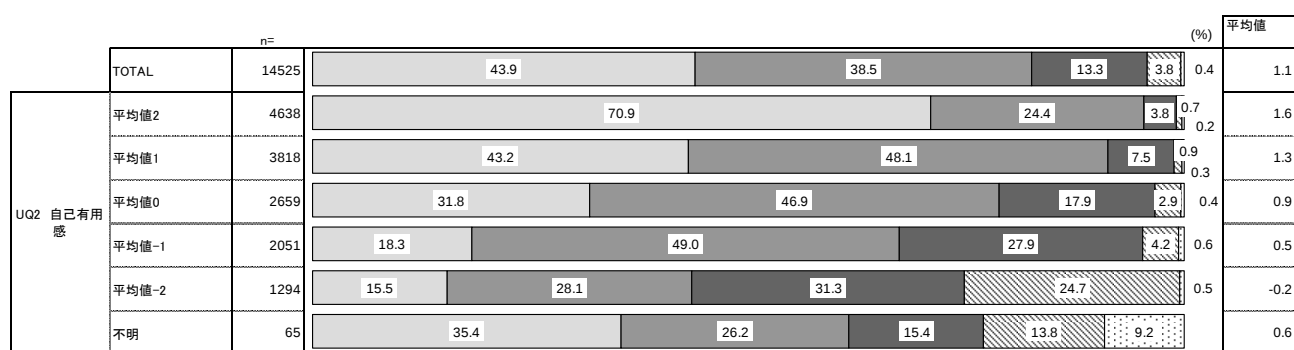
□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



1 (25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。

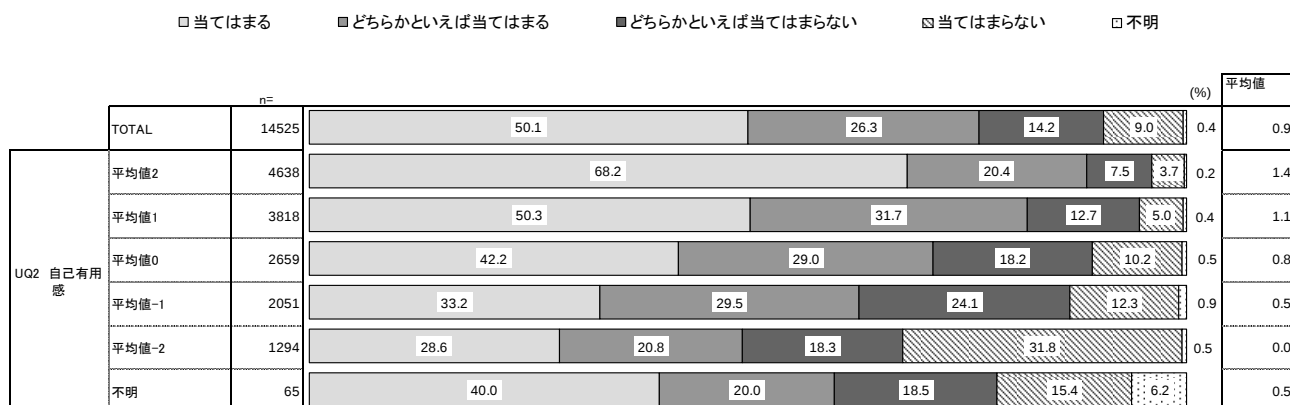
「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は95.3%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は4.5%となり、平均値は1.6となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は43.6%、否定的な回答は56.0%となり、平均値は-0.2となります。

□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明



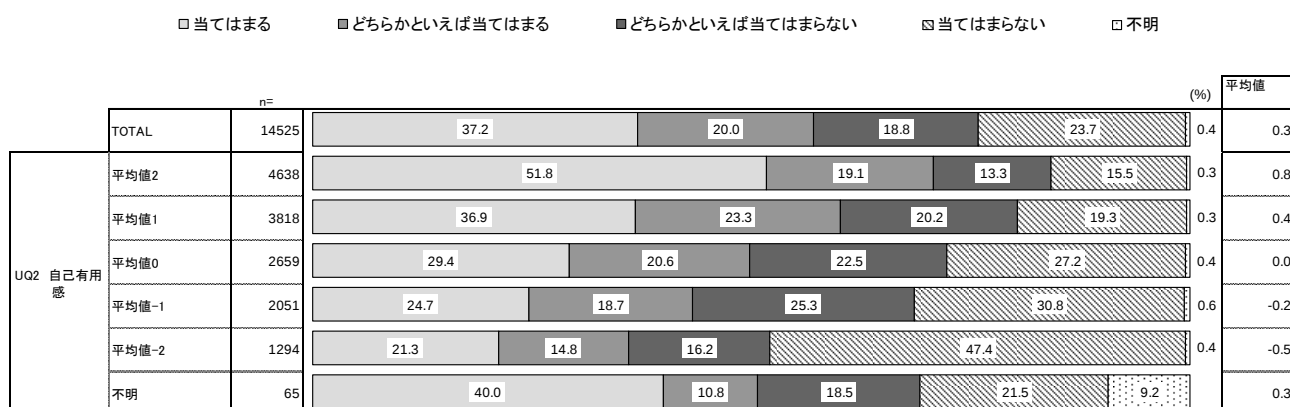
1 (26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。

「きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は88.6%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は11.2%となり、平均値は1.4となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は49.4%、否定的な回答は50.1%となり、平均値は0.0となります。



1 (27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。

「月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は70.9%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は28.8%となり、平均値は0.8となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は36.1%、否定的な回答は63.6%となり、平均値は-0.5となります。



1 (28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。

「よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は83.0%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は16.8%となり、平均値は1.2となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は47.7%、否定的な回答は51.9%となり、平均値は-0.1となります。

□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明

n=							(%)	平均値
	TOTAL	14525	44.3 25.8 16.8 12.7				0.4	0.7
UQ2 自己有用感	平均値2	4638	62.6 20.4 10.2 6.6				0.2	1.2
	平均値1	3818	42.1 31.7 17.2 8.6				0.4	0.8
	平均値0	2659	36.1 27.6 21.6 14.4				0.3	0.5
	平均値-1	2051	28.4 28.4 25.0 17.7				0.5	0.2
	平均値-2	1294	27.6 20.1 16.7 35.2				0.5	-0.1
	不明	65	43.1 18.5 12.3 18.5 7.7					0.6

1 (29) になりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。

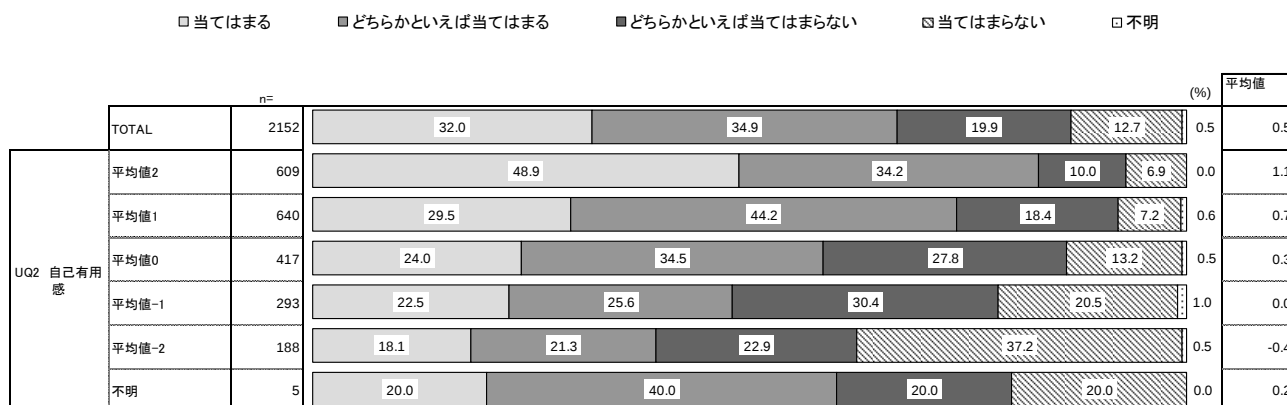
「になりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする」については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は91.5%、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は8.3%となり、平均値は1.6となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は57.3%、否定的な回答は42.3%となり、平均値は0.3となります。

□ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ▨ 当てはまらない □ 不明

							(%)	平均值		
n=										
	TOTAL	14525	60.3		19.6	10.6	9.2	0.3	1.1	
UQ2 自己有用感	平均値2	4638	78.5			13.0	4.5	3.8	0.2	1.6
	平均値1	3818	60.3		24.6	9.5	5.4	0.2	1.3	
	平均値0	2659	52.6		22.3	14.9	10.0	0.3	0.9	
	平均値-1	2051	40.9	24.8	19.4	14.4	0.5	0.6		
	平均値-2	1294	42.2	15.1	12.8	29.5	0.4	0.3		
	不明	65	55.4		18.5	10.8	9.2	6.2	1.1	

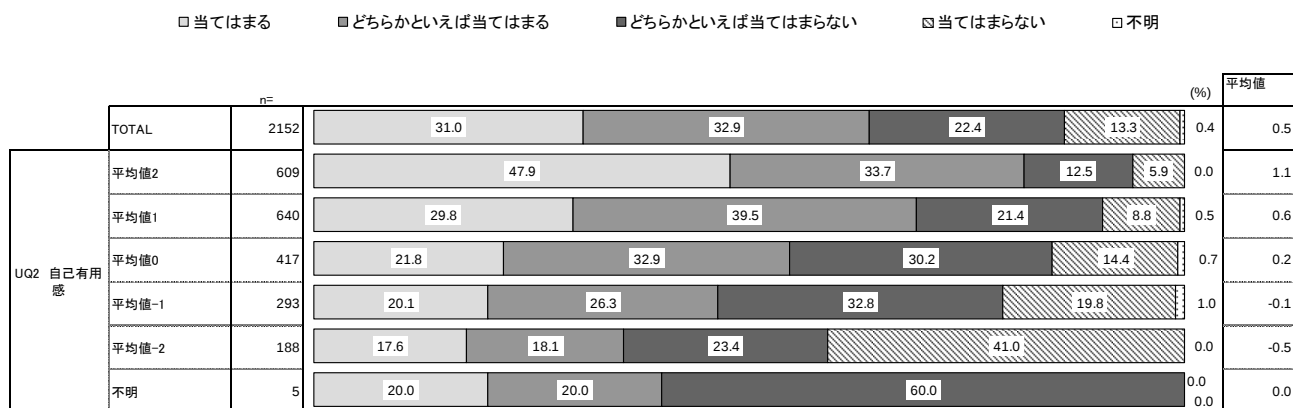
1 (30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。(小学6年のみ)

「いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい」(小学6年のみ)については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答(「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計)の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は83.1%、否定的な回答(「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計)は16.9%となり、平均値は1.1となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は39.4%、否定的な回答は60.1%となり、平均値は-0.4となります。



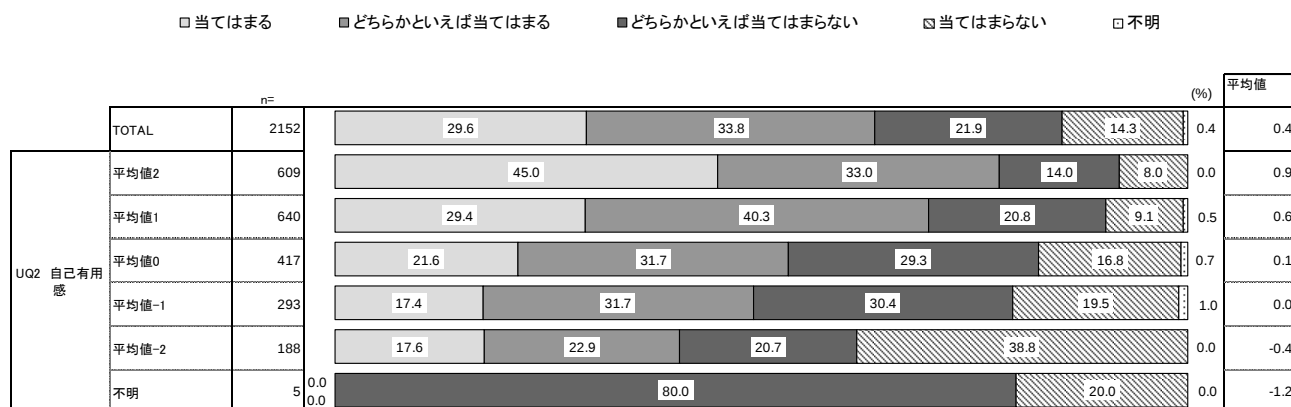
1 (31) 中学生に親しみを感ずる。(小学6年のみ)

「中学生に親しみを感ずる」(小学6年のみ)については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答(「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計)の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は81.6%、否定的な回答(「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計)は18.4%となり、平均値は1.1となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は35.7%、否定的な回答は64.4%となり、平均値は-0.5となります。



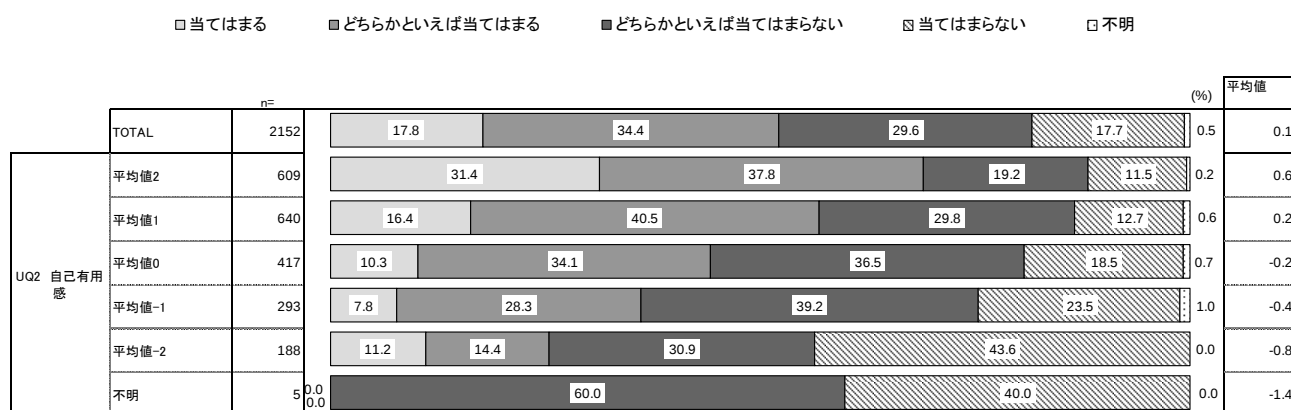
1 (32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。(小学6年のみ)

「中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ」(小学6年のみ)については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答(「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計)の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は78.0%、否定的な回答(「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計)は22.0%となり、平均値は0.9となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は40.5%、否定的な回答は59.5%となり、平均値は-0.4となります。



1 (33) 中学校の先生に親しみを感ずる。(小学6年のみ)

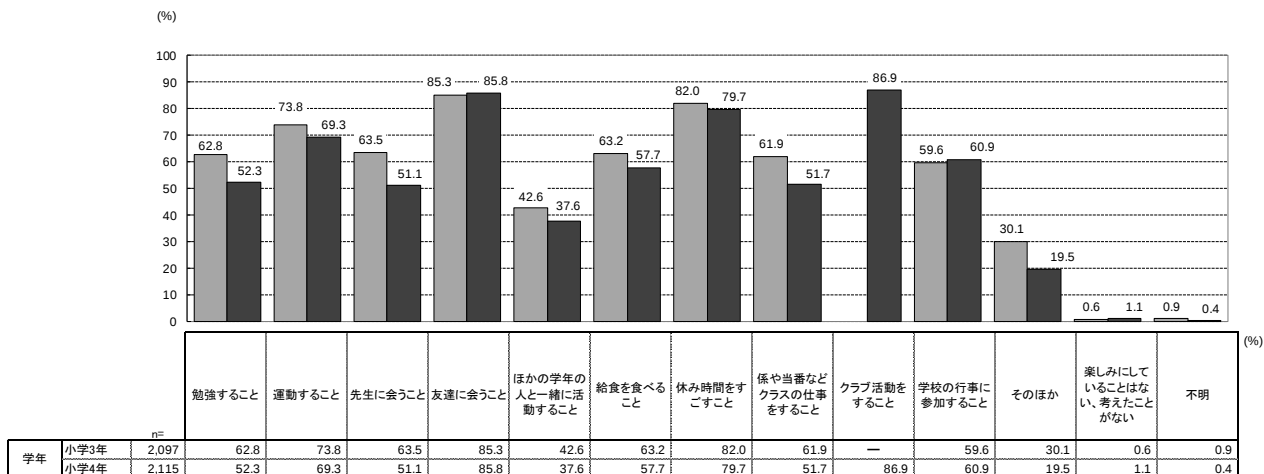
「中学校の先生に親しみを感ずる」(小学6年のみ)については、平均値別にみると、自己有用感が高いほど、肯定的な回答(「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計)の割合が高くなっています。自己有用感の平均値2の場合、肯定的な回答は69.2%、否定的な回答(「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計)は30.7%となり、平均値は0.6となります。自己有用感の平均値-2の場合、肯定的な回答は25.6%、否定的な回答は74.5%となり、平均値は-0.8となります。



(7) 学校生活について

2 (1) 学校生活で楽しみにしていること

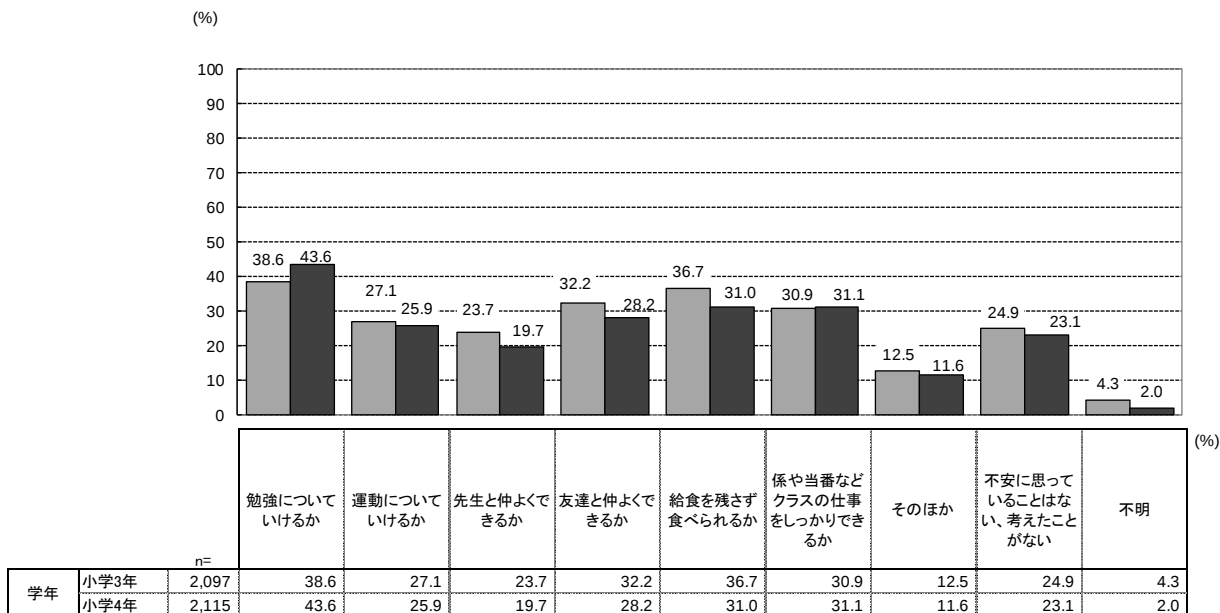
小学3年・4年の「学校生活で楽しみにしていること」については、最も高かったのが「友達に会うこと」(3年:85.3%、4年:85.8%)で、次いで「休み時間をすごすこと」(3年:82.0%、4年:79.7%)となっています。また、小学4年では「クラブ活動をする事」が86.9%と高くなっています。



※小学4年のみの選択肢あり

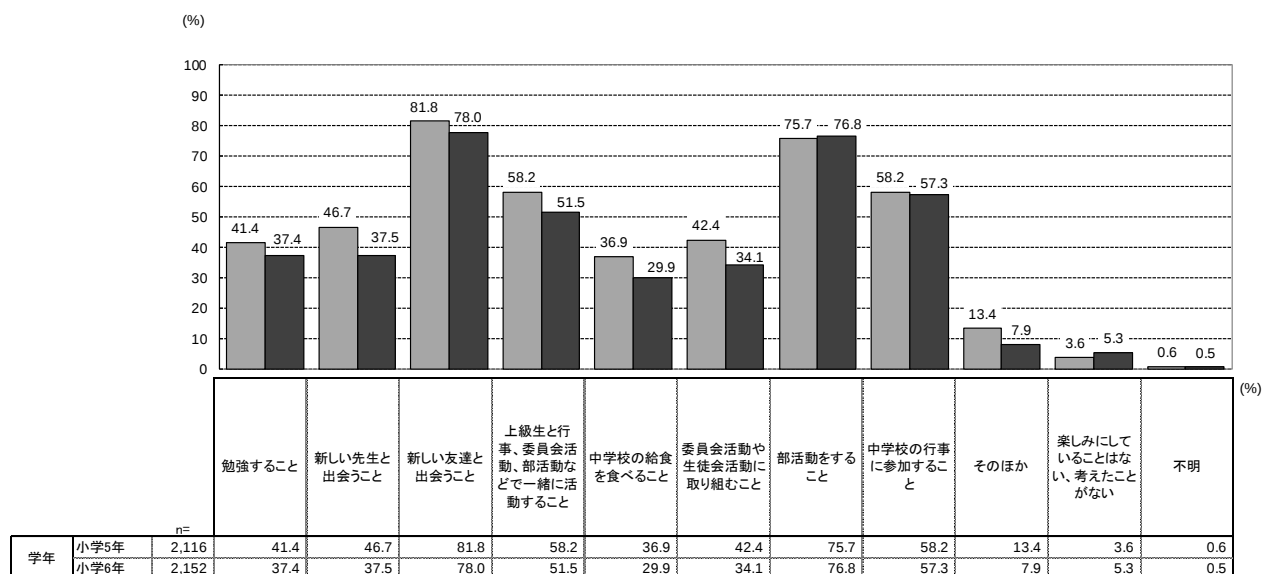
2 (2) 学校生活で不安に思っていること

小学3年・4年の「学校生活で不安に思っていること」については、最も高かったのが「勉強についていけるか」(3年:38.6%、4年:43.6%)で、次いで「給食を残さず食べられるか」(3年:36.7%、4年:31.0%)、「係や当番などクラスの仕事をしっかりできるか」(3年:30.9%、4年:31.1%)となっています。



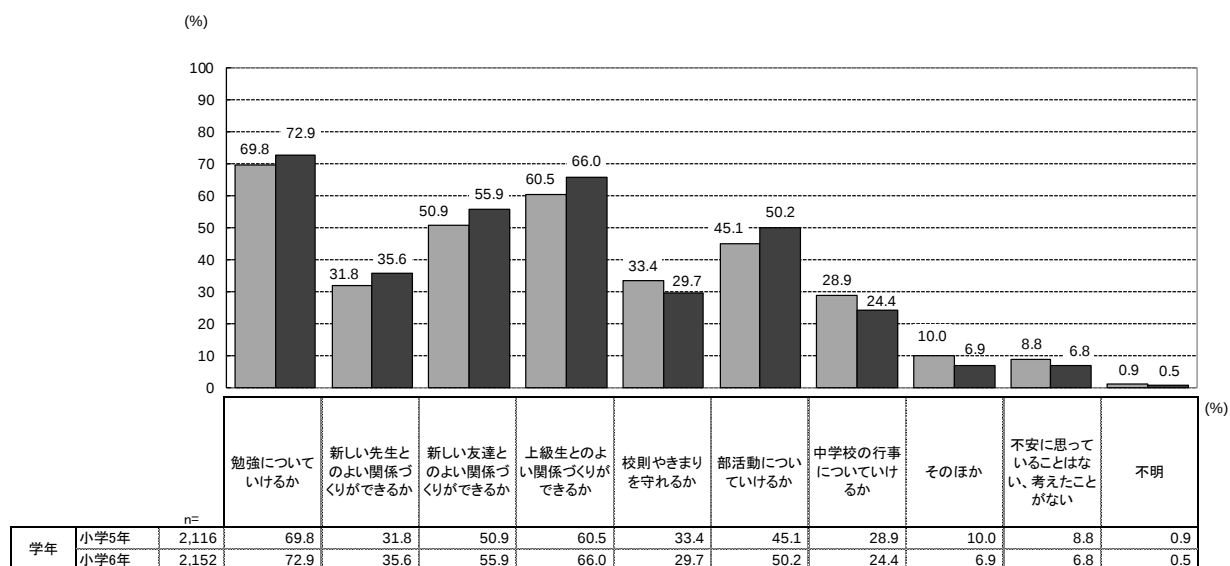
2 (1) 中学校生活で楽しみにしていること

小学5年・6年の「中学校生活で楽しみにしていること」については、最も高かったのが「新しい友達と出会うこと」（5年：81.8%、6年：78.0%）で、次いで「部活動をする事」（5年：75.7%、6年：76.8%）となっています。



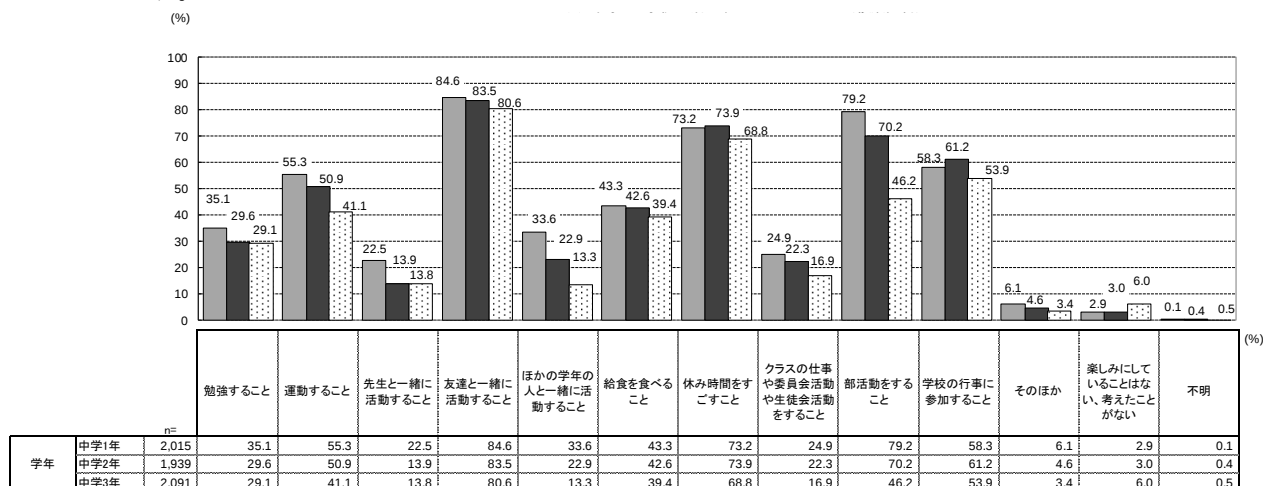
2 (2) 中学校の生活で不安に思っていること

小学5年・6年の「中学校の生活で不安に思っていること」については、最も高かったのが「勉強についていけるか」（5年：69.8%、6年：72.9%）で、次いで「上級生とのよい関係づくりができるか」（5年：60.5%、6年：66.0%）、「新しい友達とのよい関係づくりができるか」（5年：50.9%、6年：55.9%）となっています。



2 (1) 学校生活で楽しみにしていること

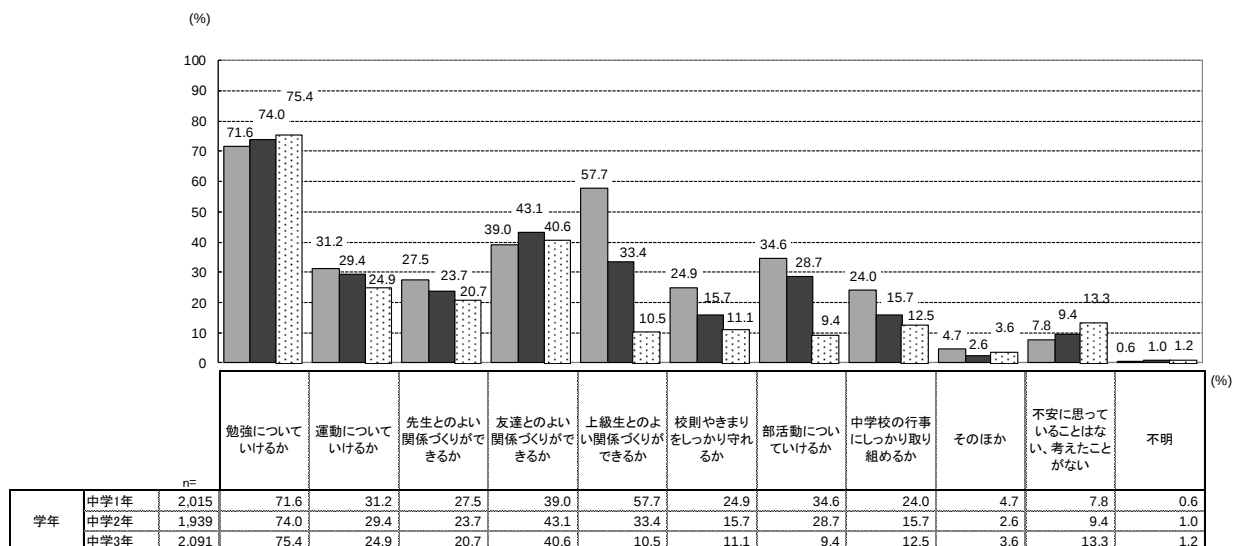
中学生の「学校生活で楽しみにしていること」については、最も高かったのが「友達と一緒に活動すること」(1年:84.6%、2年:83.5%、3年:80.6%)で、次いで「休み時間をすごすこと」(1年:73.2%、2年:73.9%、3年:68.8%)、「部活動をする事」(1年:79.2%、2年:70.2%、3年:46.2%)となっています。



2 (2) 学校生活で不安に思っていること

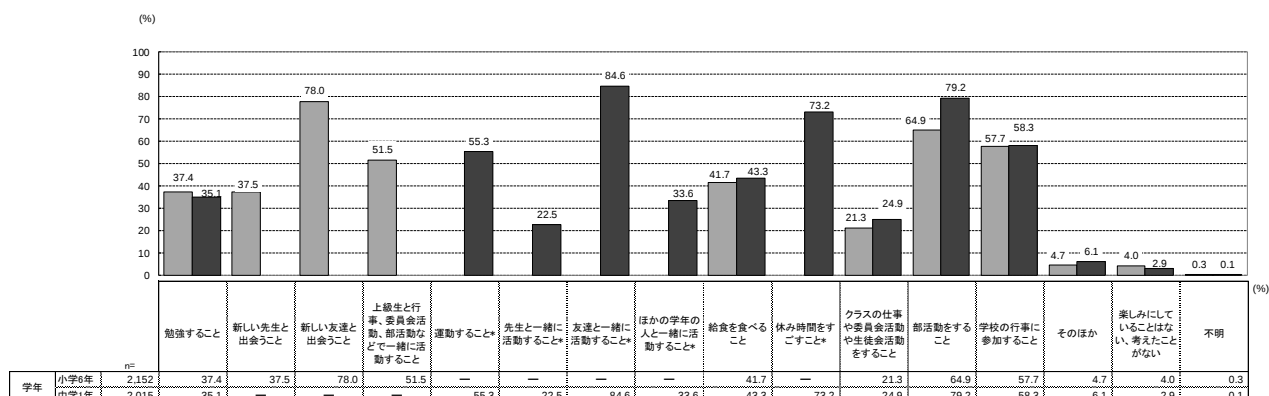
中学生の「学校生活で不安に思っていること」については、最も高かったのが「勉強についていけるか」(1年:71.6%、2年:74.0%、3年:75.4%)で、次いで「友達とのよい関係づくりができるか」(1年:39.0%、2年:43.1%、3年:40.6%)となっています。

学年別にみると、中学1年で「上級生とよい関係づくりができるか」が57.7%となっています。



2 (1) 学校生活で楽しみにしていること

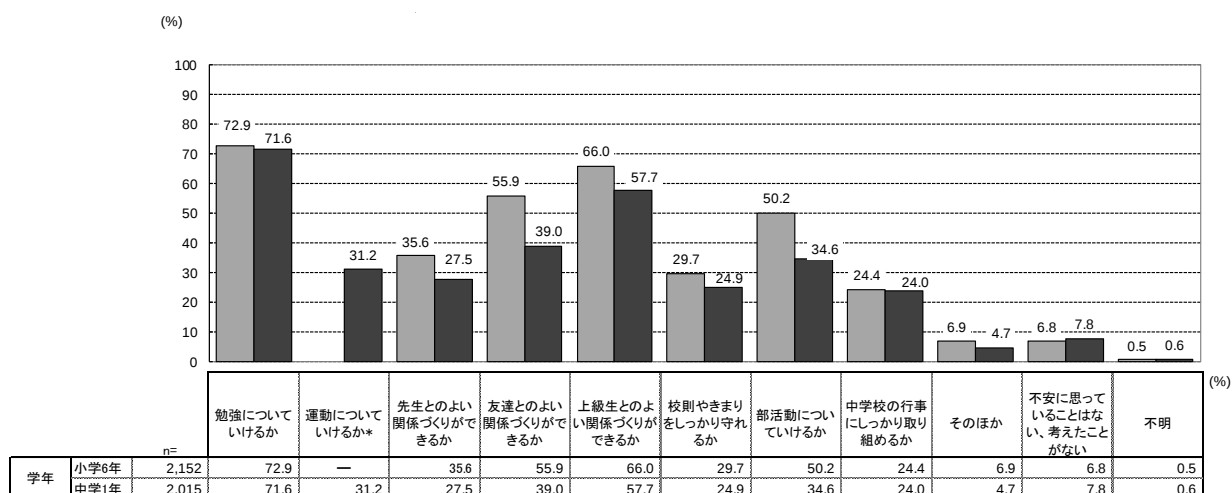
小学6年・中学1年の「学校生活で楽しみにしていること」については、最も高かったのが「友達と一緒に活動すること」（中学1年：84.6%）、「新しい友達と出会うこと」（小学6年：78.0%）で、次いで「部活動をする事」（小学6年：64.9%、中学1年：79.2%）となっています。



※小学6年、中学1年のみの選択肢あり

2 (2) 学校生活で不安に思っていること

小学6年・中学1年の「学校生活で不安に思っていること」については、最も高かったのが「勉強についていけないか」（小学6年：72.9%、中学1年：71.6%）で、次いで「上級生とのよい関係づくりができるか」（小学6年：66.0%、中学1年：57.7%）、「友達とのよい関係づくりができるか」（小学6年：55.9%、中学1年：39.0%）となっています。

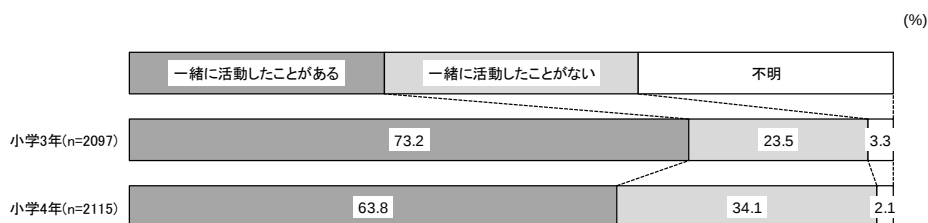


※小学6年のみの選択肢あり

(8) 学校における活動経験について

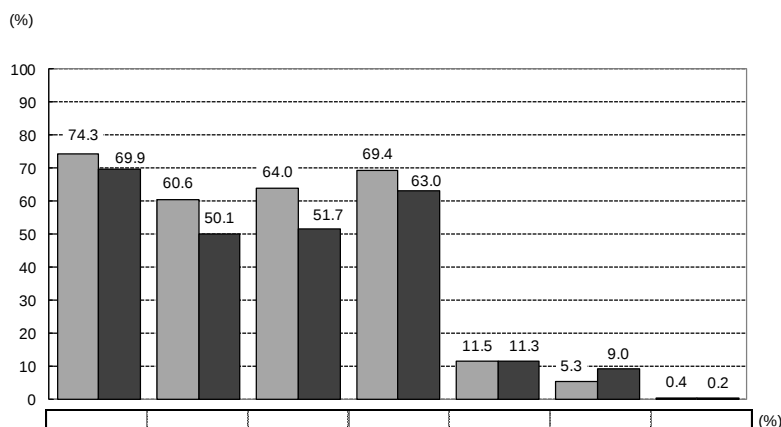
3 (1) 学校における幼稚園児・保育園児との活動経験

小学3年・4年の「学校における幼稚園児・保育園児との活動経験」については、「一緒に活動したことがある」が3年で73.2%、4年で63.8%、「一緒に活動したことがない」が3年で23.5%、4年で34.1%となっています。



3 (2) 園児との活動で感じたこと

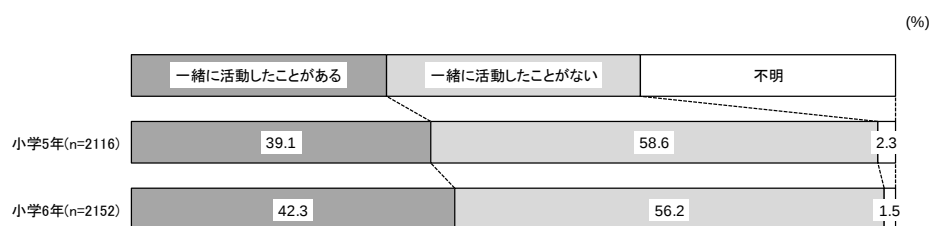
小学3年・4年（活動経験者）の「園児との活動で感じたこと」については、最も高かったのが「お兄さん、お姉さんとしてしっかりとしないといけないと思った」（3年：74.3%、4年：69.9%）で、次いで「園児が小学校へ入学してくることが楽しみだと思った」（3年：69.4%、4年：63.0%）、「これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った」（3年：64.0%、4年：51.7%）となっています。



n=								
学年	小学3年	小学4年	お兄さん、お姉さんとしてしっかりとしないといけないと思った	園児の様子と比べて、自分は成長したなと思った	これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った	園児が小学校へ入学してくることが楽しみだと思った	その他	特に思ったことはない、よく覚えていない
	1,535	1,350	74.3	60.6	64.0	69.4	11.5	5.3
			69.9	50.1	51.7	63.0	11.3	9.0
								0.4
								0.2

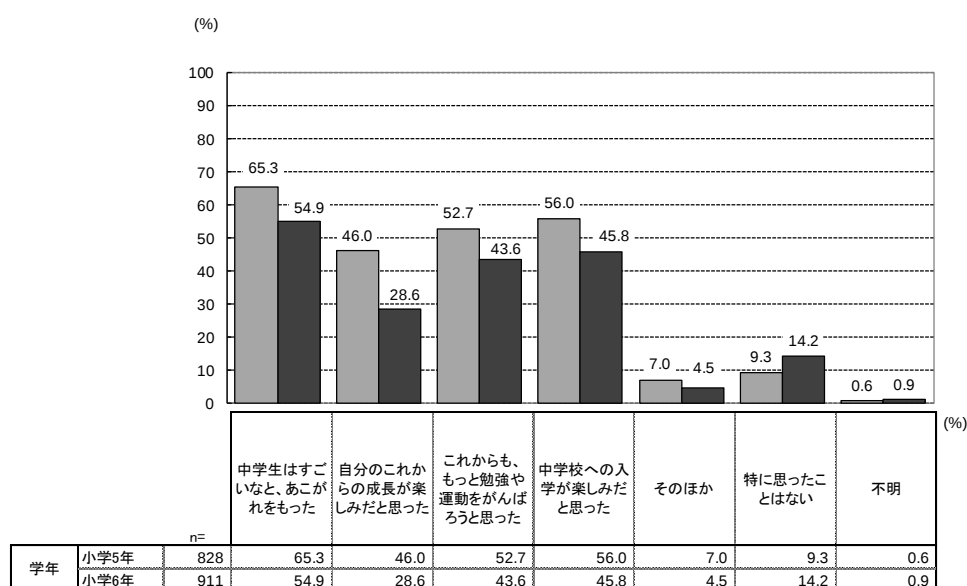
③ (1) 学校における中学生との活動経験

小学5年・6年の「学校における中学生との活動経験」については、「一緒に活動したことがある」が5年で39.1%、6年で42.3%、「一緒に活動したことがない」が5年で58.6%、6年で56.2%となっています。

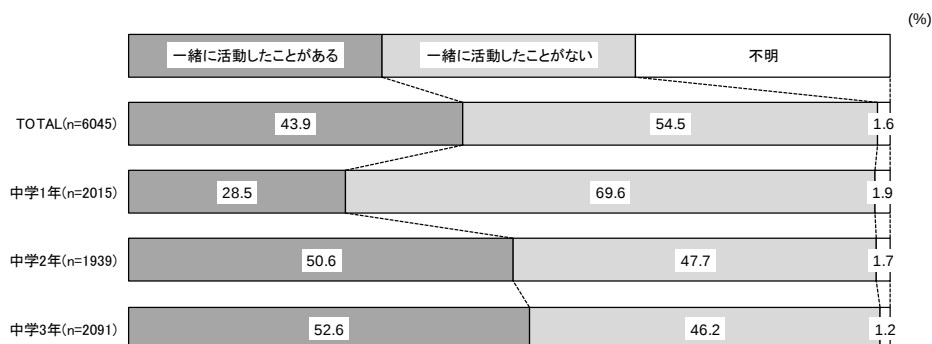


③ (2) 中学生との活動で感じたこと

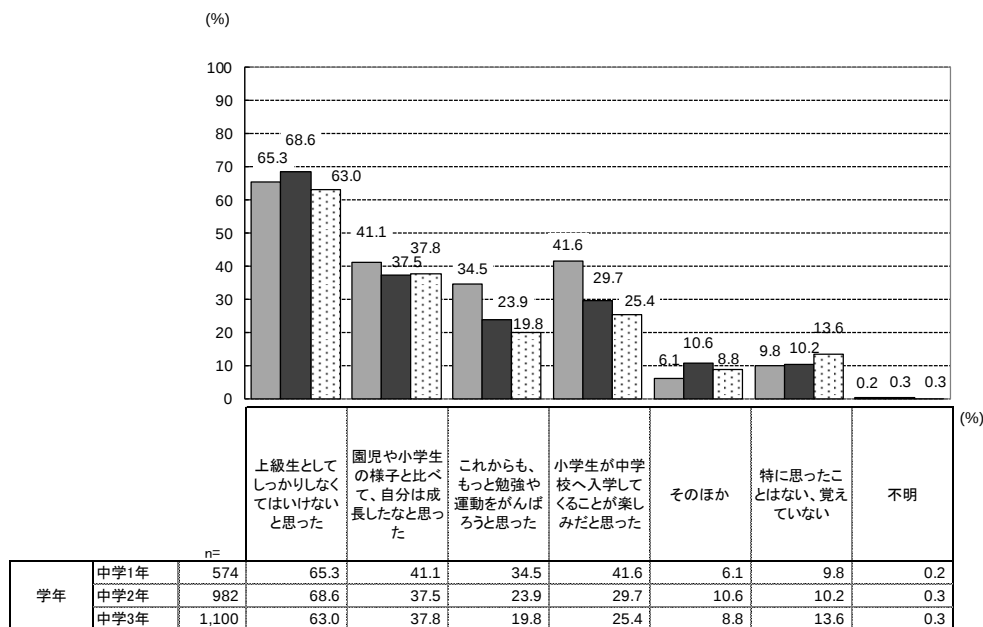
小学5年・6年（活動経験者）の「中学生との活動で感じたこと」については、最も高かったのが「中学生はすごいなと、あこがれをもった」（5年：65.3%、6年：54.9%）で、次いで「中学校への入学が楽しみだと思った」（5年：56.0%、6年：45.8%）、「これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った」（5年：52.7%、6年：43.6%）となっています。



学年別にみると、学年が上がるにつれ、「一緒に活動したことがある」（１年：28.5%、２年：50.6%、３年：52.6%）の割合が高くなる傾向にあります。



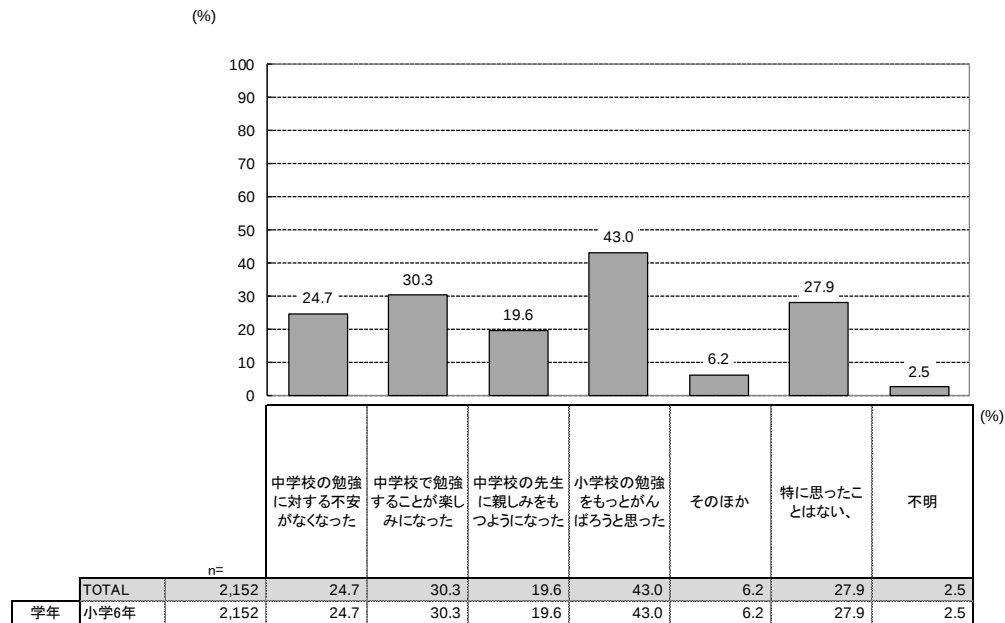
中学生（活動経験者）の「園児・小学生との活動で感じたこと」については、最も高かったのが「上級生としてしっかりしなくてはいけないと思った」（１年：65.3%、２年：68.6%、３年：63.0%）で、次いで「園児や小学生の様子と比べて、自分は成長したなと思った」（１年：41.1%、２年：37.5%、３年：37.8%）、「小学生が中学校へ入学してくることが楽しみだと思った」（１年：41.6%、２年：29.7%、３年：25.4%）となっています。



（９）中学校の先生が参加する授業で感じたことについて

4 中学生の先生が参加する授業で感じたこと

小学6年の「中学生の先生が参加する授業で感じたこと」については、最も高かったのが「小学校の勉強をもっとがんばろうと思った」で43.0%、次いで「中学校で勉強することが楽しになった」が30.3%、「中学校の勉強に対する不安がなくなった」が24.7%となっています。



第 3 部

資料（調査票）

<小学3年生調査票>

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第3学年

小学校第3学年 調査用紙

() 小学校 (男 ・ 女)

お願い

1 この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。

2 それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。

3 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(1) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。……	1	2	3	4
(2) 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している。……	1	2	3	4
(3) 自分のことを好きだと思う。……	1	2	3	4
(4) 自分には、よいところがあると思う。……	1	2	3	4
(5) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力を持っている。……	1	2	3	4
(6) 自分は、人の役に立っていると思う。……	1	2	3	4
(7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。……	1	2	3	4
(8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。……	1	2	3	4
(9) 3年生の授業の内容は、だいたい分かる。……	1	2	3	4
(10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。……	1	2	3	4
(11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。……	1	2	3	4
(12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。……	1	2	3	4
(13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。……	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第3学年

② あなたは、学校生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強すること
 - 運動すること
 - 先生に会うこと
 - 友達に会うこと
 - ほかの学年の人と一緒に活動すること
 - 給食を食べること
 - 休み時間をすごすこと
 - 係や当番などクラスの仕事をすること
 - 学校の行事に参加すること
 - そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。
- ()
- 楽しんでいることはない、考えたことがない

② 学校生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強についていけない
 - 運動についていけない
 - 先生と仲よくできるか
 - 友達と仲よくできるか
 - 給食を残さずに食べられるか
 - 係や当番などクラスの仕事をしっかりとできるか
 - そのほか→不安に思っていることをカッコの中に書いてください。
- ()
- 不安に思っていることはない、考えたことがない

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第3学年

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(16) いじめを許さなくて、思いやりをもって人と接するようにしている。……	1	2	3	4
(15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。……	1	2	3	4
(16) 自分や相手の命は大切だと思う。……	1	2	3	4
(17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。……	1	2	3	4
(18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。……	1	2	3	4
(19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。……	1	2	3	4
(20) ほぼ毎日、早起早起きをして、朝ごはんを食べている。……	1	2	3	4
(21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。……	1	2	3	4
(22) 学校では、一生懸命、掃除をしている。……	1	2	3	4
(23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。……	1	2	3	4
(24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。……	1	2	3	4
(25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。……	1	2	3	4
(26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。……	1	2	3	4
(27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすすたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。……	1	2	3	4
(28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。……	1	2	3	4
(29) ならない職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。……	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第3学年

③ あなたは、幼稚園や保育園などの園児と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) あなたは、入学してから今までに、秋まつりや昔遊びなど、学校で幼稚園や保育園などの園児と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 一緒に活動したことがある
- 一緒に活動したことがない

② 【①で1 一緒に活動したことがある人だけ答えてください】

あなたは、園児と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- お兄さん、お姉さんとしてしっかりとはいけなかったと思った
 - 園児の様子と比べて、自分は成長したなと思った
 - これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
 - 園児が小学校へ入学してることが楽しかったと思った
 - そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
- ()
- 特に思ったことはない、よく覚えていない

<小学4年生調査票>

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第4学年

小学校第4学年 調査用紙

() 小学校 (男 ・ 女)

お願い

- この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
- それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
- 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

- ① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(1) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。 ……	1	2	3	4
(2) 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している。 ……	1	2	3	4
(3) 自分のことを好きだと思う。 ……	1	2	3	4
(4) 自分には、よいところがあると思う。 ……	1	2	3	4
(5) 自分は、努力すれば難しいこともできる力を持っている。 ……	1	2	3	4
(6) 自分は、人の役に立っていると思う。 ……	1	2	3	4
(7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。 ……	1	2	3	4
(8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。 ……	1	2	3	4
(9) 4年生の授業の内容は、だいたい分かる。 ……	1	2	3	4
(10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。 ……	1	2	3	4
(11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。 ……	1	2	3	4
(12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。 ……	1	2	3	4
(13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。 ……	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第4学年

- ② あなたは、学校生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

- (1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強すること
- 運動すること
- 先生に会うこと
- 友達に会うこと
- ほかの学年の人と一緒に活動すること
- 給食を食べること
- 休み時間過ごすこと
- 係や当番などクラスの仕事をすること
- クラブ活動すること
- 学校の行事に参加すること
- そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。
()
- 楽しんでいることはない、考えたことがない

- (2) 学校生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強についていけない
- 運動についていけない
- 先生と仲よくできるか
- 友達と仲よくできるか
- 給食を残さずに食べられるか
- 係や当番などクラスの仕事をしっかりとできるか
- そのほか→不安に思っていることをカッコの中に書いてください。
()
- 不安に思っていることはない、考えたことがない

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第4学年

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(14) いじめを許さなくて、思いやりをもって人と接するようにしている。 ……	1	2	3	4
(15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢をすることが出来る。 ……	1	2	3	4
(16) 自分や相手の命は大切だと思う。 ……	1	2	3	4
(17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。 ……	1	2	3	4
(18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。 ……	1	2	3	4
(19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。 ……	1	2	3	4
(20) ほぼ毎日、早起早起きをして、朝ごはんを食べている。 ……	1	2	3	4
(21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。 ……	1	2	3	4
(22) 学校では、一生懸命、掃除をしている。 ……	1	2	3	4
(23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。 ……	1	2	3	4
(24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。 ……	1	2	3	4
(25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。 ……	1	2	3	4
(26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。 ……	1	2	3	4
(27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすすたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。 ……	1	2	3	4
(28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。 ……	1	2	3	4
(29) ならない職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。 ……	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第4学年

- ③ あなたは、幼稚園や保育園などの園児と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

- (1) あなたは、入学してから今までに、秋まつりや昔遊びなど、学校で幼稚園や保育園などの園児と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 一緒に活動したことがある
- 一緒に活動したことがない

- (2) 【1で1と一緒に活動したことがある、発達した人だけ答えてください】

- あなたは、園児と一緒に活動したときに、どんなことを思い出したか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- お兄さん、お姉さんとしてしっかりとはいれないと思った
- 園児の様子と比べて、自分は成長したなと思った
- これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
- 園児が小学校へ入学してることが楽しかったと思った
- そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
()
- 特に思ったことはない、よく覚えていない

<小学5年生調査票>

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第5学年

小学校第5学年 調査用紙

() 小学校 (男 ・ 女)

お願い

- この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
- それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
- 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

- ① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(1) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。……	1	2	3	4
(2) 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している。……	1	2	3	4
(3) 自分のことを好きだと思う。……	1	2	3	4
(4) 自分には、よいところがあると思う。……	1	2	3	4
(5) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力を持っている。……	1	2	3	4
(6) 自分は、人の役に立っていると思う。……	1	2	3	4
(7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。……	1	2	3	4
(8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。……	1	2	3	4
(9) 5年生の授業の内容は、だいたい分かる。……	1	2	3	4
(10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。……	1	2	3	4
(11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。……	1	2	3	4
(12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。……	1	2	3	4
(13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。……	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第5学年

- ② あなたは、中学校の生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。
- (1) 中学校の生活で楽しみにしていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強すること
 - 新しい先生と出会うこと
 - 新しい友達と出会うこと
 - 上級生と行事、委員会活動、部活動などで一緒に活動すること
 - 中学校の給食を食べること
 - 委員会活動や生徒会活動に取り組むこと
 - 部活動すること
 - 中学校の行事に参加すること
 - そのほか→楽しみにしていることをカッコの中に書いてください。
- ()
- 楽しみにしていることはない、考えたことがない

- ② 中学校の生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強についていけるか
 - 新しい先生とのよい関係づくりができるか
 - 新しい友達とのよい関係づくりができるか
 - 上級生とのよい関係づくりができるか
 - 校則やきまりをしっかりと守れるか
 - 部活動についていけるか
 - 中学校の行事についていけるか
 - そのほか→不安に思っていることをカッコの中に書いてください。
- ()
- 不安に思っていることはない、考えたことがない

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第5学年

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(14) いじめを許さなくて、思いやりをもって人と接するようにしている。……	1	2	3	4
(15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。……	1	2	3	4
(16) 自分や相手の命は大切だと思う。……	1	2	3	4
(17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。……	1	2	3	4
(18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。……	1	2	3	4
(19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。……	1	2	3	4
(20) ほぼ毎日、早起早起きをして、朝ごはんを食べている。……	1	2	3	4
(21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。……	1	2	3	4
(22) 学校では、一生懸命、掃除をしている。……	1	2	3	4
(23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。……	1	2	3	4
(24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。……	1	2	3	4
(25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。……	1	2	3	4
(26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。……	1	2	3	4
(27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。……	1	2	3	4
(28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。……	1	2	3	4
(29) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。……	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第5学年

- ③ あなたは、中学生と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

- (1) あなたは、入学してから今までに、あいさつ運動や音楽朝会など、学校で中学生と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 一緒に活動したことがある
- 一緒に活動したことがない

- ② 【1で「1と一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】

あなたは、中学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 中学生はすごいなと、あこがれをもった
 - 自分のこれらの成長が楽しみだと思った
 - これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
 - 中学校への入学が楽しみだと思った
 - そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
- ()
- 特に思ったことはない

<小学6年生調査票>

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第6学年

小学校第6学年 調査用紙

() 小学校 (男 ・ 女)

お願い

1 この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。

2 それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。

3 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(1) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	1	2	3	4
(2) 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している。	1	2	3	4
(3) 自分のことを好きだと思う。	1	2	3	4
(4) 自分には、よいところがあると思う。	1	2	3	4
(5) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力を持っている。	1	2	3	4
(6) 自分は、人の役に立っていると思う。	1	2	3	4
(7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	1	2	3	4
(8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	1	2	3	4
(9) 6年生の授業の内容は、だいたい分かる。	1	2	3	4
(10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	1	2	3	4
(11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	1	2	3	4
(12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	1	2	3	4
(13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第6学年

② あなたは、中学校の生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) 中学校の生活で楽しみにしていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強すること
 - 新しい先生と出会うこと
 - 新しい友達と出会うこと
 - 上級生と行事、委員会活動、部活動などで一緒に活動すること
 - 中学校の給食を食べること
 - 委員会活動や生徒会活動に取り組むこと
 - 部活動すること
 - 中学校の行事に参加すること
 - そのほか→楽しみにしていることをカッコの中に書いてください。
- ()
- ① 楽しみにしていることはなく、考えたことがない

② 中学校の生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強についていけるか
 - 新しい先生とのよい関係づくりができるか
 - 新しい友達とのよい関係づくりができるか
 - 上級生とのよい関係づくりができるか
 - 校則やきまりをしっかりと守れるか
 - 部活動についていけるか
 - 中学校の行事についていけるか
 - そのほか→不安に思っていることをカッコの中に書いてください。
- ()
- ② 不安に思っていることはなく、考えたことがない

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第6学年

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(14) いじめを許さなくて、思いやりをもって人と接するようにしている。	1	2	3	4
(15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	1	2	3	4
(16) 自分や相手の命は大切だと思う。	1	2	3	4
(17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。	1	2	3	4
(18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。	1	2	3	4
(19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	1	2	3	4
(20) ほぼ毎日、早起早起きをして、朝ごはんを食べている。	1	2	3	4
(21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。	1	2	3	4
(22) 学校では、一生懸命、掃除をしている。	1	2	3	4
(23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	1	2	3	4
(24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	1	2	3	4
(25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	1	2	3	4
(26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。	1	2	3	4
(27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。	1	2	3	4
(28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。	1	2	3	4
(29) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。	1	2	3	4
(30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。	1	2	3	4
(31) 中学生に親しみをを感じる。	1	2	3	4
(32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。	1	2	3	4
(33) 中学校の先生に親しみをを感じる。	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第6学年

③ あなたは、中学校と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) あなたは、入学してから今までに、あいさつ運動や音楽朝会など、学校で中学生と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 一緒に活動したことがある
- 一緒に活動したことがない

④ 【1で「1と一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】

あなたは、中学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 中学生はすごいなと、あこがれをもった
 - 自分のこれらの成長が楽しみだと思った
 - これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
 - 中学校への入学が楽しみだと思った
 - そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
- ()
- ④ 特に思ったことはない

④ あなたは、中学校の先生が参加する授業を受けたときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 中学校の勉強に対する不安が少なくなった。
 - 中学校で勉強することが楽しみになった。
 - 中学校の先生に親しみをもちようになった。
 - 小学校の勉強をもっとがんばろうと思った
 - そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
- ()
- ④ 特に思ったことはない

<中学 1 年生調査票>

平成 2 8 年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第 1 学年

中学校第 1 学年 調査用紙

() 中学校 (男 ・ 女)

お願い	
1	この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
2	それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
3	質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
①	1	2	3	4
②	1	2	3	4
③	1	2	3	4
④	1	2	3	4
⑤	1	2	3	4
⑥	1	2	3	4
⑦	1	2	3	4
⑧	1	2	3	4
⑨	1	2	3	4
⑩	1	2	3	4
⑪	1	2	3	4
⑫	1	2	3	4
⑬	1	2	3	4

平成 2 8 年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第 1 学年

② あなたは、学校生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。
(1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 1 勉強すること
- 2 運動すること
- 3 先生と一緒に活動すること
- 4 友達と一緒に活動すること
- 5 ほかの学年の人と一緒に活動すること
- 6 給食を食べること
- 7 休み時間をする
- 8 クラスの仕事や委員会活動や生徒会活動すること
- 9 部活動すること
- 10 学校の行事に参加すること
- 11 そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。
()
- 12 楽しんでいることはない、考えたことがない

② 学校生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 1 勉強についていけない
- 2 運動についていけない
- 3 先生とのよい関係づくりができるか
- 4 友達とのよい関係づくりができるか
- 5 上級生とのよい関係づくりができるか
- 6 校則やきまりをしっかりと守れるか
- 7 部活動についていけない
- 8 中学校の行事にしっかりと取り組めるか
- 9 そのほか→不安に思っていることをカッコの中に書いてください。
()
- 10 不安に思っていることはない、考えたことがない

平成 2 8 年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第 1 学年

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
⑭	1	2	3	4
⑮	1	2	3	4
⑯	1	2	3	4
⑰	1	2	3	4
⑱	1	2	3	4
⑲	1	2	3	4
⑳	1	2	3	4
㉑	1	2	3	4
㉒	1	2	3	4
㉓	1	2	3	4
㉔	1	2	3	4
㉕	1	2	3	4
㉖	1	2	3	4
㉗	1	2	3	4
㉘	1	2	3	4
㉙	1	2	3	4
㉚	1	2	3	4

平成 2 8 年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第 1 学年

③ あなたは、園児や小学生と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) あなたは、中学校へ入学してから今までに、学校の活動で園児や小学生と一緒に活動したことがありますが、当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 1 一緒に活動したことがある
- 2 一緒に活動したことがない

② 【1で「1 一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】
あなたは、園児や小学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 1 「上級生としてしっかりとはいれないと思った
- 2 園児や小学生の様子と比べて、自分は成長したと思った
- 3 これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
- 4 小学生が中学校へ入学してくることが楽しみだと思った
- 5 そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
()
- 6 特に思ったことはない、覚えていない

<中学2年生調査票>

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第2学年

中学校第2学年 調査用紙

() 中学校 (男 ・ 女)

お願い	
1	この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
2	それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
3	質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(1) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。……	1	2	3	4
(2) 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している。……	1	2	3	4
(3) 自分のことを好きだと思う。……	1	2	3	4
(4) 自分には、よいところがあると思う。……	1	2	3	4
(5) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力を持っている。……	1	2	3	4
(6) 自分は、人の役に立っていると思う。……	1	2	3	4
(7) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。……	1	2	3	4
(8) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。……	1	2	3	4
(9) 2年生の授業の内容は、だいたい分かる。……	1	2	3	4
(10) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。……	1	2	3	4
(11) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。……	1	2	3	4
(12) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。……	1	2	3	4
(13) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。……	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第2学年

② あなたは、学校生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。
(1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 1 勉強すること
- 2 運動すること
- 3 先生と一緒に活動すること
- 4 友達と一緒に活動すること
- 5 ほかの学年の人と一緒に活動すること
- 6 給食を食べること
- 7 休み時間を過ごすこと
- 8 クラスの仕事や委員会活動や生徒会活動すること
- 9 部活動すること
- 10 学校の行事に参加すること
- 11 そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。
()
- 12 楽しんでいることはない、考えたことがない

② 学校生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 1 勉強についていけない
- 2 運動についていけない
- 3 先生とのよい関係づくりができるか
- 4 友達とのよい関係づくりができるか
- 5 上級生とのよい関係づくりができるか
- 6 校則やきまりをしっかりと守れるか
- 7 部活動についていけない
- 8 中学校の行事にしっかりと取り組めるか
- 9 そのほか→不安に思っていることをカッコの中に書いてください。
()
- 10 不安に思っていることはない、考えたことがない

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第2学年

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(14) いじめを許さなくて、思いやりをもって人と接するようにしている。……	1	2	3	4
(15) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。……	1	2	3	4
(16) 自分や相手の命は大切だと思う。……	1	2	3	4
(17) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。……	1	2	3	4
(18) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。……	1	2	3	4
(19) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。……	1	2	3	4
(20) ほぼ毎日、早起早起きをして、朝ごはんを食べている。……	1	2	3	4
(21) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。……	1	2	3	4
(22) 学校では、一生懸命、掃除をしている。……	1	2	3	4
(23) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。……	1	2	3	4
(24) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。……	1	2	3	4
(25) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。……	1	2	3	4
(26) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。……	1	2	3	4
(27) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすすたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。……	1	2	3	4
(28) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。……	1	2	3	4
(29) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。……	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第2学年

③ あなたは、園児や小学生と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) あなたは、中学校へ入学してから今までに、学校の活動で園児や小学生と一緒に活動したことがありますが、当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 1 一緒に活動したことがある
- 2 一緒に活動したことがない

② 【1で「1 一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】
あなたは、園児や小学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 1 「上級生としてしっかりしなくてはならないと思った
- 2 園児や小学生の様子と比べて、自分は成長したと思った
- 3 これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
- 4 小学生が中学校へ入学してくることが楽しみだと思った
- 5 そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
()
- 6 特に思ったことはない、覚えていない

<中学3年生調査票>

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第3学年

中学校第3学年 調査用紙

() 中学校 (男 ・ 女)

お願い	
1	この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
2	それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
3	質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
①	1	2	3	4
②	1	2	3	4
③	1	2	3	4
④	1	2	3	4
⑤	1	2	3	4
⑥	1	2	3	4
⑦	1	2	3	4
⑧	1	2	3	4
⑨	1	2	3	4
⑩	1	2	3	4
⑪	1	2	3	4
⑫	1	2	3	4
⑬	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第3学年

② あなたは、学校生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。
(1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強すること
- 運動すること
- 先生と一緒に活動すること
- 友達と一緒に活動すること
- ほかの学年の人と一緒に活動すること
- 給食を食べること
- 休み時間ですること
- クラスの仕事や委員会活動や生徒会活動すること
- 部活動すること
- 学校の行事に参加すること
- そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。
()
- 楽しんでいることはない、考えたことがない

② 学校生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強についていけない
- 運動についていけない
- 先生とのよい関係づくりができるか
- 友達とのよい関係づくりができるか
- 上級生とのよい関係づくりができるか
- 校則やきまりをしっかりと守れるか
- 部活動についていけない
- 中学校の行事にしっかりと取り組めるか
- そのほか→不安に思っていることをカッコの中に書いてください。
()
- 不安に思っていることはない、考えたことがない

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第3学年

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
⑭ いじめを許さなくて、思いやりをもって人と接するようにしている。……	1	2	3	4
⑮ 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢すること ができる。……	1	2	3	4
⑯ 自分や相手の命は大切だと思う。……	1	2	3	4
⑰ 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。……	1	2	3	4
⑱ 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。……	1	2	3	4
⑲ 学校のきまりや家の約束を守ることができる。……	1	2	3	4
⑳ 毎日毎日、早起早起きをして、朝ごはんを食べている。……	1	2	3	4
㉑ 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。……	1	2	3	4
㉒ 学校では、一生懸命、掃除をしています。……	1	2	3	4
㉓ 家や学校で、決められた時間を守ることができる。……	1	2	3	4
㉔ めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。……	1	2	3	4
㉕ すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。……	1	2	3	4
㉖ きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。……	1	2	3	4
㉗ 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすすたり、携帯電話や スマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。……	1	2	3	4
㉘ よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。……	1	2	3	4
㉙ なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。……	1	2	3	4

平成28年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第3学年

③ あなたは、園児や小学生と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) あなたは、中学校へ入学してから今までに、学校の活動で園児や小学生と一緒に活動したことがありますが、当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 一緒に活動したことがある
- 一緒に活動したことがない

② 【1で「1 一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】

あなたは、園児や小学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 「上級生としてしっかりと役割は果たさなければいけない」と思った
- 園児や小学生の様子と比べて、自分は成長したなと思った
- これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
- 小学生が中学校へ入学してくることが楽しみだと思った
- そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
()
- 特に思ったことはない、覚えていない

平成２８年度草加市子ども教育連携推進事業 児童生徒向けアンケート調査結果報告書

発行年月 平成２９年３月

発 行 草加市教育委員会 子ども教育連携推進室

〒340-0015 埼玉県草加市高砂２丁目１番７号 ぶぎん草加ビル４階

電話：048-922-3494（直通）
